

二十周年記念

會 報

第 18 号



滋賀県レイカディア大学同窓会



レイカディア大学校歌
レイカディア讃歌

一、近江の最中 青き湖

ささなみ寄せる軽き音

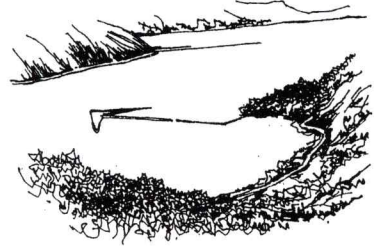
いつまでも尽きることなき

その思い ともに学ばん

さわやかに レイカディア

レイカディア

わがレイカディア



二、青垣つらね 鈴鹿比良

峰にたわむる白鳥の

いつまでも果つることなき

歓びを ともに遊ばん

うるわしく レイカディア

レイカディア

わがレイカディア

三、淡海映す蒼き空

宇宙が見せる深き貌

いつまでも消ゆることなき

その真実 ともに生きなん

かぎりなく レイカディア

レイカディア

わがレイカディア

高城 修三 作詞
下村 正勝 作曲
廣瀬 量平 補作

さわやかに *mf*

1. おおみ のも なら か あす おず き う み
2. あおか のき つら ねす あ おお き ひ ら
3. あわ う み う つ す あ おお き そ

さ さ な み よ せ る か ろ 一 き おり と
み ね に た わ せ る かし ら き と おり の
う ちゅう が み せ る ふ か き か お

1.~3. いつまでも つき る こと な き そ の お も い と も
は つ る こと な き そ ろ こ ま び と も
き ゆ る こと な き そ の ま こ と も

に ま な ば ん さ わ 一 や か に
に ま な ば ん さ わ 一 わ し く 1.~3. レイ
に ま な ば ん さ わ 一 り な く

カ デイ ア レイ カ デイ ア わ が レイ カ デイ ア

同窓会憲章	1	同窓会本部の動き	8
会報「第十八号」の発刊によせて	2	滋賀県レイカディア大学同窓会	
滋賀県レイカディア大学		事務局長 奥村常治郎	
学長 稲葉 稔		成果展について	10
創立二十周年に思う	3	滋賀県レイカディア大学同窓会	
財団法人滋賀県レイカディア振興財団		研修部長 鈴木 重隆	
健康生きがい課長 富田 博文		グラウンドゴルフ大会について	11
『生き生きと学ぶ喜び』をめざして	4	滋賀県レイカディア大学同窓会	
滋賀県レイカディア大学		総務部長 西川 甲三	
草津校指導員 山元 忠三		会報第十八号の編集について	12
学校だより	5	滋賀県レイカディア大学同窓会	
滋賀県レイカディア大学		広報部長 岩井 典弘	
米原校指導員 西村 哲英		調査部の活動について	13
会報「第十八号」の発刊に寄せて	6	滋賀県レイカディア大学同窓会	
滋賀県レイカディア大学同窓会		調査部長 枝村 和次	
会長 佐々木尚一		同窓会二十年のあゆみ(沿革と活動)	14
創立二十周年を祝う	7	支部活動だより	
滋賀県レイカディア大学同窓会		大津支部	22
副会長 門馬 三郎		支部長 谷本 一夫	
同窓会活動の地域性について	8	湖南支部	22
滋賀県レイカディア大学同窓会		支部長 奥村常治郎	
副会長 磯貝 澄雄		守山・野洲支部	23
滋賀県レイカディア大学同窓会		支部長 岩井 典弘	
副会長 磯貝 澄雄		甲賀支部	24
滋賀県レイカディア大学同窓会		支部長 鈴木 重隆	
副会長 磯貝 澄雄		近江八幡支部	24
滋賀県レイカディア大学同窓会		支部長 西川 甲三	
副会長 磯貝 澄雄		中部支部	25
滋賀県レイカディア大学同窓会		支部長 藪 昭三	

編集後記	149
物故者を悼む	148
高島支部	141
湖北支部	117
湖東支部	104
中部支部	89
近江八幡支部	76
甲賀支部	65
守山・野洲支部	59
湖南支部	46
大津支部	30
二十周年記念・「私のひとりごと」	29
高島支部	27
湖北支部	27
湖東支部	26



滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日制定

滋賀県レイカディア大学同窓会

会報「第十八号」の発刊によせて

滋賀県レイカディア大学 学長 稲葉 稔

(財団法人滋賀県レイカディア振興財団理事長)



滋賀県レイカディア大学同窓会会報の
発刊にあたりまして一言ご挨拶を申し上げ

げます。

特に、同窓会が、創立二十周年という節目を迎えられましたことを、まずはじめにお祝い申し上げます。

同窓会の皆様方には、それぞれの立場で地域においてご活躍され、大きな成果をあげておられますことに對し、深く敬意を表する次第であります。また、日ごろより、滋賀県レイカディア振興財団の事業の推進について、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、二十一世紀を迎え、我が国は、かつて経験したことのない超高齢社会への入口に立つております。近い将来、六十五歳以上の高齢者が総人口の四分の一をも占めることとなり、超高齢社会が到来すると予測されております。この長命の時代を迎えて、高齢者一人ひとりがいかに充実して過ごしていくかが重要な課題となっております。まさに二十一世紀は高齢者の時代であります。

これまで高齢者というと、余生を送る人とか、守られるべき弱い人たちと考えがちでしたが、もはやこれも当たらなくなってきました。むしろその生き方において、これからの時代を拓き、支える存在であるといえます。

同窓会の皆様方には、これまで培ってきた豊富な知識や経験を社会に活かし、自らも生きがいを高め、より素晴らしい生き方を見つけていただきたいと願うものであります。

また、同窓会におかれましても、この創立二十周年を契機に、これまで以上に会員の英知を結集され、新たな課題に積極的に取り組みますとともに、地域活動の幅広いネットワークを築いていただき、滋賀県が目指します「生きいきと明るい長寿社会」を実現するための中心的な役割を担っていただけるものと期待いたしております。

私も滋賀県レイカディア振興財団も、微力ながら、高齢者の自立と社会参加のお手伝いをしてまいります。そして、高齢者がいつまでも健康で長寿を喜び、生きいきと活動できる社会づくりをめざしてまいります。どうか今後とも、ご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今日まで同窓会の運営にご尽力いただきました関係者の皆様方のご努力に對し、心から感謝申し上げますとともに、同窓会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、発刊によせてのご挨拶と致します。

創立二十周年に思う



財団法人滋賀県レイカディア振興財団
健康生きがい課長 富田博文

滋賀県レイカディア大学同窓会が、創立二十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

同窓会創立以来、今日に至るまで、会員相互の交流活動をはじめ、それぞれの地域において積極的に活動しておられますことに、改めて敬意を表する次第であります。

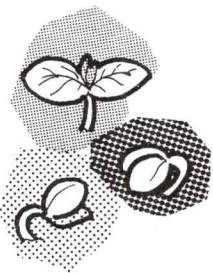
さて、レイカディア大学は、昭和五十三年に老人大学校として産声をあげて以来、さまざまな見直しを行いながら、平成二年からは当財団が運営を担ってきたところであります。その間、同窓会会員の皆様方には、本学の大切なパートナーとして多大なご支援をいただきました。もとより、本学の建学の精神は「地域のリーダーたれ!」ということであります。が、創立二十周年を機に、本学の役割と同窓会とのパートナーシップについて、あらためて思い起こしているところであります。

当財団は、平成二年に設立され、高齢者の健康と生きがいづくりに関する各種事業を実施してまいりました。特に、レイカディア大学は、当財団の中核事業として、その運営に努めてきたところであります。

本学は、高齢者自身が考え、参加し、体験することにより、社会活動のためのノウハウやヒントを学び、卒業後もそれぞれの地域で自主的に活動できることを期待して開設しているものであります。毎年、新たな意欲ある高齢者の方々が多数入学されますが、本学に寄せる関心と期待の大きさを痛感するばかりであります。また、卒業生の方々が卒業後も本学の建学の精神を忘れず、さまざまな社会活動に参加されている様子は、私も運営にたずさわるものにとってこの上ない喜びとなっております。これからも高齢者の多様なニーズに 대응べく、学習プログラムの見直しを進めていきたいと考えております。

同窓会会員の皆様方には、今後とも、各種活動を通じて、これからの人生をより有意義なものにしていただくことはもちろん、滋賀県が目指します「生きいきと明るい長寿社会」を実現するため、本学のパートナーとしてより一層のご協力をお願いする次第であります。

最後になりましたが、同窓会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心から願っております。



『生き生きと学ぶ喜び』をめざして



滋賀県レイカディア大学
草津校指導員 山元 忠三

輝かしい二十一世紀の初頭に、滋賀県レイカディア大学同窓会が、創立二十周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

同窓生の皆様には、本学設置の趣旨であります「…社会参加や地域づくりにおけるリーダーを養成するため…」に則り、『生き生きと明るい長寿社会』の実現を目指して、それぞれの地域において活躍されていることに敬意を表する次第であります。

さて、草津校の必修講座は、いつも「レイカディア大学校歌」(レイカディア賛歌)の全員合唱で始まります。

昨年四月の着任時に、挨拶を兼ねて歌った「近江の最中青き湖 さざなみ寄せる軽き音…」が契機となり、皆で歌おうとする気運が自然に高まってまいりました。情緒あふれる詩歌と清新なメロディーは、次第に感動を伴った歌声へと高揚し、大教室の隅々に充満するまでの広がりを見せ始めています。

本校の在籍数(二十三期生・二十二期生の合計数、平成十三年三月一日現在)は、園芸学科 五九名(男五五名、女四

名)、陶芸学科 四五名(男三六名、女九名)、生活学科 四名(男二八名、女一四名)、文芸学科 三九名(男三〇名、女九名)、スポレク学科三八名(男二五名、女一三名)、総計 二二三名(男一七四名、女四九名)で、男女の比率は、男七八%・女二二%という状況です。

通学圏域は、大津九五名を筆頭に湖南、中部、甲賀、彦根、愛知、湖西、さらに湖北(長浜市)の遠隔地からも通学されておられます。

また、平均年齢は、六五、六歳(男六五、七歳、女六五、一歳)ですが、最高年齢七十八歳の方も在籍しておられ、互いに好奇心を膨らませながら主体的に学習される態度に称賛の拍手を贈りたいものです。

全学生が学ぶ「必修講座」は、人間理解「六分野」と郷土理解「四分野」、社会参加「六分野」、学校行事の四領域で構成されています。年間標準講座数は六六講座ですが、本年度はそれを上回る七二講座前後を見込んでいます。

中でも学生の多くの関心は、◎人間理解の「福祉・人権」や「健康・保健・安全」、「生きがいづくり」、「仲間づくり」、◎郷土理解「自然・歴史」や「自然保護・環境保全」、◎社会参加の「法律・社会保障」や「生涯学習」、「ボランティア・自己実現」などに集約され、今日的な課題に連動している傾向が伺えます。

学校行事では、修学旅行や学年・学科別による自主活動、学習発表会(作品展示・学習成果発表・ニュースポーツ)に、

各自がリーダーシップを発揮しながら、自主的、組織的な活動が展開されています。

クラブ活動として、卓球一五名、ダンス四〇名、グラウンドゴルフ一二名、自彊術一五名、篆刻二五名、書道八名、囲碁二一名、編み物（手編み）八名、絵手紙一七名が事務局に登録されています。活動時間は必修講座（原則として金曜日）の放課後、一時間程度を設定しています。いずれも余暇の時間を活用しながら充実したひとときを満喫されておられるようです。

以上、本校の履修状況の一端（選択講座・委員活動は紙面の関係により省略）を記述致しました。

同窓生の皆様には、今後とも本校の運営に対する温かいご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

学校だより



滋賀県レイカディア大学
米原校指導員

西村 哲英

米原校は、今年で開校十三年目を迎えています。その間施設面では、文化産業交流会館を借用してきておりますので、在学生の方々のみならず同窓会の皆様にご不便をおかけしていることもあるかと思いますが、格別のご協力により順調

に今日を迎えており厚くお礼申し上げます。

一方、学習面につきましても、選択講座、必修講座とも常に検討を加えながら時代に即応した履修計画を作成して新しい方向を目指して充実を図ってきております。その一端をお知らせします。

現在米原校では、園芸学科四十五名、スポレク学科三十名、生活学科三十一名、文芸学科四十名、計百四十六名の学生の皆さんが日々元気で研鑽を積んでおられます。最高年齢は、七十八歳、平均年齢六十七歳で、主として近江八幡・八日市以北の方ですが遠く高島郡から通学しておられる方もあります。

選択講座では、各学科とも年間約八十八時間を設定し、四学科に十七名の講師を依頼しておりますが、最近では、園芸学科では養護老人ホームや養護学校等における校外実習をやや増やしてきており、スポレク学科ではニュースポーツ等の学習を、生活学科では看護や介護、リサイクル等の学習を、また文芸学科では文学や歴史の学習を新たに取り入れて来ております。

また、必修講座は、かつての七領域、人間理解、郷土理解、社会参加、学校行事の四領域にまとも、二十六分野に亘って年間百三十二時間を上回る講座をバランスのとれた学習内容で実施しております。岐阜葉大葉草園、老人ホーム長浜荘、彦根清涼寺等々における学外研修や年二回の公開講座等は従来通り執り行っていますが、かつて実施しておりました運動

会や作品展は、最近ではその二行事を併せて学習発表会として八月に三日間、平素の学習成果を教室に展示（文化行事）するとともに、イベントホールでは数種のニュースポーツを実施（体育行事）してきております。

かくして、学生の皆さんは、時には？あちこちの小料理屋で英気を養いながら大変仲良く選択や必修の授業に頑張っておられ、レイカディア大学が素晴らしい友人と縁を結ぶ場となつていることを申し添え、今回は紙幅の関係で授業内容について最近変わった点のみ簡単に報告させて頂きました。

会報「第十八号」の発刊に寄せて



滋賀県レイカディア大学同窓会

会長 佐々木 尚 一

皆様には輝かしい希望と共に新世紀をお迎えになり、心からお祝辞を申し上げます。

健やかな生がい感謝し、益々ご健勝にてご活躍の事何よりとお喜び申し上げます。

平素から本同窓会の事業運営については、お陰様にて役員始め会員の皆様から温かいご理解とご支援を頂いて、順調に推移しており、衷心よりお礼を申し上げます。

昨年度の総会にて、再度会長の大役を皆様からご信任を頂

き、引き続き誠心誠意その重責に健闘しており、相変わらずのご鞭撻とご協力を重ねて宜しくお願い申します。

特に本部の事業運営に関して、予てから要望の強かった草津、米原両校の地域別配慮について、総会会場の交互開催に併せて、役員の均等配分による増員の定款変更の承認により早速湖東地区から就任をお願いする事にしました。

なお又、米原校開設以来十余年を経過しており、開校当時の初心に還えり、卒業会員の融和と併せて該当各支部の会員相互の情報交歓を図る趣意にて、役員懇談会を昨年八月開催しました処、多数の問題提起があり大いに効果があったものと確信しています。

十二年度の総会は野洲の文化ホールにて、稲葉学校長のご臨席頂き、幸いに満席の状態で開催され、総会行事の後は前回とは趣向を変えて、湖国の女流作家畑裕子女史による歴史講演会を、当地お馴染みの「祇王」の史実について解説があり、参加会員の嬉しい共感を頂いて好評裡に閉会した事に感慨を深くしました。

なお十月恒例のフェスティバルには成果展に協賛して、二百点余の作品が展示され、五百人近い観賞者によって、名作、逸品に好感を受けると共に我々の事業活動を大きくアピールする事が出来て感激しております。

また昨年に続き十月末、支部対抗グラウンドゴルフ大会を津田運動公園で開催した処、好天氣に恵まれ神妙なプレーの続出で友好裡に終了しました。

昨年九月に新進気鋭の二十一期生の若い仲間を迎えて、今後の事業活動の活性化に大きく寄与されるものと期待しており、続いて十月には頼もしい精鋭の入学によって、同窓会の増強に連動する事でもあり、志望者の勧誘に一層のご配慮をお願いします。

就いては今年度の会報は創刊から二十年目を迎え、発行以来先輩たちの弛まぬ偉業を継承しながら、会員の叡智を結集して第十八号の刊行を重ねる事ができました。

新世紀を迎え、二十周年の意義ある好機に併せて、例年とは趣意を変えて一般記事の寄稿は止めて、会員による日常の所感をベースに、全員参加の情報交歓の意欲ある寄稿により、内容の充実した記念誌に相応しい会報として大いに共感を期待しております

前世紀の終焉と共に、人生八十年の激動波乱の我が生涯を追憶しながら、明るい今世紀を迎えて、皆様と共に生きていく喜びに感謝して、残された余生を、会員相互の親睦を大切にして、地域社会の福祉活動に格段の貢献を祈念しております。

終わりに、同窓会の益々の発展と会員皆様のご活躍とご自愛を心からお祈り申し上げ、併せて第十八号の発行に寄せて謹んでご挨拶を申し上げます。

創立二十周年を祝う



滋賀県レイカディア大学同窓会

副会長 門馬三郎

同窓会が昭和五十五年九月二十二日に草津市福祉センターで百余名の第一期卒業生によって結成総会を開催されてより二十年の歴史が打ち立てられました。

現在一七〇〇余名の同窓会員数からみれば「よくも、少数精鋭で、力を合わせてやられたものだ」と感嘆いたします。

先年、同窓会の記録を閲しました。創立以降、各年代の先輩氏が、個々の小さい力を、全員で結集し会の運営と発展を計ってこられた、実績を押し感動を覚えました。

そして、私もこの歴史の継承者として、同窓会の組織をさらに隆大に発展せねばならぬと決意をいたしました。

現在も定着している、行事「総会・会報・成果展」は各年代毎に夫々の役員が大変なご苦勞をされて組織化されてきたことも知りました。こんな事も現会員は深くかみ締めて思いを致すべきでしょう。

不肖、当職も偶然の時の運で大津支部長であった事で、同窓会の副会長にご推挙を得て、四年を経過致しました。

この間に会の運営・会計を会員の為の、会員の手によることにして、より良い経過が進んでいることは会の発展と共に



喜ばしいことです。

この二十周年のお目出たい機に会員の皆様とともに、さらなる、全県下的・多年齢的良好親交と会の隆盛・維持発展を祈念致します。

同窓会活動の地域性について

滋賀県レイカディア大学同窓会

副会長 磯貝 澄雄

本会も会員の増加と地域活動の多様化等に伴い、運営面でも特に地域間の連携と強化が求められるようになりました。為、十二年度定期総会で会則改正により、米原校地域からの副会長を一名増員することになり、はからずも不肖私がその任をお引き受けることになりました。微力ではありますが一生懸命、忠実に職務を全うしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長の任務は申すまでもなく会長を補佐することでありますが今回の一名増員の意義は、草津校、米原校両地域から各一名配置することを明確にしたことであり、地域性を重視した結果であります。

そこで米原校地域の各支部では今どのような問題点や課題が存在するのか、支部固有の問題、地域共通の課題等について関係各支部の理事の方々にお集まり願って「地域別懇談会」

と称して昨年八月四日、米原中央公民館で情報交換と今後の活動や運営の在り方について話し合いました。

いろいろ示唆に富んだ報告や今後の活動に大変参考になる成果を得ました。

十三年度のレイカディアフェスティバルが米原地域で実施されることになるようですので、本会としても成果展その他で協賛することになると思われませんが、当面これらの対応についてどう取り組むのか課題として検討しなければならないと思います。

同窓会本部の動き

滋賀県レイカディア大学同窓会

事務局長 奥村 常治郎

本格的な高齢社会の到来に向かうなかで、高齢者斯くあるべきと齢を感じさせない果敢な行動力の佐々木尚一会長を冠するわが同窓会は、わずかながらも時代の変化に対応した変革を目指しています。

■その一つは、平成十二年度は、総会後の懇親会を取り止め、湖国の郷土史作家として著名な畑裕子さんの「近江の歴史を彩る女性たち」と題した講演でした。

「平家にあらずんば、人にあらず」と平家一門の隆盛期に白拍子の祇王（現在の野洲郡永原あたりの生まれ）が、清盛

の寵愛を受けるなかで水に苦しむ郷里の農民を思い、治水工事を懇願したという。いたいけな話で、学校では習わなかった歴史の一端を垣間見、感慨深い思いでした。

■その二は、本会の円滑な運営と地域間の緊密な連携を図るため、米原校卒業生から副会長一名を選出することにしました。

その結果として、ややもすると湖南地域に偏った事業のバランスを調整する機能も働くものと期待しています。

■その三は、同窓会発足二十周年を記念して会報第十八号は、県下全会員の「全員参加の場」を設けようとの編集企画でした。このため皆さんには「近況を七八文字以内」にまとめて寄稿していただきました。

各支部の担当委員さんには、原稿用紙の配布、回収と大変なご苦労をおかけしましたが、組織を挙げての画期的な企画が実現できたと思います。

■その四は、同窓会は「最初に本部ありき」ではなく、支部の活発な活動に魅力があつてこそ会員の維持、増加があるというものです。

つまり「小さな本部、大きな支部」になるのが理想と云えるのではないのでしょうか。そのためにも二十周年記念に因み、本部会費の一部を支部に還元し、その活動を支援することを検討しています。

■その五は、従来の功労者表彰のほかに、レイ大設置の趣旨に鑑み、同窓会員を構成母体とした団体が、積極的な地域活

動や社会貢献をし、その実績が顕著な場合は表彰するという団体表彰制度を検討しています。

■その六は、調査部と事務局では、支部の活動状況を集大成



する形で、支部活動の実態調査を行いました。集約でき次第各支部にフィードバックし、今後の支部活動の活性化に供するところが出来ればと思つていきます。

成果展について

滋賀県レイカディア大学同窓会

研修部長 鈴木重隆

二十世紀最後のレイカディアフェスティバル二〇〇〇の催した滋賀県レイカディア大学同窓会も主管として昨年に引き続きスペースが与えられた。平成十一年度に問題点と課題が提示されているのに理解が不十分のまま同じことを繰り返した。すなわち全県に拡がる同窓生からの応募、それを集約するための地区委員のご苦労。園芸学科卒の方々の作品は？それでいて入場者は両日合わせて四八五名でした。

レイ大卒業生だけでなく一般の方々のご来場は有り難く思えた。地元の天津、湖南地区は来場者が多いが他市郡は五〇名程、交通便の悪い高島は出難いのによく来て下さいました。フェスティバルに来場された方々に成果展の名称がなじまなかったのか、それとも関心の度合いが違うのか？。設営が二階であるためだったのかという考えさせられました。

在校中は選択履修計画に従っての成果を発表する成果展でよいが、卒業後は自分の趣味で作品を作り、老後をエンジョイしているので「作品展」ではないでしょうか。確かにどの作品も情緒あふれる豊かなものばかりで堂々たるものです。展示掲示する例としては、各支部長から掲示下さった集計表をもとに、レイアウトに従って支部別展示場所の指定をさせ

てもらい、各支部で展示掲示をしてもらいました。掛け軸長いものは前の机は不要であり、臨機応変に処置していただいたことは大変有り難く参考になりました。

作品を各支部で集めて持ち寄っていただきましたが、その



集め方がまちまちで今後とも全県的行事が催されるのであれば、統一とまでいなくても、各支部は他支部を参考とされて、会員の協力を求める方法を実施されることを望みます。

グラウンドゴルフ大会について

滋賀県レイカディア大学同窓会

総務部長 西川 甲 三



前夜から降っていた雨も朝にはやんで、空はどんよりとしていましたが、試合開始の頃には薄日がさして来ました。しかし風は強くグラウンドは雨にぬれていて、プレーするには条件が悪く、それだけに腕の見せどころでもありました。

スケジュールは前年と同じで受付は九時でしたので遠方の支部は朝早く出発しなければならず、これは試合を午前中に終わらせる為とは言いがら高島、湖北、大津などのチームには大変ご迷惑をかけております。にも

別表成績表

順位	支部名	得点	前年度の得点
優勝	守山・野洲	398	472
準優勝	湖北	401	427
3等	甲賀	410	493
敢闘賞	湖東	418	427
5等	湖南	434	498
6等	大津	438	468
7等	近江八幡	454	482
8等	高島	472	522
9等	中部	475	507

かわかわらず遅刻のチームはなく定刻に九支部が一斉にプレーを開始しました。

あちらこちらから笑い声や激励の声援が聞こえてきて、和やかな中にも支部の名誉にかけて真剣にプレーしていることが伺われました。成績は「別表」のとおりですが、この点数を昨年度の得点と比較してみますと、各チームとも格段の好成績であることがよくわかります。ともあれ「勝敗は時の運」

であり、目的としておくことは親善と健康の増進であります。惜しくも入賞を逸した支部は落胆することなく捲土重来を期して下さい。

最後に各支部の皆様のご協力、ご支援誠にありがとうございました。

会報第十八号の編集について

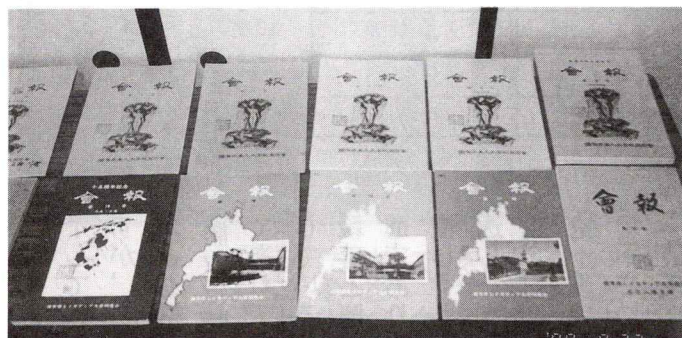
滋賀県レイカディア大学同窓会

広報部長 岩井典弘

滋賀県レイカディア大学同窓会（老人大学校）が発足して丁度二十年を迎える事になり、新世紀と共にこの意義ある好機に併せて、例年とは趣向を変えて記念の特集号に相応しい会報を発刊する為に、昨年度から関係者による編集会議を重ねました結果、先ず、毎年発行の会報を休止して二年分のより重厚な編集内容にする事で衆議を集め、今回の記念誌の主題として、「同窓会の二十年のあゆみ」を佐々木同窓会会長が主掌され収録する事が出来ました。大学の開校以来の沿革と並行して、同窓会の事業活動の経緯について、史実の蓄積の資料を各年度別に選択集約されたもので、先人達の偉業を顕彰すると共に、今後の同窓会の活性化の指針として活用を切に願うものです。

次に、全会員の皆様から例年とは違った発想にて、健康管理、地域活動、座右の銘、趣味、生きがい、最近の関心事など、日頃の所感を「私のひとこと」として三行の枠内に纏めての記述をお願いした処、予想外の投稿があり集約した結果、総会員数一、七五四名（昨年度末）に対し、実に投稿者一、一五七名にて、六六%の投稿率となり、大変に感激しております。

今回の企画を契機として、本会報が会員相互の情報交換の場となり、更に親睦の輪が広がり、同窓会今後の発展に寄与することになれば何よりの幸いかと思います。
なお、本会報の編集について多大のご協力を頂き本当に有り難うございました。



同窓会会報（創刊号～第17号まで）

調査部の活動について

当部は、事務局と合同で「支部活動の実態調査」を行いました。その結果は、今後の支部長を通じて活動に反映されることと思いますが、本誌では紙面の関係もあり、その一部をご紹介します。

各支部会員の皆さんの積極的なご意見も盛り込み、さらに充実した活動が図られることを希望致します。



滋賀県レイカディア大学同窓会
調査部長

枝村 和 次

同窓会支部活動の実態調査

支部名	会員数	支部会費	支部総会後の 行事・参加費	情報活動 機関誌名 発行回数	支部活動・行事
大 津	300人	1,000円	懇親会 2,000円	かけはし 3回/年	1. グラウンドゴルフ 2. 研修旅行(日帰り) 3. 支部会員名簿の配布 4. 新会員歓迎会
湖 南	152人	1,000円	懇親会 カラオケ 2,500円	かわらばん 6~7回/年	1. グラウンドゴルフ(2回/年) 2. 研修旅行(日帰り) 3. 一泊旅行 4. 新会員歓迎会 5. 支部作品展 6. 支部会員名簿の配布
野洲守山	114人	1,000円	講演・懇親会 3,000円	「ミニ情報」 2回/年	1. グラウンドゴルフ(2回/年) 2. 研修旅行(日帰り) 3. 新会員歓迎会 4. 支部作品展
甲 賀	163人	1,000円	懇親会 3,000円	—————	1. グラウンドゴルフ 2. 研修旅行(日帰り)
近江八幡	174人	2,000円	懇親会・舞踊 3,500円	「会 報」 1回/年	1. グラウンドゴルフ 2. 研修旅行(日帰り) 3. 手芸教室 4. 支部作品展
中 部	186人	1,000円	懇親会・カラオケ 舞踊・手品 2,000円	「支部だより」 2回/年	1. グラウンドゴルフ 2. 新会員歓迎会(ブロック別)
湖 東	243人	2,000円	講演・懇親会 2,000円	「支部だより」 3回/年	1. グラウンドゴルフ 2. 新会員歓迎会
湖 北	338人	1,000円	懇親会 3,000円	「会 報」 1回/年	1. グラウンドゴルフ 2. 新会員歓迎会 3. ゲートボール大会 4. 研修旅行(日帰り)
高 島	84人	1,000円	懇親会・手品 4,000円	—————	1. グラウンドゴルフ 2. 研修旅行(日帰り)

県合計1,754人

同窓会二十年のあゆみ（沿革と活動）

（滋賀県老人大学校、滋賀県レイカディア大学）

昭和五三年	七、十四 九、二九	滋賀県老人大学校開校（滋賀県老人クラブ連合会に業務委託により） 滋賀県老人大学校開校式（近江八幡市中央公民館仮校舎） 修学年限一年間 第一期生園芸、陶芸、生活、福祉各二十名、定員八十名が入学を許可され、近江八幡農協会館にて入学式が行われた。
昭和五四年	九、十八	修学年限二学年制に拡充、福祉学科を文芸学科に変更。 第二期生入学式が舉行される。入学生八十名。
昭和五五年	九、二二	滋賀県老人大学校同窓会設立總會 会場 草津市社会福祉センター（第一期卒業式終了後） 初代会長 大橋儀平氏（老第一期生）選出 滋賀県老人大学校同窓会 会報創刊号発行 第一期卒業生を会員に充足。
	十、一	第三期生入学式が草津市社会福祉センターで舉行される。 入学生八十名。
	十、三十	
昭和五六年	三、二五	第一回同窓会總會を開催 会場 草津市社会福祉センター （公開講座終了後） 第二期生が卒業する。（同窓会七〇名入会） 会員総数一四八名 老人大学校校舎を大津市京町 滋賀県厚生会館へ移転 （近江八幡仮校舎） 第四期生入学式が県厚生会館で舉行される。 入学生七十八名。
昭和五七年	三、八	第二回同窓会總會、草津市社会福祉センターで開催、懇親会あたらか飯店。 当日公開講座に研修参加があり、終了後總會を実施。 同窓会憲章制定。
九、		第三期生卒業（同窓会入会七十二名、五十七年度同窓会総員二一六名）

昭和五八年	十、十四 三、二四	第五期生入学式が県厚生会館で舉行され、九十三名が入学を許可される。 第三回同窓会總會、大津市のぞみ荘の会場、懇親会は盛会であった。 第二代会長に中川長三氏が選任、会報第二号を発刊 会員に配布。 老人大学校の校歌が制定され当日披露、大学のバッヂも製作在校生に授与。 第四期生六六名が卒業（同窓会総員二八六名） 第六期生一一〇名にて入学式が舉行される。（定員百名に拡充）
昭和五九年	九、二七 五、十六	第四回同窓会總會、会場彦根市民会館、八支部結成、 総会員数三七〇名。会報第三号を発行し全会員に配布する。 第五期生七九名が卒業、同窓会に入会する。 第七期生一〇六名にて入学式が行われた。
昭和六十年	十、二三 五、十	同窓会定期總會が近江八幡厚生年金休暇センターで開催、 一五七名が出席 新装オープンの会場で和気藹々の雰囲気懇親が行われ盛會裡に終了した。会報第四号が支部結成記念号として全会員に配布する。 第六期生九八名が卒業（同窓会会員総数四六三名） 第八期生一〇五名にて入学式が舉行された。 老人大独立校舎建設に関する請願書署名総数一〇六四九名を纏めて、県議會へ提出、満場一致裁決可決され知事に送付さる。 （老大拡充の請願活動）
昭和六一年	九、 三、二七 五、七	公開講座 会場を近江八幡文化会館で開催される。 同窓会定期總會、湖北農業会館にて開催され、会報第五号を会員に配布。 第七期生一〇〇名が卒業、（会員総数五六三名） 第九期生一一〇名の入学式が舉行された。
九、十三		

六、四	同窓会研修会 奈良少年刑務所見学 実地研修により感銘を受ける。
六、九	同窓会定期総会 能登川町やわらぎホール開催される。会員数七三四名 会報第八号を各支部別の会員名簿を併記の上刊行し全会員に配布する。
六、十六	公開講座 「近江の歴史」 奈良本辰也先生の講演、 米原文化産業交流会館
九、一	公開講座 大津市民会館 講師に京極高宣氏「明日のライフデザイン」
九、二六	第十一期卒業式 滋賀会館大ホール 大津校一〇四名、米原校八八名が卒業（入校時二二〇名） 全員が同窓会に入会する。
九、	同窓会結成十周年記念事業の趣意書を全会員に配布、 記念式典、記念誌、母校へ記念品の贈呈、会員の記念品等、 記念事業協賛金一〇二千円以上
十、十七	第十三期生入学式 会場米原校舎大ホール 大津校一一二名米原校八一名
十、十一	第五回ゲートボール大会土山かもしか荘にて、 各支部多数の愛好者参加。
十二、十五	公開講座、滋賀会館大ホール「人生八十年時代を生きぬくために」 講師一番ヶ瀬康子氏の講演、 「男女共同社会を考える」シンポジウム。
平成三年	
三、二	公開講座、近江八幡文化会館、 「近江商人の金言名句」講師小倉栄一郎氏「日本語の魅力」 講師金田一春彦氏の講演があり、夫々蘊蓄のあるお話。
三、六、	老大成果展の開催 けいぶんホール 同窓会員、在校生の出品数一三五点
三、九	公開講座 関西フィルハーモニー管弦楽団演奏会、 歌曲の独唱と合唱。
三、十	老卒業生（同窓会）十周年記念作品展 展示場 大津しがぎんホール 展示総数 一三〇点

六、十	各支部よりの労作逸品が勢揃いした。 同窓会定期総会 会場 草津市勤労福祉センター 一一〇名参加 懇親会 会員数八七八名 会報第九号 同窓会結成十周年記念誌を全員に配布。
六、十五	公開講座 米原文化産業交流会館 講演は「ソ連の歴史とその行方」講師 阪大教授 藤本和貴夫氏 ソ連邦崩壊と世界情勢について解説。
七、十五	公開講座 狂言観賞会 しがぎんホール 茂山千五郎師匠外社中。
九、五	老大研修旅行 亀岡方面、トロッコ電車、保津川下り 初秋を満喫。
九、二十	第十二期生の卒業式 滋賀会館大ホール 大津校九七名、米原校七六名
十、十	老人大学校同窓会創立十周年記念式典 会場 アヤハレレクサイドホテル 式典参加者 三〇〇名 記念品の贈呈（青銅製の大型花瓶）懇親会開演。 同窓会会員から「地域指導者」シニアリーダーバンクの調査発表 があり、各支部より一八二名の報告があり今後の地域活動の指導 の活用にしたい。
十、十七	第六回ゲートボール大会 土山かもしか荘 雨天につき室内ゲーム
十、十七	第十四期生入学式 米原校舎大ホール 大津校一〇四名 米原校八九名
平成四年	
三、四、	第二回同窓会成果展 会場しがぎんホール 出展数一五〇点
三、十四	公開講座 会場 草津文化芸術会館 音楽講座「弦楽四重奏」演奏。
六、十二	同窓会定期総会 会場 彦根老人福祉センター 会員総数九八〇名 会報第十号を全員に配布、各会員よりの投稿により内容が更に充 実した。
七、三一	公開講座 滋賀会館 「デンマークの高齢者福祉と痴呆老人ケア」 講師 片岡 豊氏とギエギッテ・ミケルセン氏

九、二二	第十三期卒業式 滋賀会館 一六二名が卒業し同窓会に入会する。
十、一	老大研修旅行 奈良方面（法隆寺、薬師寺、高松塚外）参加者多く好評。
十、十五	第十五期生入学式 米原校舎大ホール 大津校一〇五名 米原校八六名
十、二四	第七回ゲートボール大会 土山かもしか荘 今年も雨天につき室内競技。
平成五年	
三、六	公開講座 米原文化産業交流会館 「相撲と人生」講師 元横綱若乃花の二子山勝治氏 人気者親方の四方山話に大勢の参加者で拍手喝采の盛況。
六、二二	老大同窓会海外研修旅行 上海、北京方面 五日間 参加者十八名
七、三〇	長寿社会福祉センターが南草津に健康生きがいづくりの殿堂として完成。レイカディア振興財団の諸施設が移転、「湖の理想郷」を目指して活動。老人大学校大津校舎を長寿社会福祉センター内の新装完備の校舎に移動。
九、三〇	老大同窓会、在校生共催 新校舎移転記念 成果展 出品数 一五五点
九、三	老大創設十五周年記念講座 NHK協賛「福祉フォーラム」会場大講堂 基調講演 「高齢化社会の豊かさとは」 講師福祉専門家 京極高宣氏
九、六	定期総会 会場 長寿社会福祉センター大講堂 (草津新校舎を見学) 各支部よりの参加者二九三名で満席の状態にて総会行事を終わる。講演「伝えたい民族風習」郷土史家 瀬川欣一氏。昼食弁当で解散する。今回の担当近江八幡支部、総会員数一〇四三名。会報第十一号を配布。
九、三十一	第十四期卒業式 草津校舎大講堂 卒業生一七八名 老人大学の校名を「滋賀県レイカディア大学」に改称する。 一学年定員を草津校二二〇名、米原校八〇名、草津校にスボレク学科を新設される。

十、二六	第十六期生入学式 米原校舎大ホール 草津校一二六名 米原校八七名 当日、新学校の校章・校旗を制定し全学生に披露。
平成六年	
十一、二二	同窓会研修旅行 洛北方面（三千院、銀閣寺、植物園外）紅葉を觀賞
三、五	公開講座 米原文化産業交流会館「額田王と淡海」講師作家高城修三氏
三、二六	校歌「レイカディア賛歌」が制定され、同窓会総会にて披露、斉唱する。
七、十一	滋賀県レイカディア大学同窓会定期総会 会場 長浜 浜湖月 湖北支部担当 参加者一六〇名、中川会長病氣療養の為辞任、新会長に安倍勉氏選出。 校名変更による同窓会会則、憲章の改正を議決、総会員数一三五九名
八、二六	講演、長浜市民交流センター三原氏 会報第十二号を全会員に配布。
九、三	研修旅行 三重まつり博'94 日帰り 参加者七十名 バス二台
九、十	公開講座 長寿社会福祉センター大講堂 「近江の都」作家 邦光史郎氏
九、十九	同窓会（レイ大在校生との共催）成果展 草津校舎各教室にて分散展示。
九、二七	同窓会海外研修旅行 華南（香港、桂林、広州）方面 参加者十九名
十、十三	第十五期卒業式 草津校舎講堂 一六七名が卒業、同窓会に入会手続き。 第十七期生入学式 米原校舎大ホール 草津校一二三名 米原校八九名
平成七年	
三、四	公開講座 米原文化産業交流会館 講演「動物の性、人間の性」 講師 東大教授 木村武氏 理学博士による講話で興味があった。

四、二五	レイ大「歌舞伎観賞教室」に参加の勧め。 南座 午後一時から三時まで 全館貸し切り、「葛の葉」一幕 (解説つき) 会員観劇に多数参加する。
六、一	同窓会定期総会 安土やすらぎホールが会場 湖東支部担当 一七〇名が参加して懇親会も盛会。会報第十三号を会員に配布。 会員総数一四〇六名
七、二九	会則の改正(各部の設置と分掌、各支部の名称と区域割りの変更) 公開講座 長寿社会福祉センター講演「私の地球発見」 琵琶湖からの旅立 講師 名古屋大学教授 松本英二氏 地球の環境問題と取組みについて。
(二九〇三)	レイ大文化祭(作品展) 卒業生との共催 各教室に展示。 出品多数あり。
八、四〇	先進地老人大学同窓会活動視察 (京都、奈良、名古屋地区へ各役員が派遣)
九、四	同窓会研修旅行 名鉄犬山駅 野外民族博物館(リトルワールド) 日帰り 参加者一二〇名 (バス三台に分乗) 世界各国の展示物を回遊見物。
九、二二	第十六期生卒業式 草津校舎講堂 一八四名卒業、 新規会員に入会する。
十、一八	第十八期生入学式 米原校舎大ホール 草津校一三三名 米原校八一一名
平成八年	
二、一七	公開講座 米原文化産業交流会館 「健康、生きがい、ストレスの話」
六、四	講師 医療エッセイスト 斉藤茂太氏 豊富な世間話に興味あり。 同窓会発足十五周年記念総会 県立女性センター(八幡) 参加者二五〇名 記念式典、祝賀懇親会、 ホスト近江八幡支部 総会員数一五五三名 会報第十四号 会員の意欲ある寄稿により内容の充実した記念誌 を発行。
八、六	記念事業 卒業生活動状況調査表(アンケート方式) 全会員に配布依頼。
九、二〇	レイカディア・フェスティバル'96 会場 守山市民ホール、体育館。

七、二二	公開講座 守山市民ホール ①「人と人ーボランティアへ踏み出す一歩」 講師 俳優 牟田 悌三氏 ②「いきいきシルバの知恵袋講師 弁護士 三瀬頭氏 ※同窓会活動展 作品展示一三〇点 ※同窓会活動展 草津校舎講堂 第十七期生卒業式 新入会員に受入れ。 卒業生 一八五名 米原校舎大ホール 第十九期生入学式 米原校舎大ホール 草津校一三八名 米原校八四名。 同窓会研修旅行 福井一条谷朝倉氏遺跡、武生菊人形見物 バス三台。
九、二五	狂言観賞教室 米原文化産業交流会館ホール 茂山狂言会(茂山千作師外)
十、一七	公開講座 米原文化産業交流会館 卒業生活動事例発表(初回にて) 発表者 近江八幡支部 佐々木尚一 湖北支部 松井好枝両氏 講演 「スポーツ+αまちづくり」 講師 NHK解説委員 西田善夫氏
十一、七	同窓会会長安倍勉氏入院加療中の処、薬石効なく本日未明逝去さ れる。
十二、五	告別式に大学、同窓会関係者参列の上、謹んでお悔やみを申し上げる。
平成九年	
三、一	同窓会定期総会 大津アヤハレレクサイドホテル 参加者 二一七名
五、三十	故安倍会長逝去に伴う会長代行に野中副会長が主掌し、弔意を表 し黙祷。会則により野中会長、門馬副会長が理事会にて選出、 総会にて承認さる。総会後和やかな懇親にて解散。
六、一	総会担当大津支部。総会員数一六四三名。
六、一	公開講座 ※公開授業 「園芸学科の教室から」 レイ大講師 中村利温氏 ※特別講演「日本の伝統的な健康料理」 神戸山手女子短大教授奥村彪生氏 会場 米原文化産業交流会館 今回は趣向を変えての課題につき好評。
六、一	同窓会役員会(理事会) 守山 つがやま荘 大学(課長、事務局長出席)

七月末	第二十期学生募集 各市町村福祉関係に推薦依頼（同窓会にも協力依頼）
九、十七	第十八期生卒業式 草津校舎講堂 卒業生一七九名（新入会員一六八名）
十、八	第二十期生入学式 米原校舎大ホール 草津校一七名 米原校八六名
十、二五	レイカディア・フェスティバル”97 会場 レイカディアセンター
十一、七	同窓会活動展（成果作品展示） 会員の出席作品 一三一点 記念講演「高齢者輝いて生きる」 NHK解説委員 村田幸子氏 同窓会 研修旅行 湖西方面（興聖寺、中江藤樹記念館） 参加者四三名
十二、一	会報第十五号刊行、安倍前会長の追悼、各支部日より、 創刊号紹介記載。
平成十年	公開講座 講演「人生を豊かに」 講師 作家 はかま満緒氏 滋賀会館 卒業生 事例発表 甲賀支部 畑中千代 湖北支部 三輪省一両氏
四、	人事異動にて健康生がい課長真野氏本庁へ栄転、 新課長に富田博文氏就任。草津校事務局長 坂口伊織氏退職、 後任に伴良松氏就任される。
五、三、 十	滋賀県レイカディア大学創立二十周年記念 訪中研修旅行 湖南省各地 （滋賀県友好協定十五周年記念）レイカ卒業生、 在校生 参加者二七名 ※友好親善記念式典に参加 ※湖南省老人大学との交流、合同作品展。 ※稲葉知事、各種団体総勢三〇〇名、長沙市他各地で熱烈大歓迎 を受ける。

六、十一	同窓会定期総会 会場 クサツエストピアホテル（了R草津駅前） ※会則の変更（役員への項に常任理事、事務局長を新設。役員会、 評議員）
七、三十	※役員の変更（会長佐々木、副会長門馬、事務局長奥村、会計谷 本各氏 参加者一九八名が親睦を重ねる。総会員数一六八二名 当番湖南支部。
八、二九	滋賀県レイカディア大学運営委員に同窓会より下記二氏を推薦する。 副会長門馬三郎、理事野玉一子両氏（来年三月末日までの任期） 滋賀県レイカディア大学開校二十周年記念行事 米原文化産業交流会館 公開講座 特別講演「笑いてなんやろう」 落語家 露の五郎氏、卒業生事例発表 湖北支部 堀田肇、 近江八幡支部 馬場利両氏
九、十七	第十九期生卒業式 米原校舎大ホール卒業生一八三名、 同窓会へ一六三名が入会。佐々木会長恒例により出席の上、祝辞 と共に入会に謝意を述べる。
十、三、 四	レイカディア・フェスティバル”98 成果展に協賛 草津校舎 研修室 出展数一五六点 観賞来場者 三八五名 年々会員の協力により好評。
十、十三	第二十一期生入学式 草津校舎大講堂 草津校一〇六名 米原校七二名 開校二十周年記念事業に、佐々木会長より新校旗を寄贈し祝辞を 述べる。
十一月末	会報第十六号発刊 開校二十周年記念特集号として、各会員より 在校当時の思い出の記述をベースに、内容豊かな記念誌に相応し いものとなる。
平成十一年	公開講座 野洲文化ホール 特別講演 「人間はんざい」講師 難波利三氏（直木賞作家） 卒業生事例発表 大津支部 関武氏 甲賀支部 真鍋光徳氏 近江八幡市総合福祉センター（ひまわり館）の施設の利用は今期 より使用料の全額免除の旨（従来半額）通知があり、ご好意に謝 意を表すると共に今後の福祉活動に格段の協力を確約する事にした。 同窓会定期総会 米原文化産業交流会館ホール
六、九	

七、十七	総会終了後懇親会を止め今回初めての趣向で各支部会員の演技の披露があり、熱演に大好評を得た。参加者二四四名 総会員数一七五八名 総会担当 湖東支部。
九、十七	二十期生卒業式 米原校舎大ホール 佐々木会長出席して祝辞を述べる。卒業生草津校一〇九名 (同窓会九五名) 米原校八五名(同窓会八三名)
十、十三	第一回支部対抗グラウンドゴルフ大会 近江八幡津田運動公園特設ホール 各支部選手六名、 記録員一名で参加、各精銳の善戦により湖東支部優勝。 第二十二期生入学式 草津校舎大講堂
十、十九	草津校一〇七名 米原校八二名 佐々木会長代表して祝辞を述べ、新進氣鋭の若き後輩を激励する。 レイカディア・フェスティバル 成果展協賛
十、三十	会場 草津校特別研修室 会員出席数一六七七点 観賞入場者 七九六名 (周知徹底と宣伝効果による)
十一、三十	ネットワーク・フォーラム「広げよう高齢者の地域活動」 女性センター 基調報告 黒石滋賀大助教授、 活動事例発表 青山、辻本、中島三氏。
十一月末	会報第十七号 本号は会員の随筆と本部、各支部の事業活動の記事と新入会員の各学科の代表者に特別寄稿を内容として発行をした。
平成十二年	
二、八	同窓会婦人部理事会 馬場婦人部長、各支部婦人部理事出席、 執行部参加 各支部よりの提言につき活発な意見が交歓され、有意義な成果があった。
二、十九	公開講座 野洲文化ホール 特別講演「好奇心は元氣のもと」 講師は女優 三林京子さん。卒業生事例発表大津支部清水茂雄、 湖北支部蒲生芳子両氏
二、二十	ネットワーク・フォーラム「広げよう高齢者の地域活動」草津校

四、一	舎大講堂 高齢者生がい私の主張 表彰式。活動事例発表今西、 近藤、加藤三氏。 レイカディア振興財団の関係役員の人事異動により、副理事長外 総役員が交替され、富田課長のみ残留にて、学校関係は今後もお 世話になります。
六、九	同窓会定期総会 会場 野洲文化ホール 総会議案に会則改正副会長増員。役員改選は磯貝副会長を選任し、 役員全員留任を承認される。 総会終了後 特別講演「近江の歴史を彩る女性達」 講師郷土作家 畑裕子先生「祇王」の女神、一時間半の郷土の史 話に感銘を受ける。当番守山野洲支部
七、五	総会参加者二二名 満席の盛況。同窓会総会員数 一七七五名 レイカディア振興財団では福祉業務推進のために、インターネッ トホームページを開設され広く利用を歓迎しています。 http://www.nenrin.or.jp/shiga/ 公開講座 特別講演「平成乱気流」 講師 漫画家 はらたいら氏
七、二二	卒業生活動事例発表 湖南支部 田中善一、 湖北支部 戸之洞貞夫両氏 漫画的なユーモア感の発想で世相を語って我々老人に楽しく過ご す参考に。
七、二七	二十一期生卒業予定者に同窓会入会の勧誘開始、 会長が学校に赴き該当者に入会申込書を配布して、本会の概要を 説明して入会を勧める。
七、三十	二十三期生学生募集に各支部長に協力を要請。 優秀な後継者の基盤づくりの確保に、会員の知人などの関係者に 入学案内にて勧誘を促進すること。
八、八	第一回 地域別懇談会(米原校入学地区) 米原中央公民館会議室 本部執行部 関係各支部長、各理事が参加。 米原校開設以来十年が経過して、卒業生が千名を越える増加とな った。各支部の地域的な課題を抱え、その運営方針の改善の参考 意見を集約して初回ながら、発想的な問題点の統出で有意義な会 合であった。

八、十五

レイカディア大学運営委員会 同窓会推薦委員について、任期満了により推薦依頼があり、副会長 磯貝澄雄、理事 中森静恵両氏を推薦する。

九、十四

二十一期生卒業式 米原校舎大会場 卒業生草津校九五名、米原校六四名 計一五九名

九、二二

(同窓会新規入会者 草津校 七五名 米原校 六三名) 二〇〇〇年がん制圧全国大会 会場びわこ大ホール 同窓会に参加要請。各支部参加者一〇〇名が十時から式典と講話の行事があり認識を深める。

十、十一

二十三期生入学式 草津校大講堂 入学生草津校一二七名 米原校七〇名。

十、二二

レイカディア・フェスティバル”2000
レイカディアセンター

「ふれあいを笑顔でつなぐ長寿の輪」同窓会成果展に協賛。

十、三十

本館特設会場。会員総出席数一九六名、両日の来場者四八六名、出品、来場共に新記録。
支部対抗グラウンドゴルフ大会 津田運動公園特設コース
各支部選手六名 スコアラー一名 各支部九組編成で九時競技開始する。昨年に続いてコースにも慣れ、和気藹々にプレーされご機嫌でした。

十二、六

ネットワークフォーラム「広げよう高齢者の地域活動」
水口碧水ホール
基調報告 黒石滋賀大助教授。
活動事例発表伊藤、祖父江、小島三氏。

平成十三年

二、十七

公開講座 特別講演「二十一世紀へ今、輝いて」講師女優 岸ユキさん 卒業生活動事例発表 大津支部 本郷満造、湖東支部 高下 勇両氏

三、十三

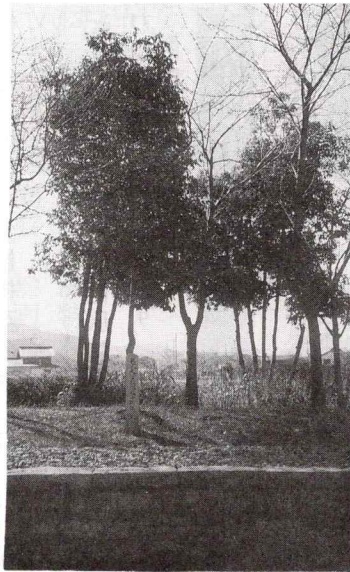
野洲文化ホールの足場の良さと美人講師で一般来場者を含め満席の盛況。
ネットワークフォーラム「広げよう高齢者の地域活動」今回が最終回。
会場 ひこね燦ばれす 基調報告「新しい高齢者像」滋賀大黒石大助教授。 実践報告 企画スタッフの声、これからの活動に向け

三、

て。フリートーク。

同窓会創立二十周年記念事業の策定について(役員会において討議中) ※同窓会記念総会 五月二十一日 月曜日 会場 ホテルニューオウミ(JR近江八幡駅東側)
※同窓会会報第十八号(記念誌)の発刊(広報部) 五月中旬発刊予定
※平成十三年度の事業計画と諸経費予算案について

(未完)



米原校舎の中庭に「クロガネモチ」の成木を植樹



支部活動だより

大津支部



同窓会会計

支部長 谷本 一夫

昨年四月十五日大津支部の総会で、前門馬支部長の後を受け、はからずも支部長に選任され、重責ながらも会員諸兄弟のご協力を得て微力ながらも頑張っています。

大津支部は志賀町北小松から大津市大石までの広範囲な地域を占め、会員三〇一名を擁するマンモス支部でありますために、組織の中を四つのグループに分割、それぞれに副支部長を配し、さらにより細やかな体制としてグループの中を学区別にブロックを編成、担当の理事、幹事を配置して情報連絡などを密にして運営しています。

平成十二年度事業計画の実施につきましては、担当役員を決め、計画から実施まで一元の推進を行っています。

おかげで、

一、グラウンドゴルフも年二回実施し、グループ別対抗戦で競技を盛り上げました。

二、日帰り研修旅行は関ヶ原古戦場、醒ヶ井養鱒場を見学。ゆとりある時間を設置し、楽しい旅行に終わりました。

三、成果展も昨年度より数多く出展され、その熱意の程に喜んでいきます。

四、情報誌としての会報は、「かけはし」と愛称もきまり、B5版六枚程度で編集。会員相互のきづな、つながりにむけ頑張っています。

新世紀を迎え、会員一同健康に留意し、会の更なる発展にむけ努力したいと考えています。

湖南支部



窓会本部事務局長

支部長 奥村 常治郎

交通、公的施設などの利便度もよく、比較的恵まれた環境の当支部は、草津市と十月には「市」になると言われている栗東町との一市一町、一五二名の会員を擁するこじんまりとまとまった支部です。

■こんな支部の自慢は、レイ大第一期生・陶芸学科で明治四

十二年生まれ、九月には九十二歳になる小松正さんです。本

守山・野洲支部

十二年生まれ、九月には九十二歳になる小松正さんです。本部の成果展、支部の作品展には、毎年元気に自慢の作品を杖にも頼らず持参され、背筋をピンと伸ばした姿に周りの会員も驚嘆の極みです。まさに高齢者の鑑です。

■四月の支部総会に始まり、二月の作品展に終わる年度内の行事は、春秋のグラウンドゴルフ、一泊旅行など七つの行事で、これらは他支部と大同小異と思います。ただ、その活動のPRと結果を全会員にお知らせする「かわらばん」は、発刊以来すでに十八号になり、会員の皆さんから「支部の動きがよく見える」との評価を得ています。

しかし、広報活動を活発にすればする程、各理事のご足労が増えることに頭を痛め、その解消策の一つとして担当地域を「小学区」制にしました。この結果、担当区の明確化と効率化が図れました。



守山・野洲支部



同窓会広報部長

支部長 岩井典弘

活動のスタートは総会。昨年も「介護保険制度とその課題」の講演会を併せ開催。本部から佐々木会長を迎え、会員出席者も今までの最高の三十八名と盛会。事業としましては

一、グラウンドゴルフ交流会

年二回野洲川立入グラウンドゴルフ場で、近江富士を眺めながら終始楽しくプレー。

二、作品展

昨年は、アル・プラザ野洲特設ギャラリーで十月十八日から二十二日開催。陶芸、絵画、写真、手芸などの力作が出品され、多くの見学者がありました。

三、研修旅行

十一月九日京都非公開文化財秋の特別拝観は、参加者も三十二名に達し、芸術と文化の秋にふさわしい自己啓発の研修旅行となりました。

四、ミニ情報

年間の特記事項としては、本部総会六月九日野洲文化小劇場で講演会と併せて開催され、出席者は二二二名で会場を

埋め尽くす盛況。当番支部として皆さんのご協力ありがとうございました。今ひとつは県支部対抗グラウンドゴルフ大会で優勝したこと。出場者の技もさることながら、チームワークの良さの勝利でもありました。

今後も事業を積極的に推進して行きますので、より一層のご協力とご参加をお願い申し上げます。

甲賀支部



同窓会研修部長

支部長 鈴木重隆

甲賀支部の自慢活動を紹介しよう。今年で五年五回目となった各町輪番制による自町の紹介で、担当町理事が自町の研修項目を立案し、理事会に計り実施するというもの。

今年甲賀町の担当であった。十月十八日参加者は（五十七名）はJR甲賀駅に集合して、甲賀町で手配のバス及び自家用車に分乗し安田全宏陶芸家の作品を見学すると共に先生自らの説明、また、質問などに自らお答えいただき、次の小佐治地区の十五世紀造営の聖観世音菩薩像と十一面観世音菩薩像に参拝。この妙音寺は十八世紀に再建され、現在は住職不在。のどかな地区でした。ここは餅米が日本一とかで、小佐治地区管理運営の餅つき会館で一服し、つきたての餅をご

馳走になった。甲賀町には工業団地があり、その中で企業の一つ、財団法人、日本アイソトープ協会の甲賀研究所を見学。コバルト60によるガンマ線照射利用と開発普及が目的の研究所で、医療用具の放射線減菌、高分子物質の放射線改質、低線量実用照射研究の受託や技術者の養成などが行われている。水槽の中の放射線なども見学できた。後は甲賀町手配による恒例の酒席となり、終始なごやかなうちに閉会し、次年度甲南町に引き継がれることになっている。

近江八幡支部



同窓会総務部長

支部長 西川甲三

※支部総会

四月二十五日 於坪清 来賓に行政、大学、同窓会関係十名 会員七十名出席、総会行事の後、懇親会に新舞踊の演技があり盛況裡に終わる。

※グラウンドゴルフ大会

六月二十九日津田運動公園 各地区から懇親を兼ね多数の参加があり、試合結果により本部大会の選手六名を選考する。

※研修旅行

七月十九日「決戦関ヶ原史料展示館、古戦場、大垣博覧

会を見学する。参加者四十三名が大河ドラマの放映に併せ
史跡の見聞に感激を深めた。

※作品展示会

十月十一日～十二日 白雲館にて開催、出品数六十七点。
両日共に好天に恵まれ、一般市民（観光客）三五〇名の来
場にて大いに成果を得た。

※二十三期入学生募集について

会員全員が一丸となり、該当者の推薦に協力し、お陰で
二十七名が入学を許可された。市広報の募集協力にも感謝
する。

※手芸教室

十一月二十八日 ひまわり館 参加者二十名 新春の飾
り物「巳」を題して、色紙にくるみ絵を作成、縁起物とし
て毎年好評を受けている。

※支部会報の刊行

当支部伝統の事業の主題である会報の発刊は例年の通り
に行政、大学、本部役員諸氏から激励の寄稿をいただき、
全会員から日頃の所感を投稿され、今世紀最終の記念特集
に相応しい情報紙を年末に配布した。

※健康づくり講座

二月二十日 ひまわり館ホール「冬の高齢者の健康づくり」
日頃の健康管理を保健婦さんから実演を交えての生涯学習を
開催。

中 部 支 部



支部長 園 昭 三

世紀の節目に支部長を預かって責任の重さを感じつつ微力
ではありますが、先輩諸氏のご指導を仰ぎながら心を引き締
めて同窓会中部支部発展のため努力してまいります。

当支部は、一市七町の広範囲な地域で本年二十一期生の入
会をいただき、会員数は一八六名の大支部となりました。
従来の支部運営に新しい会員の声も大事にしていきたいと
考えております。

一、平成十二年度活動経過

四月 十七日 第一回理事会

定期総会開催について

五月二十七日 中部支部第十七回定期総会

八日市延命荘 五十六名

事業報告と決算報告 可決

事業計画と収支予算 可決

第二部 懇親会とアトラクション

カラオケ、手品

六月 二十日 中部支部だより 第三号発行

八月二十九日 第二回理事会 成果展など
十月 十三日 第三回支部グラウンドゴルフ大会
やわらぎ公園 参加者四十九名

優勝 能登川 A

終了後 全員懇親会

十月二十一日 レイ大同窓会成果展に出展

十月 三十日 本部主催 支部対抗グラウンドゴルフ

十二月 一日 中部支部日より 第四号発行

二十一期卒業生入会紹介と蒲生町加入

・理事紹介

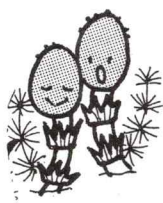
会員の声を編集（四氏掲載）

二、今後の予定

◇ 四月下旬 第三回理事会

◇ 五月上旬 支部日より 第五号発行

以上の通り支部活動について報告しましたが、前段申し上げましたように当支部は広範囲の地域であるため、事業活動（レクレーション、サークル）には今一步であります。役員一同、こうした課題に向かって活性化と内容の充実に取り組んで参りたいと考えておりますので、更なるご協力ご指導をお願い申し上げます。



湖東支部



同窓会副会長

支部長 磯貝 澄雄

運営の実態と今後の課題

平成七年度から新入会員歓迎会を彦根の分会活動として毎年秋に行ってきましたが、十二年度は、支部の行事として湖東三山の名勝西明寺の門前「一休庵」で実施して大変盛会でした。出席した会員は新旧合わせて六十三名、アトラクションとして手品、カラオケその他多彩な余興で楽しい一日を過ごしました。

実は、我が支部で活動のブロック制を実施するようになって数年経過する中でいろいろ反省すべき問題が生じている。それは例えばグラウンドゴルフやゲートボールなどのスポーツ活動、あるいは俳句会などのような文化的な活動も分会単位で行われているのが現実でその方が活動しやすいということもあって、折角分科会活動費として各ブロックに予算配分されているのに有効に活用されていない実態があります。以前アンケート調査したときに会員の希望する行事として実施するのが適当であろうということで十二年度は新入会員を迎えたときに歓迎行事の他に講演会をその中に入れて実施して

好評を得たということであります。

来年度以降も春は総会、秋は歓迎会の中の行事として講演と親睦会を実施することにして分会助成金の一部をそれに充当すると共に助成金の有効活用を図るよう検討中。

湖北支部



支部長 大比叡 留次

活動の軌跡

当支部は会員の多くが自主的にその地域で文化や社会福祉に活動されている。それ故に支部の事業は楽しい同窓魅力ある支部をモットーに活動し、第三の人生を健やかで悔いのないものになりたいと思います。本年度の軌跡は

- 五月二十一日 定期総会米原かねよ 四十一名参加
- 六月九日 同窓会本部総会・野洲 十四名参加
- 六月十八日 支部役員会 長浜市臨港 二十九名参加
- 七月二十二日 公開講座と活動発表 米文産セ 多数参加
- 八月四日 地区別懇談会 米原公民館 支部三名参加
- 八月九日 親睦グラウンドゴルフ 湖北町 四十三名参加
- 九月四日 会報六号の編集会議、高月 原稿整理
- 十月六日 会報六号の編集会議 高月 編集と校正

十月二十一日 本部成果展 草津 長社福セ 出品十八点

十月三十日 支部対抗グラウンドゴルフ 八幡 準優勝

十一月五日 会報六号製本完成 配本

十一月二十二日 親睦旅行 郡上八幡 七十一名バス二台

十二月二日 支部役員懇親会 長浜ふたば 二十三名参加

三月一日 支部対抗ゲートボール大会長浜サンドーム

三月十日 支部役員会議十三年度総会 事業計画案

高島支部



支部長 川島 義一

一、平成十二年度高島支部総会

五月二十二日 新旭町川新で開催 三十二名出席

二、平成十二年度本部総会

六月九日 野洲文化小劇場で開催 八名出席

三、公開講座

七月二十二日 米原文化産業交流会館で開催

四、高島支部幹事会

九月五日 新旭町総合福祉センター

五、一日研修会

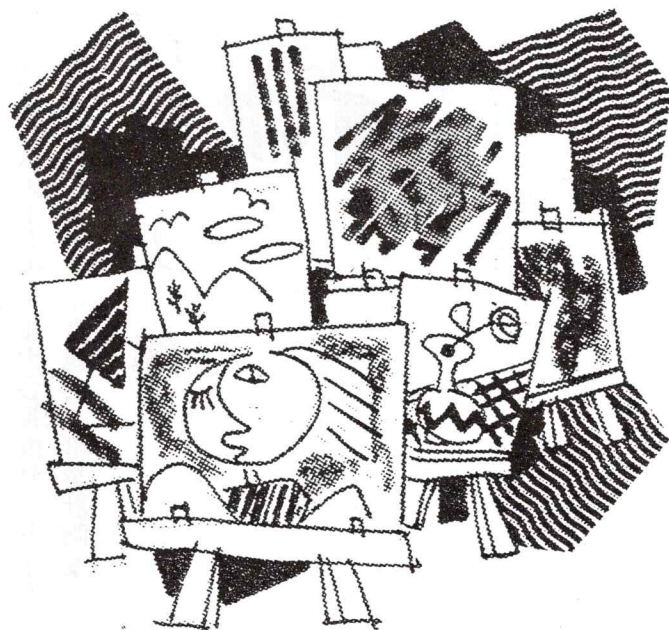
九月二十九日 新旭町のマイクロバスを借り、講師に第

十一期園芸科卒の大江利雄氏にお願いし、神社仏閣などを巡る。蛍雪会館での親睦会 出席二十五名

六、町村対抗グラウンドゴルフ大会

十月七日太田区民グラウンドで開催 二十六名出席

会員も加齢と共に退会の申し出もあり地域的要件も重なり、運営に苦慮しているところです。幸い二十一期生も増え会員相互の連携を密にし、地域社会に貢献し、高齢社会を乗り切りたいと考えます。今後とも会員皆様の事業への積極的なご参加とご支援なりご意見を賜りご指導下さいますようお願い申し上げます。



二十周年記念・「私のひまわり」

滋賀県レイカディア大学同窓会（老人大学校）が発足して
丁度二十年を迎えます。

新世紀と共にこの意義ある慶事の年に、皆さんの日常の様子や無事を確認するための情報交換の場を設けることにし、
一、七五四名の全会員に呼びかけましたところ、六六%に当たると、一五七名の多くの皆さんから投稿をいただきました。

（順不同）

大津支部

第五期生

陶芸学科 浜田 三次

二十一世紀を迎えました。どんな世紀になるのでしょうか。いろいろな事があると思いますが百年を生き抜こう。健康で平和と人倫を重んじ敬愛心に努め明るく発展に尽くす。

生活学科 丹保喜佐枝

ダンススクールに通って丸四年孫の様な先生にレッスンを受けて身も心も若返る感じです。健康の為と始めましたが、楽しくてやめられません足の動く限り続けるつもりです。

文芸学科 山本 良雄

ヒロシマの被爆者なので、その体験談を口演、また戦争をテーマに随筆、小説を投稿発表している。「ヒロシマを生きる」を自費出版し、図書館等に寄贈している。

文芸学科 村川増治郎

十二月一日ごろ着く北海道新巻たのみましたのたより。注文殺到で大忙し業者、師走半ば過ぎても着かぬので、調べの結果書類の紛れていたと解り、一件落着す。私の一言

第六期生

園芸学科 松山 清治

明治大正昭和平成と世の中が移り変わり、二〇〇一年を迎えて変らぬのは盆栽である。故島岡先生に戴いた松の種今年期。物言わぬに鑄を入れて成長がたのしみです。

第七期生

園芸学科 平井 重一

同窓会は解消されたが年賀交換の続く幸家族、隣人、知友に慕われる好々爺を想像、微笑ましい生き甲斐を追求し、悔のない生涯でありたい

陶芸学科 桑田 二郎

①ころんだらすぐはねおきろ、骨を惜しむな、名を惜しめ。
②無駄骨折らずにとくをとれ、見る目聞く耳、気をきかせ。
先輩新井先生より教わった言葉。今も私の座右の銘。

陶芸学科 林 行雄

「光陰矢の如し」昭和六十一年大学を卒業して早や十五年が過ぎ同期生で年齢に関わりなく先立たれた方々を想うと侘びしき次第です。入学して得た事は友達が出来た事です。

生活学科 本郷 武子

南天の実がふさふさと美しい紅の玉をゆらいでいます。朝の光を受けてすがすがしく今日も元気で楽しく、若い頃を思い出しながら鶏の餌を入れています。

第八期生

園芸学科 村田小太郎

今年の干支は巳です。蛇です。人生太く短く終るより、蛇の様に細くても長く長く生き永らえる事かと思ひながら、米寿をすませました。

陶芸学科 清水 定意

年賀状のきまり文句のあとに「元氣ですか、孫も大学出たよ、三度目の入院で元氣になったよ、ウォーキング精出している」等々と一筆書き添えることにより自分も元氣に。

生活学科 中井 久恵

心臓循環器系の病氣で薬を飲み続けている私です。体の管理のため太極拳、氣功体操を続けている現在です。加齢に向つて私達寝込まぬよう努力しましょうネ。

生活学科 中村 勝子

初詣

小雪舞う、稲荷の宮に、幸呼ぶ高き鈴音、
むかえる二十一世紀

生活学科 高野 さと

日に月に うつろいゆく身に 合せつゝ、
我が道をゆく 支援のもとに
卒寿すぎだ。他人に迷惑を掛けずに、天寿を全うしたい。

生活学科 松田 敏子

私達は共に学んだ、体験が月一度の出会いに結ばれ、親交を深め、成果展に参加して、明日への活力として居ります。友達は宝です。毎日に感謝して暮して居ります。

文芸学科 吉田 歳未

会報十三号にも書きましたが、学区社会福祉協議会の月一回、老人家庭向けのふれあい弁当の表紙に興味の大津絵を描き続けて十二年目、日々楽しく四十余枚画いて居ます。

第九期生 陶芸学科 藤井 孝一

湖岸を歩いた。比叡比良の峯湖西に水鳥が波間に浮んでいる。自然に恵まれ生活している。毎日が快眠快食快便のおかげで健やかな、幸福を感じた。又歩きだした。

文芸学科 西村 品造

最近の世相を憂います。日本国中けじめの付かぬ人々が増えて来ました。昔からの良俗を捨て去つた報いです。われわれの出来るものから後世に伝え残してゆきたいものだ。

第十期生 園芸学科 福永 菊枝

老大を卒業させて頂いて十年以上過ぎました。教えて頂いた盆栽を手入れして日々皆様を偲んでいます。御体に留意され御健康をお祈り申し上げます。再会を愉しみに。

生活学科 村田 滋子

人に好かれる方法三ツ。一、人には必ず笑顔で接する。
一、愚痴は禁物頓知よく話す。一、話しには軽いユーモアを交える、以下目下特訓中です、エールをお願いします。

生活学科 藤本 キヨ

二〇〇一年、明けまして、おめでとうございます。
急激な時代変化、頭の切替えに戸惑う日々。
高齢者、出合頭の、合言葉、「もうあかんナ」。

文芸学科 高野 節子

毎日朝食を終えると新聞を読むのを楽しみにしています。
又テレビはNHKの大河ドラマなど視て二〇〇〇年を省みて温故知新反省する毎日です。脳の活性化を希みます。

生活学科 中村まさ子

約二十年前から友人と、皇子ヶ丘公園近くの山上不動尊へ参詣、往復約五千歩で、四季の自然変化をめでています。
又近江神宮の奉仕活動に参加。趣味は書、道は遠いです。

文芸学科 村木 繁正

ひな祭り白酒供へ はやされて 眠れぬひなと なりたまふなり かへりみてすぎし昭和は 一人なれど 平成は 老大 に友多くもつ

文芸学科 松野 照子

何げなく始めた、友禅染ですが、今ではその伝統美と匠の技にすっかり魅せられております。絹地向う緊張感と、次作品への意欲を抱かせてくれる、私の新しい世界です。

第十一期生

園芸学科 岡見 恵介

八十の坂を越えた現在、幸に健康で過しており地区の老人クラブや日中友好協会の役員として微力ながら働いている。今後健康に留意して社会のため盡して行きたい。

文芸学科 門馬 三郎

在学中は余り目的意識も無く同窓会への意識も薄かった。支部・本部の役員になったお蔭で、多くの人々と交流が出来たのが嬉しい。この人の輪は有用だ。大事にしたい。

陶芸学科 掛川 昭二

年令を重ねる程に融通の効かない頑固者が多いと言われる。故事に有る「実れば実るほど頭の下がる稲穂かな」を念頭に、健康に注意し社会に貢献出来る様、頑張っている。

文芸学科 伊藤 実三

老大大十周年記念に卒業して早や十年、健康に恵まれ喜寿を迎える事が出来ました。これからは少しでも地域の皆さんのお役に立てれば幸いと、心豊かな老後を願っています。

第十二期生

園芸学科 呼子 幸代

何をするにも気力と健康な体力が大切だと思えます。体の自由も日によつてはままならず、卒業から十年を経た今日、大学で習った盆栽の世話等に明け暮れています。

園芸学科 久保田利一郎

「地域活動」坂本学区労連ふれあい活動として地域青少年の教育のため「高齢者世代間交流事業」を実施すべく企画された「地域の先生」として登録してあります。

園芸学科 島田 岩治

とある宗教書のなかにふと魅せられた古話に

「年々再々花は相いたり 歳々年々人は同じからず」と年毎に体力の衰えは否めないが巡り逢えた新世紀を見守ろう。

文芸学科 中田 秀雄

私は五年を目標に健康管理をすすめています。八十四歳の年男で、あと一年で八十五歳です。九十歳まで後五年です。足腰のおとろえにもかかわらず頑張りたいたいと思います。

文芸学科 伊藤 鉄雄

今日もウォーキングに出かける。歩きながら過ぎし日を振り返る。いろいろと素朴な感慨に浸りながら。人生はまだ終わっていない。老いに逆らわず八十路を食欲に生きよう。

第十三期生

園芸学科 宮崎源太郎

健康でなくては何も叶へられない畑作園芸を通じよく歩く事に依り健康管理に努めている。毎日歩き廻る事が八十六才を数へる原動力となった。多少の膝痛は我慢がまん。

文芸学科 田中 正雄

友禅和紙を折り重ねて迎春干支図絵や花鳥風月、四季行事など華麗な折り紙色紙の誕生。折り紙は変形自在無限に広がる美の世界。同好仲間教え楽しくボランティア活動。

文芸学科 土手下重男

人生八十年時代と云いますが之れに対応するため私は歩くことにより体力をつけるため散歩するよう心掛けて、生活に取り入れて時間帯を考えて毎日かかさず訓練中です。

文芸学科 栗木 英子

私の四人姉兄は九十四才を筆頭に平均年令八十八才。皆元気で俳句、謡曲、油絵、麻雀等の集りに出かける。健康、友、好奇心が老後の幸せの大きな部分を占めている様だ。

文芸学科 増尾 一雄

先日スーパーで駐車位置を確かめず無造作に置いて買物。さて車を何処に止めたか分らず、探しまわりやっと発見、安堵しました。年と共に老いの深さを感じた次第です。

文芸学科 吉田可津子

先ずレイカディア同窓会二十周年おめでとうございます。在学中教わった事が種々役立ち卒業後学区老ク連の女性部長を昨日まで務めました。感謝して居ります。

第十四期生

園芸学科 谷 栄

「八十路春重ねて健康唯合掌」地域老人会の役も終え、今は自分の趣味と家庭野菜作りに没頭している日々です。「継続は力なり」常に感謝報恩の心忘れず頑張りたい。

文芸学科 竹村國三郎

馬齢を重ねて九十年。新世紀を迎えてどうするのか。熟睡と適度の運動、健康診察、多種小食、孫を大事に見護る、浩然の気を養い、老人クラブの仲間と町づくりに頑張る。

園芸学科 中村 正義

二年間、趣味を通じて和気藹々高度な園芸技術が高められた事、広く他地域の人々と素晴らしい人間関係が芽生え続いている事は、わが人生において大きな収穫である。

文芸学科 奥田 進

卒業の翌月から同期と書の同好会を持ち、今も月二回練習を、又大津南老人福祉センターから書の講座を依頼され、現在九年目、これも月二回、他は野菜栽培精進の日々。

園芸学科 辻 重男

好きな盆栽いじりに、同好会の一員として話しに花を咲かせ互いに技術を磨きながら楽しんではいるものの、奥の深さが身にしてみている、今日此の頃です。

文芸学科 原田 頼子

平成四年十三期文芸学科を、卒業しましてから、ずっと習字を、同窓生の方達と、続けています。「親墨会」と言つて、本当の親睦の、集いです。

園芸学科 田中 昌敏

七十八年生きた人生、後何年生きられるかな？与えられた余命何年生きられるかな？明るく楽しく悔いの無い天命を全うしよう。老いて天命を如何にすごさん。

文芸学科 今川 静子

陽は昇る二〇〇一年躍きぬ同窓会の二十周年手をつなぎ希望をもちて広げたり社会活動に生涯学習萬葉のロマンゆたけき近江の地心豊かに生きてゆきたし

園芸学科 林 忠勝

私は在職中病氣勝ちでせめて子どもが大きくなるまで、定年退職までと心配していましたが、退職後は好きなことを自由にした為か今では金さん銀さんまでもと張切つてます。

園芸学科 高木 春雄

気分は若い時と変わらないつもりでも、体の方は黄信号を出していたな、そろそろトップで走っていたギアをセカンド位に落す時期を悟らなければならぬことを痛感した。

園芸学科 田井中宗二

今の関心は健康の事。鍛えるのでなく、どう維持するかだ。酷使してきた古タイヤ同然、応急処置も追いつかない。悩まず「友をつくり生き甲斐を求めて」とわかっているが。

園芸学科 岡田 茂

限りある人生、適当に働きつつ（インキヨ仕事のバイト）いろんな小さな楽しみを（ゴルフ・観光旅行・麻雀など）つなぎつなぎしながら心豊かに達者で暮らしていきたい。

生活学科 音野 愛

最高の年令で支所に証明をもらって入学した。当時は決まった教室もなくあちこちの施設の教室で勉強した。当時にあったのは老人大学のキャンバンであった。

生活学科 寺田 文子

年々老いを感じるようになり、最近坂村真民さんの詩集「念ずれば花ひらく」他の詩集にとりつかれ、くり返し読んで生きる勇氣と力を与えられている今日この頃です。

生活学科 山口 久栄

健康管理を大切に致しております。朝六時三十分のラジオ体操はかかさず実行しています。活学にしたしむ。皆さんと会話し友人を沢山作る。サイクリングを楽しむ。

生活学科 青山しづ子

同期、同科の奥村政江さんと、NHK大津放送局で十二月四日〜八日まで、油絵、ししゅうの二人展をしました。二十世紀末のよき、記念となりました。

生活学科 小久保有彩

記念すべき二十一世紀を晴れやかに迎えられましたことを感謝し嬉しく思います。新しい時代を健康に気をつけて、趣味を生かし楽しく過ごしたいと思っています。

生活学科 奥村 政江

絵を画き始めて十年余、絵を画くことに喜びとささやかな生きがいを見出し、生かされる幸せを感じて居ります。昨年二人展を開かせて頂き、満足感を味わって居ります。

文芸学科 保井 秀成

同窓会も二十年も経つと存在感に翳りが見えてくる。世情も自己中心の我儘気儘が蔓る時代である。会の運営も難しかろうが、叡智を集めて会の存在価値を昂めて貰いたい。

文芸学科 久高巳紀子

清水の秘仏拝せし功德をと香求めきて子等に頒てる
清水の觀世音護る昆沙門天まなこにきりり蠟灯宿す
生活を縮小せしと終の栖定めし古稀の友よりの文

文芸学科 渡辺 久江

新世紀を、元気で迎えられたことを、大変有難いことと、
喜んでおります。これからも、自分なりに、何かのお役に
立つ事が出来たらと、願っております。

第十五期生

園芸学科 谷本 一夫

老人クラブでグラウンドゴルフ同好会を四年前に結成し、
八十数名の会員、月三回程度練習している。健康第一と考
えびわ湖畔の景色を楽しみ一時間程度ウォーキング中。

園芸学科 野々村繁雄

卒業と同時に淡海塾の気功太極拳に入会以来八年、会員の皆
様と共に「教えられたり教えたり」共存の気持で楽しく大
勢の会員と共に老後の健康の為に努力して居ります。

園芸学科 中嶋 源造

何時しか大津支部の最高令となったのでは？人なみに老化
も加わった今日ですが、皆さんにささえられ元気に毎日を
過しています。学校で学んだ日々を楽しく思っています。

園芸学科 井上 弘

今年も多くの成人式会場で、一部の若者らによる傍若無人
な行為が目立った。情けない限りだ。子どもの権利や自由
を過度に強調して来た戦後教育の結果ではなからうか？

園芸学科 小林 郁郎

齢七十三、余生は人生の締括り、毎日を悔いのなきよう過
したい。幸い日常生活に支障のない健康状態なので地域活
動にも参加、趣味も楽しみ乍ら潤いのある生活を続けたい。

生活学科 谷澤 喜子

昨年喜寿を迎えました。大いに老を感じつつも二才の曾孫
の成長を楽しみに、俳句、俳画、編み物のボランティア、
老人会の御世話と小さな菜園に日々を過しております。

生活学科 今井 富美

毎日孫が学校より帰って来ると面倒をみて居ります。時々、
大津で三十人位が、絵手紙、ちぎり絵等を少々習い、家で、
自分流に、アレンジしながら、楽しんでいきます。

文芸学科 木村 喜美

レイカディア大学での二年間、かけがえのない人生を生き
生きと過すための大切さを教えて頂いた貴重な日々でした。
卒業後老人会で経験を生かし働かせて頂きました。

文芸学科 曾根 昭郎

戦争、貧困、環境破壊の続いた悪夢の二十世紀におさらば。先ず私達の足元から美しい琵琶湖と、きれいな空気の滋賀を取り戻そう。すばらしい二十一世紀のために。

文芸学科 田中 良子

レイカディア大学で、知らない事の多かつた人生を、多く学びました。余生を生きがいのある人生とするよう、頑張りたい。ふれ合える 心ごころの 初写真

文芸学科 辻 輝子

今までやったことの無いゲートボールを付き合いで始めましたが、ごく少ないグループなので互いに楽しくやることを目的に、なごやかな雰囲気です。

文芸学科 西田 崇江

謡曲を気楽に楽しんでおられるグループがありましたら、ご一緒させて戴けたら嬉しく存じます。尚又、社寺巡り等

文芸学科 大田 貞三

老大を終えたあと藤本映湖師の主宰される花藻社に入会し早くも五年を経過しました。趣味とはいえ俳句の世界も中幅広く奥深いものです。それ故終生の趣味とした次第。

文芸学科 小泉 信恵

世紀末になり幻住庵で、俳句会が出来る様になりまして、九人の方々がお集りです。長く続けられる様に努力します。御希望の方は五三四一〇二二一 小泉までお申し出下さい。

文芸学科 関 武

健康第一を心掛けての毎日を過しています。新世紀を迎えることも出来てさわやかな心境です。清健の中、あるがままで生きて行きます。

文芸学科 長谷川はつる

長生きも意地の一つか初鏡 鈴木真砂女 九十云才
新世紀の幕あけ、この句に「元氣と自由」をもらいました。
映湖先生を偲び、今年も俳句に親しみたいと思います。

文芸学科 畑野美智子

数字のパズル、縦横に目を配り乍ら空マス埋めてゆく面白さ、完成した時のスカットした気分、終るといつも「これならまだ大丈夫？」と一時喜びして楽しんでいきます。

第十六期生

園芸学科 高山紀美栄

第二の人生は、レイカディア大学園芸科や淡海塾で受講してきた感謝と喜びを今後ボランティア活動に生かしたい。「唇に唄を、万物に愛と感謝を。」モットーとして生きたい。

園芸学科 安曇 一郎

相変わらず、趣味悠遊で余生を楽しんでいます。此の頃は社交ダンスに挑戦中。奥が深いが高年者には適度の運動と精神的な若返りスポーツで続けたいと思っています。

園芸学科 伊達 敏男

重ねゆく歳の流れは速く、はや喜寿も過ぎた。お陰で健康に恵まれ毎日を感謝の気持ちで暮している。今後も趣味の陶芸を生きがいに、土と遊び、楽しい余生をと希っている。

園芸学科 仲辻 義明

老人が老人を介護する現象が生まれている昨今、介護保険がスタートし、その内容には種々問題があるが、時代に即応した制度だと思っている。

園芸学科 高野 明子

夫唱婦随陶芸に親しんでよかつたと思う。共通の話題に明け暮れ如何に芸術作品に近づく事が出来るかお互いに研究し合い、良い作品を鑑賞することでより深い認識を得た。

園芸学科 川縁 和男

「私の座右の銘」一生人に知られず一生きたない処と接し黙々としてその努めを果してゆく、足の裏的な仕事をし、足の裏的な人間になれ。を信念としている。

園芸学科 武藤 一男

興福寺の阿修羅像を彫りたいと思っている。三面の青年の愁いを含んだ表情は難しい。ボケ防止心で始めた腕前では手を出しかねている。どうも夢で終りそうである。

園芸学科 酒井 政和

古稀を過ぎると体調も悪くなってきて、好きなゴルフも出来なくなりましたが、レイ大在学中からサークルで始めた民謡を同期の仲間と卒業後も続けており楽しんでいます。

生活学科 横山 佐智子

平成七年秋卒業と同時に同期文芸学科の短歌会に入会、山村金三郎先生の御指導を仰ぎ生きることの幸せに感謝、自然を見つめ独り暮しに歌の道に生命いとおしく生きぬく。

陶芸学科 橋本 宏一

忙しい忙しいと言いながら卒業後早や五年が過ぎました。本当に有難いことだと趣味とスポーツに感謝しています。これも良い友達の御陰です。今後一層頑張りたいと思う。

生活学科 横田 ふみ子

平成十一年三月夫が病気の為他界し独りになり一時は途方にくれましたが、友人の励ましと趣味の短歌に思いをぶっつけようやく立ち直ることが出来ました感慨の日々です。

文芸学科 川村 梢一

「新世紀に余生幾許授かるやわが老年を悔いなく生きん」
毎月一回の短歌会と毎週二回の卓球練習を心身の豊かさ
と健やかさの糧として、友情の輪を広げるよう心掛けたい。

文芸学科 長田 清子

凍るような冷たいきらきらした爽やかな朝に、茜に沈む夕
映えに、今さらに生きる喜びを思います。二十一世紀老い
ゆく日を精一杯楽しく歩みたいと願っております。

スポレク学科 谷本 正枝

石場の老人クラブ活動に地域の皆さんと交流しながら楽し
く参加しています。またグラウンドゴルフ、カラオケなど
の同好会にも参加し適度の運動をしつつ頑張っています。

スポレク学科 中村 次郎

健康第一、ジョギングができたらマラソンと…。肺活量も
多くなり、手足の先まで血行が快くなり、体に活力が漲っ
てくる。私はマラソンを愛好し続けます。

第十七期生

園芸学科 信国 武司

冬には冬の、春になればまた、花や鳥、景色に誘われ、カ
メラを肩に歩きまわる。山も良い。友人達と共に歩くこと
が元気の源と、健康に感謝しつつ、日々を楽しんでいる。

陶芸学科 佐藤 忠雄

昨年十二月体調を崩して半月余り入院する破目になりました
が、新世紀を迎えて早く体調をとり戻し、残された人世
の後半の日々を充実して過したいと念じております。

文芸学科 吉村敬一郎

七十五歳でレイ大に入学、一挙に二十五人の友を得た。一
人欠けたが他は健全。高齢化万歳。我々の子孫はやがて試
験地獄・就職難を免れる時がくるだろう。少子化万歳。

文芸学科 田中 武司

だれに、教えられることも教えることもなく、独り書と俳
句を楽しんでいる日頃です。ただ淋しいのは広い西の庄町
に同窓が一人もないことです。

文芸学科 澤 與三郎

二十一世紀の幕明けでJR比叡山駅前庭園と開祖の銅像
が完成し、初句会で詠む三句。元朝の光まとひて最澄像。
春箸の子袂大事に手毬唄。初夢を見ざりし如く見し如く。

文芸学科 清水 茂男

昨年NHKの書道展にて篆刻部門で特選の賞を戴いたが今
年も出展し挑戦したいと思っている。日頃は月一回ウオー
キング仲間と一緒に健康のため史蹟探索に歩いている。

スポーツ学科 和泉ちゑの

古い友からの手紙の一節
人生と云う長い旅の土産は、人によっても歳によっても異なる。二十一世紀を迎えても土産を求めて旅を続けよう。

スポーツ学科 井場 雄次

スポーツ学生として、入学し早や数年が経過しました。人生は健康がお互いに第一と思います。健康であればこそ何でも出来ます。ウォーキング一万歩毎日実行中です。

スポーツ学科 高田 亮子

可愛い孫達が元気で暮せる地球環境を守るべく、私だけでも温暖化の原因になる製品は出来るだけ使わないように心がけて暮しています。行政も頑張つて欲しいものです。

第十八期生

陶芸学科 西村 由兼

今も続けているスポーツと云えば月一のゴルフだけそれも何歳までやれるかな？スコアメイクより健康のパロメータ一〇〇歳まで続けられたら夢のエージ・シユートも！大笑

陶芸学科 小阪 晋三

陶芸の魅力に取り付かれて、卒業後も趣味の作陶を続けています。なかなか満足なものが出来ませんが、納得のできる作品を目指して頑張つてみたいと思っています。

生活学科 本郷 満造

定年後の私の人生訓。「健康」と「生きがい」を求め、いいと思つたら猪突猛進。突き当たつたそこにウォーキング、グラウンドゴルフ、内外の旅、地域交流に夫婦の輪があつた。

文芸学科 栗田 綾子

比良山の四季折々の風景彩りに又里の温かい恵みに新たな感激を見出し、和歌に、水墨画に、ボランティアにささやか乍ら自分らしく画いていきたいと頑張つて居ます。

文芸学科 梅田 長次

新しい世紀に生命を繋ぐと言う事は自から時代に添うべく家事にも関心を持ち始めた。老人だから出来ない筈はない少しづつ分担して家族相互の和の中に時間を見つけたい。

文芸学科 鈴木恵美子

「日々に新たななり」、新しい事象との出逢い、新しい人達との出逢い、教えられ、励まされ、支えられて今日があります。この後も力強く生きる意欲を燃やし続けたい。

スポーツ学科 山崎 都

ビワコホールでベートベン第九の演奏会を終えて！
心燃やし歌える第九の第三十八回目無事に歌い納むる。
万雷の拍手ホールをどよもしつ廿世紀閉ずる歓喜のしらべ

スポレク学科 金田喜八郎

地域の福祉の責任者として、手さぐりの推進ですが、今一番地域に望まれている福祉活動は何か、身近なところから積極的にすすめたいと思っております。

園芸学科 田中 三郎

二十一世紀始めの年男。より「健康と体力維持」にと、日々節制に努め「老人は死んでください、国のため」と云われないよう、地域社会とともに前向きに活動してゆきたい。

第十九期生

園芸学科 兼田 省二

レイ大学卒業して二年半、在学中の二年間での色々な人との出会い、又学習の思い出がそれまでの人生とは又一味異なつた思い出となり、余生を生きる上で感謝しています。

陶芸学科 田中 伊蔵

レイ大の陶芸学科に学んだお陰で、やきものが出来る喜びと、多くの友達を得た事は私の人生に最大のプラスである。今後も作陶と人の出合を大切にしたいと念じてます。

園芸学科 青山 正

新聞を「社会の木鐸」と言う。世人に警告を発し教え導く人を木鐸と呼ぶようになった。「天將似夫子為木鐸」と論語は言う。今の世で夫子は將に新聞ではないかと思うが…。

陶芸学科 三谷 直之

人生の幸せは人と人とのふれあいによつて得られるものだ。そのためには、小異を捨て大同につく柔軟性と多くのことに関心を持つ未来志向型の気持を持ち続けたいと思う。

園芸学科 岡本 豊

「健康管理」について三つの実践。第三の人生を健やかで快適に過すためには、一、何んでもおいしくよく食べる。二、他人の話聞き会話をする。三、気軽に外出をする。

陶芸学科 落合 忠士

十八期の西村由兼氏を講師に、雄琴公民館で雄琴陶芸クラブを主宰しています。現在の研究生は十八名で、月一回の頻度です。地域の文化祭にも出展し楽しくやっています。

園芸学科 和田 守立

同期の者で植木手入れのボランティアを決めたが継続するのは難しい。大津支部の活動に参加してみても、六十才代の加入者をもっと役立つ活動を望んでいることを知る。

陶芸学科 斉藤 治子

病魔と闘っている主人に皆さまからの温かい励ましを頂き心強く思い、家族が力を合せやるべきことは精一杯しているつもり、看病出来る幸せを今はただ感謝しています。

陶芸学科 吉田 至

「出会い」あるOB懇親会にて、あなたレイ大ですか、何期生ですか、ああそうですか、この力の重みは、今も生きた年賀状となっています。

生活学科 清水 長夫

卒業して早くも三年が過ぎ、レイ大に通学していた楽しい事折りにふれ思い出している。生活科の集いには出席している。レイ大の学びを生かし、地域社会につくしている。

生活学科 浦谷恵美子

此の間テレビの健康の時間に聞いた言葉、「健康を欠けば、万事に欠く」昨年来、体調をくずしていた私には、痛く身にしみる言葉でした。健康万歳日々感謝の心を持って。

生活学科 中川 能子

レイカディア大学で学び多くのよき友人を得て、今多病息災ながら地域活動の参加と趣味の生活を送れることを感謝しつつ自然環境や人情のおだやかな廿一世紀でありたい。

生活学科 織戸栄三郎

菜根譚に、一字不識、而有詩意者、得詩写真趣。一偈不参、而有禪味者、悟禪教玄機。とあります。私はレイ大の二年間いい勉強ができた事にも自信をもつ事を得た。

生活学科 山元すなを

入学の喜びあらゆる学科を習得し、戦争のあの辛酸をとり戻し残る人生を社会に貢献しなければと思ひ、ぼちぼち増える寡婦や老人友愛訪問し、共に励まし励まされつ頑張っております。

文芸学科 小田 悟男

昨年三月末で自治会役員を解放されました。その時間で何か社会奉仕をしたいと思ひ現在「草津さわやか保健センター」で、毎週機能回復のボランティア活動をしています。

文芸学科 菊岡 廣

頭と足腰の鍛錬の為「俳句」と「氣功体操」を少々やっています。卒業後毎月一回同級生が集つての句会が待遠しい。昨秋古稀を迎えての心境 “新涼や白馬の駆ける草千里”

文芸学科 馬場 花子

レイ大卒業後、引き続き俳句の先生をお迎えして、学校の同窓生の方達と集つて句会を楽しんでおりますが、その反面、作句に苦しむ事もあり一喜一憂の趣味でしょうね。

文芸学科 山崎 久恵

十九期卒業後、第二水曜日に俳句、仲川先生の指示を受ける。地域老人クラブは小学校や幼稚園児と「触れ合い交流」又明治生れの先人達より継ぐ「あすなる会」手芸等。

文芸学科 梅村 ハル

レイカディア大学を卒業させて貰って、その後も皆様と御一緒に何かをさせて戴く事は何よりの幸せです。一つ二つ生き甲斐を持って健康に留意したいと思います。

スポーツ学科 成瀬 莞爾

私達地域のミニアクラブが発足して三年が経過。共助共衆共生の町づくりと趣味の高場と健やかスポーツ、ボランティア活動をめざして行きたいと考えている。

スポーツ学科 大江 四郎

わずか二、三年前に比べ、庭の餌箱にやってくる小鳥の数も種類も減りました。環境汚染に歯止をかけて、小鳥たちと共生できるような自然を守らねばならないと思います。

第二十期生

園芸学科 市橋 正昭

びわ湖を歩いて一周しよう！一日10km、26のコースを五年かけて：と「ふれあいウオーク実行(委)」を組織。湖国記念事業に認定され新年度よりスタート。ご一緒にしませんか。

園芸学科 谷村 信

「農家の高齢化で荒廃している休耕田が見られるが、市民の家庭菜園として活用されることが望まれる。健康づくり、無農薬野菜栽培、生ゴミの堆肥化など行政の支援を望む。

陶芸学科 岡本 允夫

病気なんて縁が無いよ！なんて云っていた私が、生れて始めて入院手術を受けた。いつ、どこで、何が起るか全く解らない身体。自分の健康に常に気を配ってやりましょう。

陶芸学科 田村 重治

なによりも健康第一とお天気の良い日はウォーキングを心掛け、南湖の四季の移ろいを愉しんでいます。びわ湖の自然環境を大切にしたいものです。

陶芸学科 小林 武男

草津の山寺天井窯で、レイ大の大西先生を名誉顧問に迎えレイ大卒業生と一般の方と共に陶芸同好会の一員として、会員相互の親睦と生き甲斐のある楽しい陶芸をしている。

陶芸学科 白井 万藏

卒業の時に有志が相寄り山寺天井窯同好会を発足し、その時の先生方の指導を頂いています。今は後輩や地域の方も入会され、お蔭で穴窯灯油窯電気窯楽窯と揃いました。

生活学科 佐瀬 久子

レイ大同窓会二十周年おめでとうございます。私は手造り紙芝居講座を終了し、現在「たつの子一座」と称した老人ホームや幼稚園で実演、ボランティアとして頑張っています。

文芸学 生活学科 (故) 津田 禎三

私の趣味と云えば、クラシック音楽を鑑賞することと、読書でしょう。経済や福祉分野の本や、癌や遺伝子と云った分子生物学の本が、此頃よく読んでいる分野です。

文芸学科 梅田 慈弘

老いと死の問題は高齢化社会を迎えた今こそ、仏教の智慧に今一度着眼し、私たちの先祖が培った文化の中から学ぶべきです。諸行無常の教えは仏教の示唆に富むものです。

文芸学科 平出 惣子

あこがれのレイ大で多くの人と知り合い学びました。従来
の詩吟の仲間と更に得た友人と共に、大正琴やカラオケに
ボランティア多忙です。「母の齢過ぎて紅ひく古稀の初春」

文芸学科 的場 博良

民生委員を拝命いたし三年になりました。地域の老人問題
で色々勉強しております。昨年末から市主催の介護保険
相談入門講座を受講しており忙しい毎日です。

文芸学科 西村 龍雄

大学にて折角学んだ書道を続けたいと近くにある塾に通っ
ていますが、上達かなわず早や一年が過ぎました。また、
健康維持のためウォーキングにも励んでおります。

文芸学科 狩野 貞義

定年後に何か一つ趣味を持ちたくて、吟詠の魅力を選んだ。
朗詠は腹式呼吸で心身の健康に良い。更に先賢の詩を解読
して诗情に近づく充実感は奥が深く、楽しみも大きい。

スポレク学科 入山 弘子

新しい世紀の始まりに参加出来ることに感謝しこれからの
生き方として、自然体づくりに気功を取り入れ、自分らし
く生きることには修練していきたいと思っています。

スポレク学科 大江 正子

四季折々の自然の移り変りに、楽しみを求めています。
あした咲くらしき膨らみ福寿草
義仲寺のしじまをつなぐ添水かな

スポレク学科 福島 功三

二十世紀最後の十二月に恒例のベートーヴェンの第九交響
曲合唱を情勢を込めて歌い上げることが出来、今まさに気
分爽快で満足している。声の出る限り続けたい。

第二十一期生 園芸学科 池田 益三

昨年九月に卒業し、引き続き十月から社会活動創造講座の
「ウォーキング講座」で活動しています。三月末までは町
内会役員を務めますが、それ以後の活動は考慮中です。

園芸学科 中山富美江

喜べば喜びごとが喜んで、喜びながら喜び連れて喜びに来る。この言葉は姑から教わりました。いつも感謝の気持を忘れずに、過していきたいと思つてます。

園芸学科 横川 晴一

日々を如何に健康で、有意義に楽しく暮らすには、事有る毎に外に出向き、より多くの友を作り知識を吸収する。レイ大を始め各種のOB会や催事には極力参加しています。

陶芸学科 大槻 治

レイ大に引き続き県立老人福祉センターの碧水荘で陶芸を習っている。自宅でも陶芸をと、電気窯を購入したが会社勤めを再開自宅での作陶がほとんど中断、残念。

陶芸学科 八木 作治

健康あつてのこれからの生きがい。毎日の峠歩きを友達と楽しみつづ陶芸学科で学んだ「技」を基に自分なりの作品作りを。「継続は力なり」の格言を実践しようと考えてる。

陶芸学科 八木 寛子

健康であることに感謝し、陶芸を楽しく学んでいます。今後も茶華道を嗜み、それ等を生かしたボランティア活動を続けて行きたく思っています。

生活学科 藤井 早苗

頭腦しなやかに、心豊かに、体のびやかに生きてゆきたいものです。琵琶湖の水がいつまでも清らかに保っている生活をしています。一人の小さな力をつづけます。

生活学科 堀江 秀雄

レイ大卒業後同振興財団募集の手作り紙芝居講座に応募、目下紙芝居作りに専念しています。二月から幼児と高齢者対象に紙芝居実演ボランティアの第一歩をふみ出します。

生活学科 井上 春雄

老いて益々盛ん。向学の精神に燃えて、生涯学習の道を求めレイカディア大学に入ったのも二年。事更長く思ったのも束の間、早やOB会の一員となる。毎日に余裕が無い。

生活学科 梅景 宏

二十一世紀は心と知性の輝く時代です。

生活学科 谷 玲子

レイカディア大学での二年間は、有意義な日々になりました。知らなかった経験話が、一人一人から聴けて私の視野を広げていただきました。このつながりを大切にします。

生活学科 井上 榮

青少年育成学区民会議の事務局と、少年センター補導員代表幹事、身体障害者施設の理事を勤めています。詩吟、ゲートボール、ウォーキングなど定例的に参加しています。

生活学科 吉本 真弓

趣味を兼ねてボランティア活動をグループの人達と共に楽しみながら活動しております。牛乳パックを使って造る作品は種類も二十種を越えました。日々精心の心掛けで…

スポレク学科 岡崎 一郎

自分の内なる声を聞きながら、ご縁を大事にして、共に学び続けたい。好きなことを活用し、地域の皆様の健康福祉づくりのお手伝いをと願っています。

陶芸学科 遠山 武夫

レイカディア大学卒業後、先輩達で運営していた陶芸の同好会と併せて水口の碧水荘に加入させて戴き、土いじりを通じて仲間づくりに励んでいる昨今です。



湖南支部

第一期生

陶芸学科 小松 正

明治の生れ九十一才の素老人陶酔の文字どおり未だ陶芸塾に「現在は松下陶芸塾」に杖もつかずに図書館と美術館、これが近況「柚子香る余生楽しく箸とれば」

第四期生

陶芸学科 小堀 定一

随分と昔に卒業しました。今、現在も仲間たちと数える程ではありますが、元気に陶芸を楽しんでいます。同窓会の発展を願います。

第七期生

生活学科 林 愛子

卒業して早や十数年沢山のお友達が出来、楽しい日々を元気ですごしております。今後共同窓会が益々発展していきます様願っております。

文芸学科 大原なつ子

主人が逝って丸二年。私もめまいと狭心症になやまされ、日曜日に息子の車で教会のミサに参加させていただくだけの生活、暖かい日は約三十分の堤防歩きが楽しみの一つ。

文芸学科 森野 三郎

囲碁詩吟時に歛持ち雨に読む心耕す老いの日は充つ。世紀越えた今「生」の読み方用い方を考えて調べてみたら三十二通り、「死」は只一つ。茜の空を仰ぐ、もう年ですね。

第九期生

生活学科 寺田ミツ代

八十路の二十一世紀も無事すぎ二人そろって老人会の世話役を十年余り務めております。これからも健康に気をつけて二人が元気ですごしたいと思えます。

生活学科 東辻 敏子

新世紀古きを捨ててさわやかに今年こそはと前進誓う。元旦や孫より年玉涙してうれしく抱きしめこの幸を。

第十期生

園芸学科 村上 豊

「新世紀への願い」大正・昭和・平成の三時代を生き、戦乱と平和、貧困と繁栄を体験した我々は、豊かで平穏な社会を是非子孫に伝えたい。未来に幸多かれと切に願う。

第十一期生

園芸学科 片岡榮三郎

レイカディア大学卒業後もお陰様で元氣、日々を大切に暮らすとともに、学区社協及び民生委員活動に務め今後は私としてのゆとりの時間をつくりたいと考えております。

陶芸学科 中川 圭子

民生委員として、介護問題や障害のある方達のボランティアとして日々地域福祉の為に走り廻っております。一人では微力ですが仲間と支え合い、これからも頑張ります。

陶芸学科 中島美也子

二十世紀を九十年無事に生きて二十一世紀を迎えることが出来ました。これからは、毎日を大切に命終る日まで元気に陶芸を楽しみたいと思っております。

生活学科 板村 照子

公民館で私達の趣味のちぎり絵サークルをたのしくやっています。人々の輪を大切にする事によつてすばらしい作品につながっていくものであることを痛感させられました。

生活学科 佃 美津江

卒業以来ボケない様にと同級生三人で和紙チギリ工を習い今では少ない生徒さんですが公民館で三人力を合せて教えています。三人にとつて集いの場としても楽しんでいます。

生活学科 古川千鶴子

公民館で和紙ちぎり絵をしています。又健康のためグラウンドゴルフや小旅行を楽しんでいます。よきお友達との交流を大切に、充実した生活を心がけ、がんばるつもりです。

第十二期生

園芸学科 川副順一郎

金勝川のほとりを歩いていると、川の中に白鷺が立っている。老境の一步手前かと思いがちになる私。尻を叩いて趣味活動に手を出し、喝を入れていくこの頃です。

園芸学科 林 滋

私達十二期園芸学科は担当の今はなき島岡先生に本来の園芸と共に古典万葉文学と植物の兼ね合いをよく判る様にお教えて戴いた事が最大の先生からの贈物でありました。

園芸学科 丸山 憲吾

お亡くなりになられた島岡先生に教えて頂き、家の周りは数百鉢の鉢植えで一杯です。四年ほど前から老人クラブの会報作りを始め、皆さんに喜んでもらっています。

園芸学科 亀田 貢

卒業して、はや十数年、同窓の方々と、陶作を通し情報、作品の交換等、友情を深めております。地域では町施設で、陶芸クラブを創り、女性に囲まれ年を忘れ奮闘中。

園芸学科 徳弘 千鶴

現在私の一番の関心というか心の底からの叫びは健康です。主人が脑梗塞で倒れて九年になります。元気な時代の年令体力に應じた運動、食事の注意が大切です。

生活学科 澤井 民枝

凍りつく冬の星を数えつつ
曾孫いだきて童うた歌う

文芸学科 伊藤 重一

八十路を過ぎたが老いぼれてはおられない。混迷腐敗した世相を老人パワーで吹き飛ばそう

第十三期生

園芸学科 瀬川 辰次

陶芸作品を観ると、もっと続けられたらと思うものの土をこねる力が萎えてはもうどう仕様もなく、気晴らしに晴耕雨読の真似ごとを楽しんでいます。

園芸学科 宮本三代松

陶芸を習って良かったと泌々思う。自作の陶器に装飾を施す事の楽しみ取り分け心を込めた絵付けの作品など窯から揚げる瞬間は他人には判らない味わいです。近況お知せ迄

文芸学科 南条 貞雄

新世紀に向かい事ごと変わりゆく おくれてならじとパソコン始め。

宇宙より見えしか五山の送り火は新たな世紀の平和を願いて

文芸学科 堀池 栄一

「人生は出逢ひ」レイ大に入学して七十歳を超えて良き友と逢い趣味も増え余生を楽しく生きて行こう。新世紀の年を迎え

第十五期生

陶芸学科 遠藤 岩一

二十一世紀は、人生の再出発の年にしようと思っている。生き甲斐のある悔いのない人生を模索しながら、一生懸命に生きることを目標にすごしたいと思っている。

第十四期生

陶芸学科 木村 武雄

吾人生喜寿を迎え「良き友を多く持つことは人生を豊かに過せる」「金銀ばかりが宝ではない健康こそが第一の宝である」「十人の子を養う親一人の親を養えない子もいる」

陶芸学科 鷹野 弘

喜寿を目前に私の願いは、健康、趣味、ボランティアをバランスよく、吉沢久子先生の「老いじたく考」を参考に自らの健康を第一にそして日々これ好日を祈るのみです。

陶芸学科 澤井 正雄

八十四才の現在、趣味の生活をしております。園芸、音楽、英会話、読書等です。特にヴァイオリンは今でも先生のところでレッスンを受け、文芸春秋等の読書も続けています。

文芸学科 河邊 謙

人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる。人は自信と共に若く恐怖と共に老ゆる。希望ある限り若く失望と共に老ゆる。道端の祠に見た私の心に残った言葉です。

文芸学科 久保 治夫

地域活動を綴ります。縁あり民生委員を十一年間勤務、その間に立木神社の副会長を十九年にわたり奉仕しました。退任後、老人クラブの会長を担任、現在に至っております。

第十六期生

園芸学科 加藤 昭三

町内の神社公園周辺と緑地帯等の樹木剪定消毒清掃作業奉仕に、これも園芸学科で習得した技術を生かして友愛活動と健康管理をしながら元気で頑張っております。

スポレク学科 大久保多鶴代

知人に出会うとお元気で結構ですネと、声をかけられ内心得々の気が走り何と世の人に奉仕出来ることもあるとうと、決意新たな六月突然緊急入院し、元氣回復に努力中です。

園芸学科 三矢 豊造

狭心症のため、医師からは、早朝歩き、長歩き、早や歩きすべて止められていましたが、レイ大OBの仲間と、一ヶ月一回の歩こう会で今では大分元氣になりました。

陶芸学科 伊吹 精郎

各種のボランティア、地域活動を通じて多くの方々とお会い、感動し、協働して幅広く人生を過ごさせて頂いております。最近ではマジックで皆様と一緒に楽しんでおります。

スポレク学科 竹村 秀雄

レイ大で意欲的で前向きな仲間と接し、今なお老いることなく人々とのふれあいを大切に、働くかたわら地域のボランティアや、社交ダンスに忙しい日々を過ごしている。

生活学科 朝倉三千子

十数年来、ゲートボールを続け、八十才の今、健脚です。でも、転ばぬ様、家の庭でも靴を履く様にしています。又詩吟、カラオケ教室と出掛けて声を出しています。

スポレク学科 田村 平次

八年程前から習い始めたゲートボールで、今では各地の競技に参加させて頂くことを喜び、地区での練習と合せ楽しみ乍ら健康管理となり、地域活動にも役立っていると思う。

生活学科 杉村 嘉子

夫の三回忌を了えた昨夏、故人が念願していた北欧の旅へ遺影と共に行って来ました。私自身の歓びや愉しみが何よりの供養と考え、日々を過ごしてまいりたいと思います。

スポレク学科 吉田政与司

今年喜寿を迎えました。まだまだ先のことと思っていたが、振り返ればどうも寂しい人生だったなと反省しています。そうだ余生を頑張ろうと老いの血潮を空転させております。

文芸学科 長崎 正夫

妻を亡くし二年十ヶ月が過ぎました。悲しみの極限を味わいましたが、近頃死後の生命を学び自分の末期を見ずえるようになりました。謡曲を謡い短歌を作り暮しています。

第十七期生

園芸学科 各務 榮一

二〇〇一年、ますます「大正も遠くなりけり」という感じ。日に日に脳の細胞が退化（物忘れ）していくのを気にしながら、寝たきりにならないよう頑張っています。

スポレク学科 小倉 商次

辛い時もあった、悲しい事も経験した。しかし今の日本は豊かに成った、有り難い、誰のお蔭やら、だが人間の、欲望は果てしない、「夢を」どこまで追い求めるのか。

園芸学科 木村 正夫

透析歴十余年の妻が、昨年突然膝関節の疾病に罹り歩行困難が危惧されました。急遽バリアフリーの家を新築しました。幸にも現在は車椅子の使用までには至っておりません。

園芸学科 西川 次雄

古稀を過ぎて五年、お蔭様で元気です。余生を楽しく、生きがいのため民生児童委員として地域福祉と、自治会活動等に頑張っております。この幸せ何時まで続くことか? :

園芸学科 花田 賢司

船乗り生活を終え海のない滋賀での友のなさを憂慮しつつ引越したが、多くのご親切なレイカ大学学生、同窓会員にご交誼を戴き快適に消光しその友情に感謝しています。

陶芸学科 梅田 三郎

大学で習った陶芸の修練の予定と、非常勤で受持つ公務の指定日とで、手帳の記事は一杯です。日の経過が早いのが難点ですが、やりがいを感じ、健康保持ができて幸せです。

溪声山色 陶三昧

陶芸学科 中野 豊彦

生活学科 吉倉 定一

二〇〇〇年十二月で草津市生涯学習大学の二一〇単位を習得しました。私一人だったようです。まだまだレイカディア讃歌の通り学び、遊び、生きんと張りきっています。

文芸学科 井野定四郎

ボランティア活動を始めて早や十年が過ぎました。各戸のアルミ缶を毎月十日前後に回収し、年間約三万円の収益。これで会館のパイプ椅子や車椅子を施設に贈っています。

文芸学科 宇野 愛子

最近つれづれ思うことは、出合いによって人は成長し、若さを保持できるということです。在学当時の仲間と共に俳句を通して、語らい、励ましあいながら楽しんでいきます。

文芸学科 奥村常治郎

現役当時「明日会社へ行くのが楽しい」と思えるほど、幸せなことではないと言ってきた。その延長線で「明日が来るのが楽しい」と思えるような日々になすべく努めています。

生活学科 守谷アサエ

高齢化が社会問題として取り上げられる今、充実した老後の生活を送るべく、介護資格を取得し一步前に踏み出しました。

文芸学科 上藪千代子

六回目の巳年を迎え恰も千年に一度の紀に、精神の貴族を基本としての教えを心に、健康を感謝しつつ微力乍ら地域の方と仲良く助け合うことが何よりの幸せと思います。

文芸学科 児玉 薫

先人の伝えし「一期一会」の言葉がある。まさに私には、レイカディア大学それにつらなる友垣との出会い、支えられ、励まされ、高齢者として生きる今、大切な存在である。

スポーツ学科 寺嶋 眞次

フォークダンスを月二回老上公民館で地域の人達と踊っています。初心者ばかりですが、皆元気で賑やかで、冬でも汗ばむ程度の運動量は、健康体力維持に最適です。

文芸学科 枡本 光雄

全て生命あるものは智恵を絞って一生懸命生きています。人間は英智と勝手な慾とで明日を願う。これが楽しいのかも。千歳毎大跨ぎして今朝の春へ光雄

スポーツ学科 中村 良三

大学実習二年、今改めて振り返り、主旨が地域への貢献、社会への還元。地域行政一町内会を頂り学びを生かしている。今大人も子供も心の時代、住み良い街作りに日夜奮闘。

スポーツ学科 大谷 美代

私達夫婦は、金婚の春を迎えました。家族は長男夫婦に孫二人が賑やかに暮らしています。私達二人とも元氣ですが、年と共に身体の衰えを実感するようになりました。

第十八期生

園芸学科 小林 達男

レイ大で得られた諸項の内最高の物は友人の輪を増やす事を主眼とした生涯学習に励む事でした。淡海塾水墨画書道等一向に上達しませんが続して実践しております。

スポーツ学科 井上恵美子

グラウンドゴルフに参加させて頂き久しぶりに太陽の光の下で汗を流し、楽しませていただきました。皆様お元氣で強いボールを打たれさすがと感心いたしました。

園芸学科 佐野 岩男

家族六人の食糧を預る農林担当として僅かの水田、菜園の世話に追われつつ、四季折々の植物の芽吹き成長と自然の力強さを教えられ乍ら実る秋を楽しみに暮しております。

スポーツ学科 小宮山武治

静寂。澄み切った青空。一月の低山は、日溜りでも冷気は頬を刺すばかり。山頂、人無し。山登りの醍醐味は、ソロ（一人）にある。二十一世紀も、この楽しみを続けたい。

園芸学科 長岡 幸雄

生涯現役、初心忘れじと元の会社に嘱託として勤めていますが無趣味、無芸の私には最良の健康維持法です。レイ大で学んだ庭木の剪定等グループでボラ活動に励んでいます。

陶芸学科 江龍 卓

余りにも国民を馬鹿にした政治と、懲りもせず一票を投じている人々にあきれ果てています。ストレス解消に野菜づくりと下手な焼きものづくりに頑張っています。

陶芸学科 恩田 進作

一言、心の時代に形のないもの、理解出来ないものに目に見えないものに本当の価値があるものと云うことを感じます。

陶芸学科 川村幸次郎

「新世紀」世界的にも類を見ない、超高齢社会がやって来る。またとないこのチャンスボケずに元気でボランティア。高齢者パワーで世界をアツト驚かそう。

生活学科 加藤 吉男

先の戦争を海軍で五年間。多くの戦友が戦死する中で奇跡的に生きのび、傘寿を過ぎた、独居生活で皆さんに支えられて居る事に感謝し、自分の事は自分でする自立でいく。

生活学科 柴原 昭平

自分より高齢の方々の日常生活を参考にして、体力の許す限り運動「主に徒歩」を継続したく心がけている。四季の変化をながめながらマイペースでの徒歩である。

文芸学科 小林 栄子

自然環境破壊によって散った動植物は数えきれず、高度成長の副産物である公害は、地域温暖化の要因の一つともなった。淡海塾自然観察会の輪を先輩と共に広げています。

文芸学科 服部 光枝

卒業後は地域の老人会に入会し月三回の集会を楽しみにしております。又卒業以来同じメンバーで山村先生の御指導により今なお「夕照の会」と云って歌会をつづけています。

スポレク学科 奥村 忠朗

我々高齢者は加齢に伴って老化が進み、自主生活が難しくなり、不安感を感じる様になる。健康に十分心掛けて他人に迷惑を掛けないよう努めるべきである。

スポレク学科 中野 行雄

人との出逢いを大切に思い、毎日が勉強のつもりで、もの見方を換えて考える様になっている。昔が良かったと云うことを避ける様になっている。発想を変える努力をしている。

スポレク学科 西田太治郎

早四年光陰矢の如し、幸い健康に恵まれ好奇心と夢を持ち自然と人を愛し美を求め、すべての生命を大切に、一度限りの人生を密度と感動のある毎日にと、心がけています。

第十九期生

園芸学科 伊東 住男

熟年人生をより楽しく、より生き甲斐を感じる日々を motto に地域の一員として頑張っています。過去に拘わらず、前向きのプラス思考で生きたいものです。

陶芸学科 佐藤 浩

新世紀。笑いのある朗らかな年に、笑いには胃腸運動を促進させるような力学的作用のほかに、自律神経の緊張緩和作用がある。笑い朗らかな年に、笑い朗らかな年に。

園芸学科 梅景 郁雄

二〇〇〇年は三分の二、二〇〇一年は三分の一の人生を送る事になったが変化の早い社会の老人として対応したいと思いつつ結局今迄と同じパターンで過しています。

生活学科 伊藤考治郎

IT新世紀を迎え、我々世代も利用することになるが、その際、機器の扱い等ハードの習得は勿論必要であるが、何よりも大切なのは、生活を豊かにするソフトの技である。

園芸学科 遠藤 勇

私の生き甲斐は身体を動かす事です。これが健康の秘訣です。地域や南禅寺慈化院のボランティア活動、茶道教室等で頑張つて居ます。いつも怪我をしない様注意して居ます。

生活学科 北川 静子

レイカディア大学で得た知識を生かし民生委員として地域活動にひとり暮し、ねたきり老人等の訪問、教えられたり感謝されたり、自分の体力の続く限り頑張つていきます。

園芸学科 西浦 富雄

「健康和親」自作だが、「人生は常に健康にして快樂を生み、人は和を以て親しく」人との出逢いを大切にを motto としている。又努めて人の喜びに精進したい。

文芸学科 木下 忠夫

知力・体力・気力・溢るる、人生最終章の仕上げに向け、歩・読・俳・書・車・寝・湯・旅・ボランティア・適飲と、リズムを保ち頑張っている昨今であります。

陶芸学科 遠藤 穆彦

私は二五才の命と覚悟していたが理科系徴兵延期のお蔭で喜寿と金婚を迎えたが、戦死した多くの友の顔が臉に浮かび彼等の分まで幸せで動けるだけ動きたいと思っっている。

文芸学科 木村總之介

「長楽極無」の日々を感謝しています。新世紀の幕開けと共に晴れて古稀スタート台に立ちました。レイカディア卒を誇りにして、豊かな人生を仕上げたいと思っっています。

文芸学科 行実 久

レイ大と同じ建物内にある「介護実習・普及センター」で受講中です。実習では進んでモデルになります。若い女性が優しく抱き起こしてくれると云う役得？も時々あります。

スポレク学科 田中千代子

皆様お元気ですか！卒業して早二年四ヶ月すぎました。昨年六月「右股関節人工骨頭置換」と診断され、手術をしてもらいました。健康に感謝して暮しているこの頃です。

スポレク学科 原田 清一

地域の方数人と時々レク・ダンスのレッスンをしています。

第二十期生

園芸学科 桑原 明

レイカディア大学の二年間を一緒に過ごした園芸科の仲間との交流、健康のための運動等毎日を楽しく過ごさせてもらっています。

園芸学科 田中 善一

「滋賀県立・近江富士花縁公園」のボランティア活動は、昨年未で三十一回を迎えることができた。気の合った仲間と、楽しく、気持ちの良い汗を流し続けて行きたい。

園芸学科 西川 義輝

園芸学科を卒業し、その特技を生かして、現在、二つのグループに加入し、園芸ボランティアを実施しています。独居老人宅あるいは福祉施設について週一回巡回しています。

園芸学科 箱田三千子

老化は、駆け足で、やってくる。「老化は足腰から」夫と二人で山野歩き、目に緑、澄んだ空気！夕食での語らい、たのしく。体一杯に、幸せを感じて。

園芸学科 古田 隆夫

子ども達が独立してからは、時々訪ねてくれる孫達四人の成長が何よりの楽しみです。孫達に美しい自然環境や明日に希望がもてる日本を残してやりたいと切に願っています。

園芸学科 吉田 昭三

二年前に妻に先立たれ不自由な生活に悩んでいます。年令と共に病気になる手遅れになる事も多くなります。夫婦のきずなを大切に健康第一に長生きしましょう。

陶芸学科 根来 敏郎

山寺天井窯で同期や後輩の皆さんと、元気に作陶や焼成準備作業に頑張っています。二十一世紀はITの時代、高齢者も乗遅れずに、取敢ず「パソコン」に立向かおう。

陶芸学科 二見 章

年齢と共に時間の過ぎ方も変わり、肉体・脳の方も衰えてくる為今はレイ大で習得した陶芸を生かし、自分なりに考え、作陶に又は水泳に、毎日楽しい日々を過ごしています。

陶芸学科 二見 操

油絵、切り絵、陶芸、佛像彫刻、洋裁と、趣味の充実した日を過ごしています。

陶芸学科 三上 善弘

『八十四 若いですなと 九十五』『八十五 八十七と 不倫して』『浮気する 夫妬く妻 八十二』『バイアグラ 八十妻も 若返り』『百歳が 食べ比べする 長寿国』

生活学科 井上 芳子

レイ大の二年間は久しぶりに学生気分になり多くの良き友と学び楽しい人生の一駒でした。今は四男と二人母親に帰りて悩み多い毎日です。『靴揃え勤め無事を祈る母』

生活学科 白木 正子

レイ大卒業と同時に「手作り紙芝居」講座を受講し、老人会等に出前公演させていただいています。これから次作に向け製作に頑張りたいと思っています。

生活学科 高谷 一枝

卒業間もなく、病気一つなかった夫が心筋梗塞で帰らぬ人となった。一周忌を終え、やっと立ち直る事が出来、自分の趣味とボランティアを兼ね民謡に励んでいる昨今です。

生活学科 利藤 方貞

卒業して二年過ぎお迎えのスピードか体力の衰えを感じるこの頃です。カーボランティアで地域の世話をしたり、公民館のサークル活動で退屈せずに過して居ります。

文芸学科 池内才八郎

「繊維辞典」を本年夏出版目標に日本繊維技術士センターの七十人の執筆編集者で進めており、事務局として多忙に追われています。しかし、目下の生き甲斐も感じています。

文芸学科 植村 忠雄

私はシルバ人材センターで半月は働き、其の他は老人クラブ会長、学区副会長、社協ボランティアと活動して居ります。新世紀は人生の有終の美をと頑張る覚悟で居ります。

文芸学科 國松禎瑠子

卒業後ウォーキング講座をやつと修了。その後の悠歩クラブは欠席勝ちをしています。春からは頑張ろうと思っています。俳句とリズム体操は休まず通っています。

スポレク学科 原 邦夫

二十一世紀の年頭に当り、奇しくも大寶神社の千三百年祭と、祖先を祀る大寶山佛眼寺再建の真最中、明春落慶法要まで暫らくお暇を頂き、皆様のご健康ご活躍を祈ります。

スポレク学科 八木 正勝

「人生は、重き荷を背負い長き道を歩むが如し」私の歩く道は、レイ大を卒業したことで、楽しく、潤いのある日々です。心豊かに、世間に役立つ人生を送りたいと思う。

第二十一期生

園芸学科 折元 幸孝

元旦の新聞の川柳欄に「すごいなあ昨日がすでに前世紀」とありました。世紀も秒速の時代だと実感し、今世紀少子、高齢化が一段と進み、我々の生活様式も変化するだろう。

園芸学科 西田 信一

レイ大二十一期生OBとして、友愛の輪を拡げ、リーダーとしての行動力を発揮し、新たな二十一世紀を、健康で、しあわせな生活で、ボランティア活動に頑張ります。

園芸学科 笠井 小萩

昨年老人クラブ女性会長の重責を預かり、二年間学んだ成果をふまえ、町老ク連女性リーダーとして、県内各地の研修会に参加。ボランティア、町づくり活躍しています。

陶芸学科 林 保

当地域には学校で習った陶芸に関する活動の場がありません。出来れば陶芸学科の卒業生を中心としての場造りと、其れに伴って地域社会への参入をしたいと考えて居ます。

陶芸学科 林 正吾

毎日が日曜日という生活から抜け出すことが出来、新しい生涯の友達も多数増え陶芸、菜園、ボランティア等忙しく過しています。草津に移り住んでよかったと思う毎日です。

陶芸学科 三好 信也

レイ大を卒業して四ヶ月、専攻した陶芸を趣味として作陶活動に励んでいます。

生活学科 勝西泰三朗

レイ大で、今まで考えも及ばなかった内容について、体験、学習の貴重な時間を持った。ここで獲得した知識と技術を地域活動において、潤滑剤にできればと思っています。

生活学科 澤井 秀雄

高齢者のための社会活動創造講座「手作り紙芝居G」に参加させて頂き、作る苦労もありましたが「手作り紙芝居げんごろう」としてボランティア活動をしたいと思えます。

生活学科 西川 博三

レイ大卒業後は地域の方々とふれあえる学習の場である公民館活動の篆刻講座に参加知識技能を習得自己実現に努め地域文化の向上を目指し金篆会を発足し活動を続けています。

生活学科 横江 幸江

レイ大卒業後五ヶ月が過ぎ、サンデー毎日を、今迄に出来なかった趣味に没頭しております。出来上がった作品は湖南支部の作品展に出展しようかなと楽しみにしております。

文芸学科 大塩 博哉

現在高齢者のための社会活動創造講座「ウォーキング」を受講中。健康維持のためでなく、自然観察、各所旧跡巡り、地域活動にも生かせたいと、頑張っています。

文芸学科 太田 恭次

「なお翔ぶは 凍てぬため 愛告げんため」(折笠美秋)新年に思うこと、◎今こそ二十代の感受性を。◎常に二十先に夢の旗を。◎いつも二十才の健康を。いざ今日も翔ばん。

文芸学科 橋本 嘉子

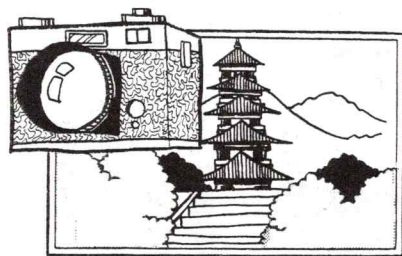
会うは別れの始めとか。淋しさ懐かしさを残して卒業して早や半年。レイ大での楽しかった日々。私の生涯の大切な宝です。何時迄も元気で頑張りましょう。OBバンザイ

スポレク学科 池之 美利

「一日一善」：心豊かにをモットーに健康に感謝しながら地域活動に専念中。願わくば：無病息災：健康第一。仲間とスポレクを通じて地域交流の和と輪を広げ貢献致し度。

スポレク学科 矢野 俊治

昨秋、レイカディア大学スポレク学科をおかげ様で皆出席で卒業し、つづいてレイカディアの社会活動遊悠セミナーウォーキング講座を只今皆出席で受講中。



守山・野洲支部

第二期生

園芸学科 高田七百寿

当時園芸科の教室は希望ヶ丘森林センターで今は亡き島岡先生でした。現在この附近は花緑公園として整備され谷間の石楠花は私らの手植で永久に咲く事を祈っています。

第三期生

園芸学科 中川 保二

私は八十五歳、四世代に支えられる我身の幸せを謝し、今日一日を大切に生き抜こうと明日を迎えられるを祈って。
人生 川の流れの様に 裸で生れ 裸で逝く

第五期生

園芸学科 井上 一男

老卒後毎月気の合った方と、好期は寺参り寒期は会食して旧交を維持して居ります。話題は今亡き同期生を偲んで居ります。賢愚美醜貧富に関係ない、いい交りです。

第六期生

園芸学科 小林 榮

ある本に元気で働いて最期は長患いをしないPPPK（ピンピニコロリ）で高齢社会のモデルケースと言われているように達者で生活できて、健やかな天寿を全うしたい。

陶芸学科 西田 三郎

無事運転免許更新八十八歳迄自動車に乗れることになりました。パソコンも習って毎日を過しています。

第七期生

園芸学科 辻川 信一

台風十三号で野洲川大洪水に襲われ住民総動員必死の防除も空しく決壊三人の尊い犠牲はふる里の安全に掛けた真心と悟る「野洲川の生れ代った姿見せ遺跡を語り誠を繋ぐ」

第八期生

陶芸学科 安部 重雄

年改まり二つの世紀を体験できる喜びを感じています。老齢の身には解し難いことも多いが、生命のある限り日々心を燃し続け度い。

第九期生

園芸学科 田中 一男

二十期生末は腹の辰年でした。新世紀に入り大いに結構とかく将来をたのしみ、安心の已える年にしてほしい「密柑食い憩う日向のひとつときは心ゆったりなごやかなりき」

陶芸学科 中村 勝一

インターネット対応携帯電話でメール送信をしている姿！
「話し言葉は、相手と対面した時真意も伝わる」「眼は口ほどに物を言う」こんな勝手な想いもする年輪を重ねた。

生活学科 山本 てる

八十路の坂も中程になり地域活動も出来なく健康第一と思
い大正琴詩吟ダンスの三つをやっています。友達も出来発表
会パーティー等参加し若い方の仲間になり楽しい毎日です。

第十期生

園芸学科 杵翁 竹林 治平

小謠 重ね通い馴れたる老の坂、夢六十の花もすぎ、古稀
喜寿とも恙なく、心和らぐ傘米寿、二千一年杵寿を迎ふ天
の御守護ぞ有難き、尚心して白寿めざし駒をすすめん

生活学科 國領 敏子

「いかなる労働も恥じないで」に押される思いで、公園の
周りの缶をやつと拾うことができた。「探しても仕事をし
なさい」今日生きて、数知れない励ましに会う。多謝

第十一期生

園芸学科 團野 清一

「年寄は死んで下さい国のため」が句会で入選した。高齢
者は戦中、命令で死んだが未だ足りぬ、時がきたら川の向
うの閻魔大王と大論争し、駄目ならコロリと意に添おう。

園芸学科 吉田 寿一

朝起きて今日は何をしようかなと思ひ煩うことのない日々
です。畑仕事とゲートボールに明け暮れる毎日ですが出不
精と筆不精になつて気儘な老人生活を送っています。

生活学科 小林 いち

笑顔と感謝を忘れず。福沢諭吉の心訓「世の中で一番尊い
ことは、人のために奉仕し決して恩にきせない事」ゲート
ボールのなかでその実践につとめている毎日です。

生活学科 野村 昌子

母の役も終わる。古い二人の単調な生活が続いた、突然の
悪夢が訪れ主人が胃癌だった。胃を切除手術で自信を失う
主人を励まし息子達家族の協力の介護で元に戻りました。

スポーツ学科 辻川忠治郎

米寿の祝いに孫達から靴を貰った。朝六時から小一時間
五籽を歩く。午後風の無い日は自転車で十籽余りを。毎日
の日課。お蔭様で元気でおります。

第十二期生

陶芸学科 堀 八重

日々健康で一日一日の生活の中にもっとも自分らしい姿の
中にささやかな幸福を感じてゆきたい、決して後向きの一
念にならず若々しくリフレッシュしてゆきたいものです。

陶芸学科 田村 進

身近い陶芸にチャレンジしたものの、その底深さには今更
ながら驚いています。私の僅かな経験では未だ幼稚園児、
命と年の動く限り土との出会いに感謝して行きます。

文芸学科 高田 久枝

第十六期生

陶芸学科 中村 健一

私は毎日が楽しみ。午前は家の仕事午後はゲートを楽しんで居り、今年滋賀県の予選で優勝し、大阪で開催のねんりんピックに出場出来た事は私の一生の宝となりました。

草津の山寺天井窯や碧水荘で陶芸をさせて貰い、地域でもいろいろの人と交流して余生を楽しみ乍ら、呆けの進行を少しでも遅らせ度いと考えています。どうかよろしく。

第十三期生

陶芸学科 辻本 昇

本格的にポランテアを始めて「陶芸の森五年目」「スボレック会フリーピンポン四年目」会員五十名で月二回の例会で楽しい交流、そして一泊二日の親睦旅行尚楽しい。

陶芸学科 田村 重信

レイ大を卒業して五年、先輩や同期の方々に支えられ今も陶芸を続けております。一向に上達しません楽しく在学中の想出にひたりながら、皆様のお陰と感謝しています。

第十五期生

陶芸学科 松居 昭

志高気清※自己チュー主義で：（我が儘一杯楽しい老後）
※慌てる乞食は……………（今日出来る事でも明日に残そう）
※寝る程楽が……………（朝も昼も夕も居眠り、極楽、極楽）

生活学科 山元 和子

（一）リストラに息子は二人の首を切ると言う責任は取る
とため息つきて（二）とれとれの野菜たつぷりのうどんす
き娘のもてなしに涙催す

生活学科 辻本 吉野

文芸学科 井戸 一恵

わずか二年間のご縁でしたが卒業後も毎年春と秋二回クラ
ス会に出席し楽しい一日を過ごしています。同窓会の行事
にも元気で一回でも多く参加出来ることを願っています。

卒業の翌月から山村先生にお願いして、在学中に続き毎月
一回短歌の御指導を、受けて早六十四回を迎えました。只
今十五名、毎月の勉強会を、楽しみにしております。

文芸学科 田村 幸子

第十七期生

園芸学科 岩井 典弘

卒業後六年余元気で暮らして居られますことに、只感謝し
ております。近所の伊藤芳城先生に書道のご指導を頂いて
いますが、仲々上達いたしません。

第二の人生の私の処し方として、目標なり趣味を深める為
料理、園芸、絵を学んでいる。昨年もヨーロッパの風景を
スケッチ。部屋に飾っているが良き思い出になっている。

陶芸学科 塚崎喜美子

私は気取らない山頭火の自由律句が好きである。心を揺ぶるものがあるからでしょう。手遊びに作った壺に「蝶々ひらひら裳を越える」を書き入れ焼いて見た。

陶芸学科 石黒 遠治

レイ大で習ったこと、身につけた技、人に教えていると皆私も嬉んです。「これぞ 生きがい」あちこちに、同好会もできた。みんな「真けん」楽しんでやっている。

陶芸学科 岡本 尚子

葉っぱのフレディ、絵本ですけど、まだ見ていない方、どうぞ見て下さい。幼児から老年まで年齢不問でおすすめます。テレビを離れてながらラジオ族しています。

生活学科 加藤 敏枝

健康っていいですね。私は、自転車で転倒し不自由な日を送りました。今は、趣味や散歩も出来ます。前籠に重い物を乗せない。段差に注意。乗らずに歩くようにしています。

文芸学科 江川加住子

老醜無残悲しい言葉です。それなりに化粧して、気に入りの服装に着替え鏡を見る。変身出来た？自己満足して出かける。世の中も良い方に変針すればと願いつつ。

「きび」作品作り教室」スポーツ学科 山本 勇作

二十一世紀は地方の時代です。分権社会で地方の自己責任が問われています。少子高齢化の中で特に我々の仲間が団結して各地域の発展と活性に努力したい思いである。

第十八期生 陶芸学科 西村 修司

陶芸学科に入学し陶芸との出会いは、私の人生を変えたと言っても過言ではない。また、それと同じくらい大切にしたいのは、友人との出会いを私の宝物にしたい。

陶芸学科 津田 正澄

土と炎に魅せられ、地元の人々を誘い、公民館で教室を作り、自坊の近くに工房を建て、小さいですが電気窯を求めて、作陶に親しんでいます。本職の僧侶も怠りません。

文芸学科 福澤 正雄

「病気をして改めて、今日を生き切ることがわかりました。人生の充実期、それは限りあることを知って始まる。即ち今をしつかり生きること。」ある重病患者さんの話。

文芸学科 滝藤 幸

地域文庫のボランティアを七年。代表として全て任せられた今は、力不足を思いつつも、貸し出しや手書きの文庫便り発行など地道に活動しています。使命感も出て来ました。

第十九期生

園芸学科 河村 利逸

スポーツ学科 山内三代子

健康で古希を迎え、十八代の家系を継承して四十五年。我身の事実の上に立ち、宗祖聖人の示された教えを学ぶべく、真宗推進員養成講座にて、真実の生き方、勤め方学習中。

バイオテクノロジーの更なる発展は人の世をどの様に変えて行くのでしょうか。多様化する新世紀に手も足も出ない亀の子ですが、元氣印で泳ぎきりたいと思っています。

園芸学科 林 嘉雄

第二十期生

園芸学科 角 松二郎

「雲は旅人」ある写真家の言葉です。そんな自然を見事に撮ることなど私には出来ませんが、七十才なりの素直な心を表現したいと、時には指先が凍てる厳寒をも友として。

四季折々の花や樹木・森林に親しむ自然と人のふれあいを大切に、心身の健康にいかしながら、より良い環境での公園づくりの一助にと、花緑公園ボランティアを続ける。

園芸学科 岩井 豊治

園芸学科 井上 健

古稀誕生日に孫よりハーモニカ。早速戦時中童謡、流行歌を吹き鳴らす。途中で入歯が外れ一家大笑い。老いた自分に改めて気付き、楽しいボケ防止のハーモニカである。

滋賀県立近江富士花緑公園の維持協力（樹木の整姿・整理等）、また地元の近江富士さくらの会でサクラの植樹、育成、緑花推進等のボランティア活動を実践しております。

園芸学科 田中 芳江

園芸学科 山中 保雄

午後のひととき、淹れたてのコーヒーの香り、すれ違う人の香水の和い香り、私たちが出合うさまざまな香りは暮しを彩り、忘れがちな感性を呼び起こしてくれます。

五十年間連れ添った煙草と決別した。友のくれた恩賜の煙草を吸い収めにして、称賛もなければ感激もなく何を今更の感もあるが、若い医者忠告に敢えない別離だった。

生活学科 竹中 久枝

陶芸学科 青木 脩泰

レイカ大での二年間は、新しい友人だけでなく、新たな自分自身との出会いでもありました。素晴らしい出会いを提示してくれた大学生活に心より感謝いたしております。

人生後半の生き方を模索していた時レイカディア大学を知り二年間一般教養と陶芸を学ぶことができた。生涯を通じて学び、作品作りを通して人生後半を楽しく生きたい。

陶芸学科 松浦 正和

新世紀、人の心は変われども、時の流れは変わらぬ。土のぬくもりを感じながら、作陶を楽しむ。老春を、土と共に生きる日々かな。

文芸学科 園 昭男

卒業後の一時期、腰痛に悩まされた。最近では物忘れなど頭の老化現象が気になる。脳の活性化の一助にと、おくれればせながらパソコンにでも挑戦したいと思っている。

スポレク学科 秋永 季次

卒業と同時にスポーツレクリエーションストラクターの資格を取り直に社協及び市教育委員会に瞳会で届け、現在地域活動にボランティアとしてがんばって居ります。

第二十一期生

陶芸学科 大朝 重樹

陶芸、写真、登山、ゴルフ等、趣味は多いがどれも「生きがい」までに昇華しそうにありません。努力不足のようですが、ひたすら楽しむことにいたします。

陶芸学科 大朝 政

四月に満七十才になります。心身共自然体にと心掛けたく、まず、ヘアカラーを止めました。凛とした老いゝを座右の銘として参りたく存じます。どうぞ、よろしく。

生活学科 柳本 政夫

古稀もとづくに過ぎた私には、いまさら正月は「めでたくもあり、めでたくもなし」ですが、今のところ心身ともに健全、今年も健康を第一に心がけるつもりです。

生活学科 田中 輝子

本年一月より老人医療費一割負担となりました。今こそ生活科で学習したカロリー計算を活用し、生活習慣病を予防して趣味を持ち地域活動に役立ちたく思っています。

文芸学科 今村 欣子

誰しも、好んで老人になりたくはありません。避けて通れない厳しい現実を素直に受け入れ、自分の世界を積極的に拡げ挑戦し、元気印を保持したいと願う毎日です。

文芸学科 松橋 静野

レイ大に入れてよかった。卒業できて嬉しかった。多くの人に出会えて幸せだった。会いたい。話をしたい。あの時のように。健康で一度でも多くみなさまと会いたい。

文芸学科 村田 信夫

適度の運動と疲れた心を癒すことを目的に月に一度山を歩く。四季折々の鮮やかな自然に耳目を奪われ歩くときの楽しさ、山頂に辿ったときの感動は、また格別である。

甲賀支部

第五期生

園芸学科 芥川 徹

わが人生八十九才の老齡を迎え一家団欒、経験豊かな人生行路、己が幸福と我が身を取り巻く方々の御協力に只々感謝あるのみ。

第二期生

陶芸学科 小嶋 小石

災害もなく、健康で今日ある幸せに感謝で一ぱいです。余生を多くの方に喜んで頂きたいと老人ミニサークルに出かけお茶を共にと茶器等引つ下げてお相手させて頂いています。

生活学科 雀部 つる

二十年前に席をならべた十八名が、今五人となり、時折りの出逢いを楽しんでいます。現代科学の輝かしい進歩、でも人間性を忘れられたら、恐ろしい気がします。

第三期生

園芸学科 谷口 三郎

老大二十周年お目出度う御座居ます。今年米寿を迎え余命も少なくなりました。毎日朝な夕な読書の一時が唯一の楽しみとして居ります。どうぞ皆さん御元氣にお過ごし下さい。

陶芸学科 木村 主税

滋賀県レイカディア大学二十周年記念おめでとう御座います。月日の過ぎるのは早いです。其の間幾多の声が有り思ひ出すと懐かしい事ばかりです。今後の発展を御祈りします。

第六期生

陶芸学科 赤瀬川二江

光陰矢の如し。米寿の歳を過ぎた今も陶芸、スポーツ、音楽や旅行等に楽しい毎日を健やかに送れるのは諸先生や素晴らしい友と家族のお陰と感謝の気持ちで一杯です。有難う。

第七期生

園芸学科 中沼 宗寿

今回会報二十周年記念号を発行されることにつき誠に御目出度くお祝申し上げます私も二〇〇一年幕開けと共に満八十才の誕生日を迎え我が身の幸せを感謝いたしております。

園芸学科 橋本清一郎

大方の公職を終え八十路を飾る賞状十数余となる。旧友知人の訃報に接する毎に在りし日を偲びつつご冥福を祈る。葉と皆さんの支えで姿態放題の日々を頑張っている。

陶芸学科 大谷 吉一

仏教では、「会者定離」と言うが今日までの出会いの人たちが懐かしくてならない。私はあの世の地獄極楽を否定するが肉親や知人に合えると云うことだけは否定したくない。

陶芸学科 谷 信一

石部町で社会福祉の仕事をしています。会長になつて十年余り誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり事業いつまでも健康で働けることが生きがいです。人は死して名を残す。

陶芸学科 眞鍋 光徳

甲西町において、平成元年に陶芸教室を開設し、そのお世話をして参りました。現在会員は七十一名です。その外自治会長を二年し、現在老人会長を元気でしております。

第八期生

陶芸学科 千代倉太郎

此の度私達夫婦に八十八才の米寿の通知を戴きまして大変嬉しく萬歳を二三回上げました。家内中で喜んでくれました。是れから先は婆さんと二人で温泉旅行でもして楽しもう。

文芸学科 植西 敏子

同期の方々とは年賀状などでお互いの無事をたしかめ合つております。永らえて八十路もいくつか過ぎましたがお蔭様で元気で地域の俳句同好会でのしんでおります。

文芸学科 板垣 武彦

二十世紀の締め括りに、通信教育で近畿大学法学部を九八年に卒業した。二十世紀も折角みがあった感性を更に豊かに保ちながら、毎日を有意義に送りたいと思う昨今である。

第九期生

園芸学科 岡村 光郎

おかげをもつて輝かしい新世紀に、至極すこやかに米寿を迎えまことに有難く、向後も自己管理に徹し、多少なりとも地域社会の奉仕に努めたい所存であります。

園芸学科 山本 有行

歳月は光陰矢の如く、七十半ばとなり仲間づくり読み書きよく笑い感動を忘れず、ぼけないため趣味の楽しみをいかにせいで元気に長生きしたいと考える昨今であります。

文芸学科 寺村藤太郎

生かされて心にひびく除夜の鐘。馬令を重ね八十八年、我今ここに家族諸共健康に恵まれ、極めて平穩に過せるのは偏に仏恩の賜、知恩報謝の一念で朝夕の作法を励行したい。

第十期生

園芸学科 奥村 正次

健康づくり体験談、現在八十三才で主に野菜食、何んでも喰べ偏食はしないよいかむ事。晩酌は一合煙草は昭和二五年以来禁煙、無理をしないこと、朝は早くよくよし。

陶芸学科 青木 劣夫

輝かしい新世紀を迎え、心から感謝の気持で一杯です。前世紀には終戦、ソ聯抑留、帰還等色々大変な事が起きました。どうか残生を健康一家を目指し度く思います。

第十一期生

園芸学科 服部 稔

新聞やテレビで経済や政治の乱れ、青少年の考えられない非行が毎日のように報じられ嘆かわしい限りです。今更乍ら家庭の躰教育の大切なことを痛感します。

生活学科 畑中 千代

皆さんお元気ですか。同窓会で来られず、あの世行きの人、病気で来られない人、だんだんさみしくなります。私は八十才になります。旅行や、ボランティアと、過ごしています。

文芸学科 大林源太郎

八十路を越えた今、今まで気づかなかつたことがらに、ふとしたきっかけから理解できることがよくある。楽しいことだ。どうも死に急ぐ必要はなさそうに思える。

文芸学科 藤田 俊子

冬が来ると、外地での日々を想起する。学校のリンクで、下校時刻も忘れて滑ったこと、又一面凍結した川で、友とワルツを口ずさみ乍ら滑ったことも彷彿と思ひ出される。

文芸学科 山中 勝

座右の銘。他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇気を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。

第十二期生

園芸学科 藤川一二三

師の教え「育録愛花」を得て三百余の鉢物が育ちその鉢物を町特別養護老人ホームへ週毎に飾らせて頂き皆さんの笑顔と交流、そして植物の世話、私の生妻とした今日です。

生活学科 青木 静栄

苦心惨胆した過去は過ぎ去り、此頃は喜色満面とは行かないだろうが、自分で納得した健康な生活、人様にだけは、迷惑を掛けない生活へと、心掛けている日々です。

文芸学科 北村 里

「明日命尽きるとも、今日は今日の夢をみよう」が、座右の銘です。十年前の卒業アルバムを開いて当時を思い出しています。今を大切に力一つばい生きようと思えます。

文芸学科 橋本 トモ

昨冬は脚腰の激痛に苦しみ今冬は体操・ストレッチ等を試み体を柔軟にし冷やさぬ事を心掛けております。娘や他の方々から助言を頂き明るく感謝の毎日を過ごしております。

第十三期生

園芸学科 山階 逸夫

私は昭和二十一年俘虜収容所で終戦後始めての元日を過した朝礼で聯隊長が一句「元旦や何を食ったか去年糞」と始めた、今日同じ元日の朝を新世紀と共に迎えながら思う。

陶芸学科 北村 政男

鳥取県西部地域で、住宅への公費投入に踏み切った片山善博知事、そして「町民の願いは行政の役割」と住田圭成町長は実行。不変の土壌を今夏必ずや地域の力で転換を計る。

陶芸学科 谷口 正夫

徳そなわれれば、(此れからの人生)
自然に福祿寿に恵まれる
大念仏で長寿を保とう

生活学科 杉本つた子

自分自身の『心』の開拓をしながら長寿社会に『夢』と『希望』を持ち一歩一歩しっかりと足元を見つめ、未来に『笑み』を掲げられるそんな私でありたいと思います。

生活学科 中井 節

全校の研究・体験発表会。進行運営のすべてを任せられた。一人一人長くても三十分延びる。然し、閉会を告げたのは予定の三時であった。遠ざかる私の老大の一コマである。

文芸学科 杉江 節子

二十世紀は私にとって悲しい事の多い時代でした。戦争で恋人まで奪われ青春時代を淋しい思いで過しました。さあこれからの二十一世紀を悔なく、大いに羽搏こうと思う。

文芸学科 中村 利行

一目見て友健在の賀状受く
床の軸自筆の巳の絵に年迎う
終バスや一人降り立つ雪の駅

スポレク学科 中井 昭二

米原校だけにあつたスポ・レク科に甲賀郡からただ一人通学し皆出席で卒業した。その後も毎月の例会にも出席していたが、大腸手術後は、心ならずもご無沙汰をしている。

第十四期生

園芸学科 林 茂男

発展と幸の陰に大切なものが失われた。其の昔焚火囲んでの心の絆。他を思いやりと感謝の中に。尊い日本の心があつた。「お先に・有難う」こんな言葉をしっかりと残したい。

園芸学科 吉田 弘

激動の二十世紀を、七十四年間生かされて来た幸を感じ、孫達に二十一世紀への手紙として、自分の一生を書き残そうと、遠い記憶を辿りながら、資料を集めている。

川 柳

陶芸学科 井上 謹三

陶芸科土の炎に神います
ボランティアめざむ教のレイカディア

陶芸学科 奥村 義雄

第十五期生

園芸学科 池本 富夫

昨年めまいが起り入院、その後腰痛も悪化。この一連の病気は老化現象ですよと医師は言っていますが、青春時代動乱の世で生きた思いを糧に、健康回復につとめています。

大池寺の 鐘つきながら 思うこと
よき年 よき日 よき時来たれ

陶芸学科 徳地 幹夫

園芸学科 田畑 治男

週のうち出勤しない日が半分くらい有ります。大きな樹を見たり、林道や野道を歩くことが好きで、自然の恵みを全身に浴びている、そんな時間を大切にしています。

「今存命する」「今此処に生きる」徳川家康ではないが「厭離穢土、欣求浄土」を求めるのがわかっていても、なかなか難しいものである。

陶芸学科 徳山 一郎

陶芸学科 永谷 孝

新しい世紀の書、私達の会報会に記事を求められた喜びを、何よりもまず感じます。こだわりなく、常に感謝の気持ちで、会の弥榮と、会員皆様のご多幸をお祈りします。

私の元気朝食、納豆に玉葱の微塵切り、塩昆布生卵を混ぜヨーグルトの蜂蜜入り、辣蕪適当その他を充分咀嚼し、三十分以上掛け食べれば、一日がスムーズに送れます

陶芸学科 村田とし枝

陶芸学科 測上 政直

八十路を迎えて心身共に健康で明るい生活をモットーとして暮しています健康であることは此の上もない幸せでこの宝物を大切に明るく余生をいきることを願っています。

昭和五十七年より信楽陶器神社奉賀会会員となり奉仕活動に従事、仕事のあい間をみては参道の清掃と測溝の土砂除去、社殿外廻りの補修等を行い現在も健康で続けている。

文芸学科 浜崎 栄雄

生活学科 山田 光代

老後のいきがい、しなやかに学びし老人大学学生像に教えられる。与えられし残り少ない人生、地域社会活動を生涯学習の場として悔いのないよう過したいと思えます。

「熟すべし老ゆるべからず」私の人生今以てのプロローグである。そろそろエピローグをと、いやいやまだ早い。古文書を五年程学んでいるが、奥の深さにひかれている。

文芸学科 鶴岡 幸

私達は十五期生、大津の借教室から草津の新校舎に移ったのも、校名がレイカディア大学と改められたのも私達が二年生の時でした。誠に意義深き平成五年、六年でした。

第十六期生

園芸学科 吉川 隆一

卒業して早や五年余、八年秋七十五日間、甲賀病院に入院同期生諸氏より再三、旅行や会合のお誘いを受けながら欠席して相すみません。今は月一度の通院まで回復しました。

陶芸学科 藤田 利治

縦社会に長く生き、レイ大で横社会で生きることを学んだ二年間は貴重であった。多くの友を得、陶芸を通じボランティア精神が生かせることは、喜びであり生き甲斐である。

陶芸学科 山本 茂男

私は写経を習うことになった。写経の目的は故人を偲んでの供養、個人の精神修養にあります。写経は全神経を筆先に集中し、事を成しとげた満足感を感じるものです。

生活学科 島田千代子

平成元年から続けている地域活動に、高齢者ふれあい教室があります。内にこもり勝ちなお年寄が楽しみに待っていて下さるので、ボランティアも共に楽しませて頂いています。

生活学科 谷口 貞子

テレビで見る茶髪の若い歌手の名前を知らない。「現代のおばあさんはこの位の事は知ってなー」と五年生の孫娘に云われ目が覚める思い、調子を合す勉強もする事にしました。

文芸学科 奥村 稔

新世紀、また一つ齡がゆくでは情けないので、レイ大での和歌、書時々楽しむと共に、びわこマジックに通い、未熟ながら、幼稚園、老人クラブなどで披露し喜ばれています。

スポレク学科 小倉 清子

平成十一年に「新高齢地域貢献講座」を受講、その時のメンバー十名で「手作り紙芝居グループ虹」を結成して、年間二十数回にわたり各施設を訪問活動を行っております。

スポレク学科 高田晋太郎

私はゲートボールの一級審判員資格をもっている。従って各地の競技を拝見しますが、あるチームでは監督が怒鳴りつけている様子、選手はおどおどこれは普及に障害だ。

スポレク学科 平元 ちづ

コスモスの 花一面に咲ける野を
老の乗り合う バス 走り行く

スポーツ学科 増森 とく

同期の皆様お元気ですか。私昨年迄は三年継続の日記を使つて居りました。新世紀に入り十年間使えるのを求めました。十年間埋める事が出来るだろうか。頑張り度いです。

第十七期生

園芸学科 竹内 平吾

新世紀を迎え会員の皆様御壮健の事とお慶び申し上げます。これから先益々会員相互の親睦を計り、二十一世紀を明るく元気な人生を創り上げ、世の中に羽搏きましよう。

陶芸学科 今井 進

私半世紀程前にある高僧（浄土宗）に授かりしお話の中の一詞、世路風霜吾人錬心境、世情冷暖吾人忍性地、世事顛倒吾人修養資、大変難しい事ですが心の鍛錬、生涯実践詞。

生活学科 北 心知

生活環境美化へのこだわり、八年前に大腸ガンで三回の切除OPを耐えて地域国道の空缶ゴミ拾いとリハビリを兼ねてやっている作業後のアメニティー朝食の旨いのが三文の得

生活学科 小林と志の

人生八〇年を迎えすこやかでさわやかな長寿社会の実現で高齢者の多い二〇〇一年を元気で行きたいと大学で学んだ政治法律経済福祉プリントを見ながら元気で行きたいと

生活学科 中森 静恵

念佛は自分を写しだす鐘。自らを照らし出す光とも言われる。と書かれてあり、念佛一路、仏の智慧に、支えられて楽しく人生を、エンジョイしております。

生活学科 堀江 昭一

花には水を、人には愛を、花に香りがあるように、人の心にも暖さがなければならぬ。此のぬくもりのある心で、思いやりをもつて今後も生きて行きたい。

文芸学科 清水 敏夫

悠々自適と裏腹に、貧乏暇なしの言葉がある。貧乏に暇があれば最低だ。今年は健康で古稀を迎え、幸せです。これからの人生は、尺八に委ねて、喜楽に過ごしたい。

文芸学科 城 宏衛

母なる湖へ、月に何回か行く。特に琵琶湖文化館の展望閣の眺望が大好きだ。二階三階四階には、いつも佛教美術や名書画の展覧会がある。私の憩の場所として重要だから。

文芸学科 谷北嘉一郎

二十世紀最後の年は、生を受けて最良の年であった。新世紀も引続いて佳き歳であるよう、健康に留意して世の為人の為に貢献することを誇りと意を新にしている。

文芸学科 初田 早苗

今は亡き映湖先生の講義を目的に老大に入り、計らずも師範で習った研田先生に再度習い、友達も増え楽しく充実してきた二年間でした。”声のなき 遺墨となりし 雪の文字

スポーツ学科 藤本 重子

高齢化が進む現在、薬にたよらず、自分にあつた趣味をもち、多くの人々ときあいながら、共に生かされる日々感謝と喜びをもち、一日一日を大切に暮して居ります。

第十八期生

園芸学科 大槻 吉男

体力の衰えを感じる年齢になったが、習った園芸野菜作りと健康管理で頭の体操体力作りのゲートボールを楽しむ日課である。

園芸学科 奥村 喬

IT化の世に振り回されることのないよう、パソコン教室を二回修学しました。今年はインターネットに挑戦したく思いを燃やしています。

園芸学科 田畑 嘉重

園芸学科で故嶋岡孝夫先生に盆栽について学んだことを基礎として、現在は日本盆栽協会等に所属し、盆栽技術の習得のために、教室に通っている昨今です。

園芸学科 林 大次郎

「寄せ植えに 在りし学べを 忍びつつ」迎春に当り、手持ちの盆栽を利用して、習った正月用の寄せ植えを作り乍ら、懐しい在学時代、学友達の姿を思い浮かべています。

園芸学科 堀井 辰雄

重さ一キロ弱の木刀で、百数回の素振り、足腰の屈伸体操を毎朝三十数年続けている。お蔭で肩の凝りや腰痛に悩まされることはない。健康の維持に役立つと思っている。

園芸学科 松井 彦一

ああ残念、週三回各四時間の人工透折導入になって二年、莫大な公費治療に感謝、何のお返しも出来ず、レイ大で習った盆栽と、菊大小百鉢余を育てております。

生活学科 福永 政枝

「継続は力なり」を座右の銘として日々精進しています。何事を成すにも根気よく続けてこそ成果が得られます。簡単な事のようにですが習慣づけるまでが大変です。

文芸学科 鈴木 重隆

現役をリタイヤしたら、自ら進んで趣味を生かして活動することが必要である。ボケない為にも。だが趣味でもないのに各種団体の世話に追われて…。おお神よ僕に自由を。

文芸学科 歳原 國雄

夕照会師の励ましにうながされ遙けしものに心あくがる
東天に窯のけむり果たしゆく赫炎のうつは息づくをみる
大歳を豆の電球点滅す星のいきづきまたたき映す

第十九期生

園芸学科 松尾 又喜

老いて益々元気に人生闊歩。二〇〇一年は可能性の目標値
その他の文化活動を八十から九十才に変更即ち囲碁活動園
芸作業音楽観賞など、それに目下パソコン修習中。老人礼賛。

陶芸学科 村瀬弥太郎

卒業の日、学長から受けた「高齢者社会に対応出来るリー
ダーとして地域で活躍してほしい」との訓示を忘れること
なく、陶芸を通じて仲間づくりに励んでいる昨今です。

生活学科 梅田ミサエ

しつけは、大人が態度で示したい。
成人式のマナーの悪さが問題になっている。基礎的な躰の
大切さを思う。今こそ大人が態度で示すときである。

生活学科 小島 勝治

アメリカの科学者ライアル・ワトソンの書「生命潮流」の
中で「百匹目の猿現象」というのがありますが、私も百匹
目の猿になればと思います、毎日行動をしております。

生活学科 藤田 泰子

働きてこそ短日とおぼえたり
痩せ細り見るかげもなき千大根
夫の忌に供ふならひの菊と酒

文芸学科 安楽 忍

太陽の光を受けてホカホカとした座布団。そこに座るだけ
で心が安らぐ。「残された人生はその様な人として送りたい」
新世紀を迎え得た喜びと共に自らに望みました。

文芸学科 黄瀬 毅一

二〇〇一年。新世紀。米寿。ことしはくぎりになる年であ
る。レイ大の友の御健勝を心からお祈りします。

文芸学科 竹内 哲雄

同期の仲間達と毎月一回の例会（二水会）で俳句を楽しん
でいます。良き友との出会いを感謝しています。一月例会
の拙句です。「飲食の胃にしみじみと七日粥」哲石。

スポレク学科 小林 君江

波乱に富む人生だったが、幸せな日々に感謝したい。北欧
の旅もし、ゲートボールで健康保持と触れ合いもできた。
私の人生双六を一冊に綴ると、二十一世紀の夢はふくらむ。

第二十期生

園芸学科 芦田 秀明

「園芸二〇の会」は、私達の心の拠り所です。私達は、より交流を深めるとともに、長く友情を保ちあい、親睦の輪をゆるぎないものとし、会の発展に努めましょう。

陶芸学科 立入 正義

心青春、頭青春「青春とは若さではなく夢と希望のある限り青春に終わりなし」今二十一世紀に生を受けている事を嘯しめ、すべてを通じて人生に喜びを感じたい。初夢より

陶芸学科 林 孝恒

これからの高齢者は、趣味だけでなく、地域での存在価値を高め、地域のまちづくりに貢献することが必要です。これがため、「地域ボランティア」を有志で設立します。

文芸学科 奥嶋 寛

過去四十年來農業にも携わって来た関係で農協や農業施設管理組合の重責を汚して居ります。農とその多面的機能と如何に発展させるか、重い課題を背負って腐心しています。

文芸学科 小山平八郎

法哲学の碩学、恩師天野和夫先生が四十数年前に揮毫して下さった言葉、「拙誠」（たとい拙くても日に誠を尽せ）は、今も私の胸に迫ります。

文芸学科 松本 秀一

時間や精神的に十分余裕を持ち、清潔でちよつとしたオシヤレをする様に心がけています。出来る丈外出している人との出会い明るく話しをする生活を楽しんでいます。

スポーツ学科 奥田 幸子

昨年より二十名位でバドルテニスを始め、練習に夢中で爽やかな汗を楽しんでいます。スポーツを通じての仲間作り健康保持に、又人の和と輪を大切に微力乍ら頑張っています。

スポーツ学科 富永 藤吉

いろいろな知らないことを 学び
いろいろな人たちとお話をし、
いろいろな人の生き方を認め合う。真の幸せを求めて……

第二十一期生 園芸学科 井上 良一

今年の干支は辛巳である。巳はへみ（蛇）の略で「始まる起ころ」の意がある。省庁再編。教育改革。IT革命などの始まりである。「竜頭蛇尾」にならないことを望む。

園芸学科 奥山 欽一

レイ大で学んだお陰で、庭木の手入れが出来る様になった。庭木にあった美しい樹形を考えながら整枝、剪定するのが楽しい。しかし、未熟、精進の必要を痛感している。

園芸学科 宇留野可澄

同年会から「古稀祝賀記念行事」の案内状が届いた。感無量である。健康体でいつまでいられるやら。やりたいことは沢山ある。残り少ない時間でできるか不安の毎日である。

園芸学科 川奈部四郎

振りかえれば二〇世紀は戦争の世紀だったと思う。二十一世紀は戦争の無い世紀であってほしいと念じております。私自身は明るくボランティアや趣味に精を出したいと思う。

園芸学科 筒井 正義

目下百名山の登頂を目指し頑張っています。インターネットの情報を入力し計画をたてるのも楽しみの一つです。達成の為に少々お酒を慎しもうと思う毎晩です。

園芸学科 森川 和男

大学校での貴重な学習を基に、二十一世紀劈頭よりみんなが支えあう地域活動の一環として『しがらきメンテナンス』クラブにボランティア加入・研修・実習に活動中です。

生活学科 大西 幸

深夜放送を聞き乍ら朝をむかえることがある。終了に近い五時前に毎日「誕生日の花」を教えてください。今年はその花ごよみを求めた。日本の花世界の花三六五日分を覚えたい。

生活学科 鶴飼 力男

二十一世紀を迎え、今年すべき事を思案す。伝教大師の「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」が脳裏をかすめた。その為には健康維持、一日一万歩以上歩く事に決す。

生活学科 岸 嘉行

二十一世紀を高齢社会の一員として迎えるに当り、不透明な社会情勢の中でお互いに無理をせず、健康に留意して「自然体で生きる」をモットーにして進みたい。

文芸学科 鶴飼 清次

牛飼生森組では、第二名神の用地売渡交渉も終り、巨額の売渡金を手にした。この処分案を、目下検討中で、卒論ですでに披露した。小生のロマンの実現に、真っしぐら。

文芸学科 野口 真道

七十才で退職。がんの手術をし、七十七才のこの間、二十九カ国の外国事情を学び、子供達の生活からも学び、何かをせねばと青少年の健全育成活動に参加頑張っています。

文芸学科 山中 茂

卒業後、ホームヘルパーの資格を取得したり、袖川みらい会議に参画したり、第二名神の工事現場、栗東トンネル等見学その広大さと技術に感嘆、新世紀正月古稀を迎える。

スポレク学科 鈴木 三勲

レイカディア大学に学び、自分の生きがいが見直されて、大変うれしく感謝をしています。今後せっかくなつかんだ生きがいを地域に生かして、お返しをしたい。

スポレク学科 鈴木たづ江

仲間と毎日のウォーキングが、健康の源です。喋りながら季節の移り変わり、鳥の声に心癒され山菜や野の花に、自然の恵に感謝しつつ、楽しく歩いています。

スポレク学科 久岡 佳代

月一回の例会にて交流しています。各自各地域での活動、情報交換、レクダンス等で楽しく軽やかな気分が散会。好い出合、ふれあいの場に恵まれた事、私の生きがいです。

スポレク学科 山田佐代子

えにしを大切にを忘れる事なく、卒業後は月一回集まり在学中に習得した事を基礎に皆で智恵を絞り、グループで地域活動が自発的に楽しく出来る様に日々励んでいます。



近江八幡支部

第二期生

生活学科 宇野よしる

一を三で割り切る事は出来ない。一mの紐を三等分する事は出来る。人生も同じで理論では割り切れても経験から得た智慧で老いを恐れず毎日を愉しく吾が道を歩み続けたい。

第三期生

生活学科 大橋 雪

愈々高齢になり、今更何をと言う事かも知れないが、それを自分なりに肯定しつつ、また過去のよき思い出を回想しながら種々の組織に友人と共に参加するように心がけたい。

第四期生

陶芸学科 岡田英多良

何時のまにか馬齢八十八歳。今年ハッパ六十四歳で。この処、高齢者が高齢者を介護の毎日だが、無理せよ無理するなが座右の銘。何とか十二年：頑張ラナクチヤ。

生活学科 西川 志津

二〇〇一年明けて八十九歳となり、我ながらよくまあこの年まで生かされて感謝でいっぱいです。只今むべの里と赤れんがの二箇所へデイサービスに通っております。

第五期生

園芸学科 永福外次良

老大当時は懐顧し、年と共に友が減り、寂しさは格別である。生者必滅、会者常離とは良く言ったものである。命のあるかぎり頑張つて二〇〇一年を迎えよう。

生活学科 山本 婦美

現在は息子夫婦と三人暮らしです。週一回、手芸の友達七八人が集まり、過去に作った手芸編み物を持ち寄り、皆で語り合いながら楽しい時間を過ごしています。

第六期生

園芸学科 村井 繁一

年と共に足、腰がもろくなって参りましたが、元氣いつばい。口は何でも話すことが出来、家内と毎日、和やかに、テレビのお守りを致しております。

園芸学科 辻 清一郎

菊の盆栽も終わつて、今少し休息の時です。寒いこともあつて運動不足にならない様散歩等して健康に気を付けている毎日です。夫婦揃つて元氣でいる事に感謝しております。

園芸学科 中田 重一

年末思い出したように松竹梅の寄せ植えを造りました。久しぶりに気分がすっきりしました。何時頃に梅の花が咲いてくれるのか楽しみにしています。

第七期生

園芸学科 中島 正七

二十一世紀の新春をお陰様で元氣で米寿の年を迎えることになった。しかし、体力も齢を重ねる毎にその限界を感じている。今後は神仏の加護の許、感謝の日々で送りたい。

園芸学科 中谷 清司

「もつたい」とは物体、本体、価値を生かすと言うことである。だから「もつたいたい」とはケチのことではない。日常生活におけるごみ処理にしても随分ともつたいたい。

生活学科 辻 喜久枝

老大終了後、母子、寡婦の幸せを願つて活動し、ようやく一線を退き、老後を楽しく暮らしたいと「ピンピンコロリ」をモットーに、御身大事にがんばっています。

生活学科 村西 好

新しい世紀になりました。そして今私は、DNA、インターネット、ケアマネージャー、等々、次々と出てくる新しい言葉を、どこまで覚えられるかと、悩んでいます。

生活学科 安達 光栄

健康状態の良い時には畑仕事に励んでおります。趣味として若い方々と一緒に楽しく手芸を続けております。地域活動として老人会で月一度神社の清掃をしております。

文芸学科 北尾 正一

少年期、青年期は野菜を主体とした粗食をいただき、老年期になって若い家族の皆さんが栄養を考えた食事の賜であり、くよくよせず幸せに暮らせるのが私の長寿の秘訣です。

生活学科 石川恵美子

老卒卒業後、十四年を加えました。寝込んで長生きをしない様に健康に留意し、明るく悔いのない日々を過ごしたい。老いの坂登り登りて後見れば急がぬ道の足の速さよ。

第八期生

園芸学科 深尾正次郎

一月二十日は大寒の日、あたり一面銀世界でした。お陰様で達者ですので雪どけをしました。二十一世紀が戦争のない平和な時代であることを願っております。

文芸学科 牧田 登茂

たまたま東京で独居の息子と新世紀を迎えたいと考え、息子の好物雑煮、煮しめ用を取り揃え上京した。三日間私流の雑煮を作り、二人での祝盃に最良の新年を迎えられました。

園芸学科 稲田 峰蔵

砂浜を 素足でかける 波しぶき
何時も元気で 年を送り 百歳もそれ以上 元気で
毎日を送り行く

文芸学科 岡田富治郎

平成十年三月、脳内出血して以来、頭部や足の部でよからずの状況です。諸事など出席したいのですが、今の処あしからず失礼します。よろしくお伝え下さい。

陶芸学科 西中 勤市

二十世紀を顧みて。一九二六年に生を受け八十有余年。夢のような人生！転た胸に切なるものあり。悔いなき余生を明るく・正しく・仲良く平穩な社会の貢献に努める決意です。

文芸学科 小川 常三

不思議に命永らえて、神仏ご加護をいただいて健康です。思い残すことは何もありません。楽しい八十年でした。ありがとうございます。

生活学科 奥村 美枝

老卒を卒業して長い年月が流れ去りました。主人が三年前に他界し、子供もいませんので大きい家に一人頑張っています。月金と八幡の福祉センターへ寄せて頂いています。

文芸学科 山路正太郎

八十路に達した。余生は楽しいものです。人生のあらゆるものを杞優することなく若い世代にバトンタッチして、ひたすら健康に畏怖なく興味を求めて恣意に過ごしましょう。

第九期生

園芸学科 橋本 義雄

西国三十三の札所の巡拝で掛け軸が出来ました。電車、バスと歩く二人の気楽な旅でした。お寺での合掌、庭園の観賞、地域の見物など、心の和む思い出があります。

文芸学科 一三三太加

亡き人の供養の灯籠に寄り添う様に山茶花が静かに咲いて、大岩の移動と共に百年以上の楠の木、半分は朽ちて移植が危ぶまれたが、一年毎に葉が繁り見られる形となり感無量。

文芸学科 鶴房健次郎

この世には二度と戻ってこない。生ある現在、この世に生まれて良かった。楽しかったと思う生活をしたい。刻一刻を大切に有意義に暮らしたいと思っています。

第十期生

園芸学科 中西 勲

人生最後の大学を卒業し、余生を愉快に送るため、毎日土に親しみ、自然に愛着し、よき友を得るため、菊の会、冠句会に入り、健康で明るい生活をするよう努めている。

園芸学科 菊井 元章

病後殊の外、物忘れがひどくなり難儀しています。「道は近くにあり而るに諸は遠きを求む、事は易きにあり而るに諸を難きに求む」(孟子) これは私の好きな言葉です。

生活学科 富田 政尾

二十一世紀年頭に私は「生きていてよかった」と強く思いました。敗戦で悲しいことも苦しいこともありましたが、それを乗り越えて前向きに健康で生活できているからです。

生活学科 岡田 茂子

病院では腰の曲がった方や寝たきりの老人、車イスの方など居られるが、この方々と話す時は、見下さない様しゃがんで相手の自尊心を傷つけないよう心がけたいものです。

生活学科 芝 きくゑ

新しい年の幕が明け今年こそは、平和で明るい年でありますように願っています。私も健康を守り、老人会ボランティアの活動に頑張っていきたいと思っています。

生活学科 東 久子

「幾とせの 世の荒波を乗り越えて、幸多き身の今日の喜び」と詠まれたように、今日まで生きられたことに感謝し、今後も健康で一日一日を大切に過ごしたいと思えます。

文芸学科 奥野宗一郎

私は八十九歳だが、歩行には杖も不要、自転車も乗ることが出来るので、感謝の毎日を読書や書道も取り入れて、自由奔放に家内と二人で暮らしている。

第十一期生

園芸学科 佐々木尚一

前世紀の大半を生かされて、波瀾万丈の生涯を追憶する時、苦難の事象は忘れ、楽しい思い出だけを大切に残したい。たった一度の人生を、悔いのない余生に喜びを求めながら。

園芸学科 二木 啓三

二十一世紀初めての正月。心ひきしめて、二十一世紀こそ民衆が安心して暮らせる様、政治家さん頑張つて下さい。全民衆も命の大切さ、健康第一に心がけたいものである。

園芸学科 岡田 良造

週三回の人工透析を受けて二年が過ぎました。仕事や旅行などの制限はありますが、顔色も良くなり簡単な仕事は出来ます。日頃から健康管理が大切だとつくづく感じました。

園芸学科 西野 廣治

年に一度は成人病健診は必ず、自覚症状はなくとも結果に異常があつても前向きに判断し、今生きているのは健康の証と考え、笑つて楽しく残り少ない人生を素晴らしいものに。

生活学科 高原ふみ子

会員の皆様新年おめでとうございます。今年暖冬と聞いていましたのに毎日の様に降雪で閉口しています。どうぞ皆さんお元気に又お会いする日を楽しみにしながら。

生活学科 筒井 好枝

新しい年を迎えて孫達全員でお多賀さんへ初詣りに行って来ました。元気で何処へでも行ける喜びを感謝して、今年も頑張ります。皆さん本年もよろしくお願い致します。

生活学科 廣田 民子

光陰矢の如し、卒業して十年余り、こうして元気でべん執る事の出来る身を幸福に思います。肩を並べて学びし友の氏名が消えゆる度心淋しく、明日の我が身を案じ乍頑張りたい。

第十二期生

園芸学科 中江 二郎

近頃の少年犯罪の多発は慨嘆に耐えない。不満足乍ら少年法は改正されたが、教育基本法の改正は難航気味である。昔の修身や道徳教育を速やかに復活させなければならぬ。

陶芸学科 西川 甲三

新世紀を迎えるに当たつての和歌
不足なしのこの良き御世に生受けて
報恩の誠何に捧げむ

生活学科 生田 薫

地域社会のお役に立てばと思ひ、学区老人会婦人部の会計を引き受けております。又健康保持のためにゲートボール、グラウンドゴルフを近所の人々と仲よくやっております。

生活学科 石部八重子

新世紀のこの“時”に健康で巡りあえた喜びに感謝すると共に、高令のため行動は鈍りますが、生涯青春の気概で地域に友好の輪を広げて行きます。

園芸学科 深尾 源次

高血圧の薬は飲んでいますが、幸い元気で多くの役職も以て忙しく暮らしています。詩吟・お茶・パソコン・園芸教室・菊づくり・ゲートボール等の趣味を楽しんでいます。

生活学科 小西ふさ子

卒業して十年余経ちましたが病気もせず元気で居ります。今後は家族や世間の人の話をよく聴いて時代の流れに後れないよう素直に自分らしく生きていきたいと思えます。

陶芸学科 中島 湊

七月に喜寿を迎え、苦しみの多い人生でもあった。この十年子供のように楽しい日々が続き、春風致暖の苦しい冬もやがて春になり花も咲く。これを夢に作陶を続ける。

生活学科 金子 美紀

夢・・・近年の様に不透明な世の中では、夢も失われ見当たる事もむずかしい。私は無理な夢は追わず限り有る命に先ず健康で充実した日々である夢を持ち続けたい。

生活学科 高柳 治子

「トラウマって何？」「それは心理的。…」カタカナ語の氾濫である。メールも送受信できホームページも楽しめる。でも、耳慣れない用語の難しさに辞書を片手の毎日である。

生活学科 伏西千代子

同窓会に入会して早や十年余りに成り、先輩や後輩の方沢山の出逢いに感謝して居ります。この出逢いを何時までも、大切にしていきたいと思つて居ります。

文芸学科 安田 文子

事故の大怪我は元通り回復したものの七十余才、これを機に身辺整理をしようとしても、予後御身大切の生活が体を鈍らせ何も捗らない。鍛える為に先づ歩く事から始めたい。

第十三期生

園芸学科 久郷泰治郎

学ぶ意欲の大切さは、生涯である。レイカディア大学は、高齢や職業を超えてすべての人が教養を身につけるよい場である。県民の心ある人は参加、地域のリーダーとなつて下さい。

スポレク学科 西野 信子

二十一世紀の干支に始まった私、マアいいか：の心の隙間に、老を立寄らせず、ストレスも、喜び上手に弾ませて、心新たに、周りを温かく笑みを湛えて、明るく生きよう。

第十四期生

園芸学科

小泉雅二良

先任の教え * 趣味は天然の良薬

* つまづくな 風邪ひくな

* 無病息災であるべし、拳拳服膺します。

園芸学科

木村三千郎

平和な二十一世紀を迎え日々健康で喜んでいきます。「気は長く心は丸く腹を立てずに、人は大きく己小さく、口を慎めば命長し」。むつかしいけれど実行できたら幸せです。

園芸学科

森岡 成男

一昨年は入退院を繰り返して、三回手術をしました。後遺症が残り同窓会活動が出来ず申し訳なく思っております。二十年ほど前に入会した「アイバンク」だけは続けております。

園芸学科

梅村 清示

二十一世紀の元旦を迎え、気分新たにしました。今年こそは健康に十分気をつけ、ゲートボール、皆々様の話をお聞きしてよりよい親しみのよりどころとしたいと思っております。

園芸学科

西澤 繁喜

家内と二人暮らしで何不自由なく生活している。親譲りの血圧が高い位で健康です。自治会の役職も済み、老友会の役員も八年目で今は会長として高齢者のお世話。

園芸学科

佐橋 みわ

新世紀を迎えた二日に太郎坊宮へ初詣をした。数百の石段を登り足腰の弱り著しきを感じる中で実行できたこの喜びと感謝の思いを愛しみ分かち合える一年でありたいと念じる。

園芸学科

岡田源三郎

公務員四十年で定年となり早や十三年の歳月が流れ、近年一年毎に衰えが目立つようになったが、昨年は市役所国民年金課より五年間無受診の優良家庭として記念品を受領した。

園芸学科

田谷 猛司

一病息災医者とは縁が切れないが、地元小学校の校外活動の教材提供昔話の会など子供と仲良く、趣味の盆栽を親しみながら妻と共に健康で余生を美しく静かに終わりたい。

生活学科

井室 ヒサ

「二十一世紀」を心安らかに迎えられ、本当に嬉しく思います。これからも健康に気をつけながら趣味に地域の行事に参加し、皆様と交じあう事を心がけていきたいと思えます。

文芸学科

高木ひさ子

地区で菊づくり教室が開かれる。少し興味を持ち受講を希望した。秋に見事な花が咲かせられるのか、将又挫折か、期待もあり心配もあり複雑な心境にいます。

文芸学科 高木 丞子

老化防止にと誘われるまま短歌会に入れて頂きましたが先生は「歌は自分の為にするのです。心を込めて詠い続ければ豊かな自分史です」迷へる子羊は進めず立ち竦んでいます。

文芸学科 前出 博

金婚を終えた夫婦は、知らず知らずに意図することもなく、心の中を読みあえるおしどりの様子、夫婦で通じたい。

スポレク学科 西堀 脩

年一回の定期検診の受診。バランスのとれた食生活。老いる毎に弱る足腰のために毎日の散歩、日頃のストレスを少しでも解消するために趣味の盆栽などを生かしています。

第十五期生

陶芸学科 足立 正夫

もったいないという言葉が今の時代に消えてしまいました。使い捨てが当たり前と・物を粗末にするというとはなんと残酷なことといわざるを得ません。

陶芸学科 永井 牧夫

禁煙、ここ数年私の頭の中を往來しているが残念ながらもまだ実行できず。一日二十本として五十年で三六五千本、随分税金を払ったものだ。せめて今年は節煙で我慢しよう。

生活学科 奥島 千代

“ 飴色になりて残りぬ籠の虫 ” すんだ松虫の音は家中に響き渡っていたが、晩秋一匹だけ残った。その自然の節理を受け入れている虫を見て、考えさせられることが多かった。

生活学科 深尾 愛子

学生時代のテニスのお陰か毎日元気です。月一回の染め色は、良き先生や会の皆様と共に楽しく過ごしております。又、あおぞら会のボランティアで頑張っております。

生活学科 岡田 静枝

二十一世紀を迎え老夫婦が支え合って、健やかに平凡な日々を過ごしております。特に食事と運動面には、一入気配りしながら、「看とうれるより看とる倅」に感謝しつつ……。

文芸学科 岩崎 進

老妻と二人暮らしで、子供達も市内に住み、孫達と下手な将棋をしてボケ防止に役立たせています。健康状態もまずまずで、グラウンドゴルフ、ゲートボール等で楽しんでます。

スポレク学科 馬場 利

二十世紀の前半は戦争で、食・夜もなく水団・芋粥を余儀なくした貧困と苦闘の日々であった。後半は一転。平和と経済の発展。暖衣飽食と贅沢な半世紀。今日の生活に感謝。

スポーツ学科 西川 久子

二〇〇一年の幕開けを新たな気持ちで歩み出しました。常に健康に留意し、地域の人々との繋がりを大切にスポーツ、俳句、華道、茶道夫々のグループと楽しく過ごしています。

陶芸学科 下田喜美子

毎日何かやと出歩いてますので、よく留守電が入ります。電話をかけると、今日一日は家にいるのか、と念を押されるよ、と答えると、元気かとの事、健康が一番です。

第十六期生

園芸学科 中尾 元次

昨年未ふとしたことから短歌に興味を持ち作るより知ることと考えています。折りもよしNHKの人間講座に「女歌百年」が放送される事になりこれで勉強しようと思います。

生活学科 園田 美枝

当年七十九才長生きさせてもらっていることに感謝している。自分の寿命はわからないが、延命治療は断る。家族の温かい思いやりの中で永遠の旅路を願っている。

園芸学科 富田利一郎

生と死の背中合わせで生きている。小さな地這う虫から空翔ぶ鳥に至る迄歩む道は同じで人間も然り。何時か訪れる分かれ道。生に感謝し努力し学び悔い無く有終の美を飾らん。

生活学科 塚越 幸子

二十歳代の時は絶対七十歳まではこの世にはいないと思つたのに七十三歳まで生きて幸か迷っています。一日一日を大切に生活をしようと頑張っております。

園芸学科 桜井しげお

「元気な高齢者でありたい、元気に老いたい」というのが万人の願いであると思うとともに、このことは私の「強い志」であります。

文芸学科 鶴見 實

今日まで生かされている喜びを忘れる事なく、常に笑顔で心からすべてに感謝し、短期を排除し、日々是好日でありたい。私の好きな言葉は、孔子の、戲寒の松柏、である。

園芸学科 松居 修

健康で長生き、痴呆症予防に麻雀を。新世紀最初の雅風展で数多くの作品を鑑賞。その優雅な出来ばえに感激しました。私も皆様方に見ただけの作品と生涯努力が必要です。

文芸学科 松居 政枝

短歌との出逢い。三十一字で詩に纏める。最初上の詩が出来たが下の詩に悩み、ようやく理解でき韻律情感形容、スムーズに纏まり、楽しく先生に感謝致しております。

スポレク学科 中江利之助

思いやりの心と、感謝の気持ちで毎日を送りたい。厭な話
が聞こえない世にしたい。一日でも元気でいて出来るだけ
迷惑をかけない様に体調を整え、命ある限り達者でいたい。

第十七期生

園芸学科 松谷 彬

昨年十月に入院し、今まで深酒をしていた自分が恥ずか
しく、入院時は皆様にお世話になりやっと年末に退院出来
ました。これからは健康に気をつけ頑張りたいと思います。

陶芸学科 浅野美恵子

雑草といふ草はあらずといひたまひし先(さき)の帝(み
かど)をわが偲ぶなり。歌会始の儀の常陸宮妃殿下のお歌。
深く心に刻み込まれました。生涯忘れ得ぬお歌です。

生活学科 西澤 幸江

十年前から手芸教室を続けていたが高齢化が進み会員が少
なくなつたので老化防止を考え、二十一世紀話し合いの会
を結成。痴呆の防止にも効果を得たいと考えています。

生活学科 玉尾 孝子

止まる事のない科学の進歩今後どうなるのかと何か怖ろし
くなる。老人の戯言とは思ふがその為の莫大なお金を今も
将来も地球に生きる人の諸々の事に使つて頂きたいと思う。

文芸学科 廣田 彦一

平成八年四月から、八幡学区ふれあいの町づくり事業の事
務局として、高齢者問題等地域福祉充実のため、毎日ボラ
ンティアで八幡公民館へ出勤して頑張っています。

文芸学科 広田 謙一

二十世紀も終わりに近い二十六日種子島屈指の景勝にある
宇宙センターを見学。二十一世紀を迎えるにふさわしい宇
宙の未来に夢と希望を与えてくれた最高の旅だった。

文芸学科 雪吹 勝

余命の重さ痛感の今日、継続は力なり、の反省の日々。何
のボランティアもせず消極的な日々反省。この機会に変
身公言、人の為に一隅を照らす実践探究。

文芸学科 小西 逸子

レイカディア大学在学中、親しくなつたお友達に「天衣無
縫な方ね」と言われ、一瞬たじろいで広辞苑で調べて安心
しました。今もそのままです。よろしくね。

第十八期生

陶芸学科 園田 賢道

町内、地域からの諸役から離してもらえず、レイ大で学ん
だ陶芸にも久しくご無沙汰している。老クの菊作りは毎年
百鉢程栽培している。何とか達者で働かせてもらっている。

園芸学科 岡田 誠一

農民は地球の善良な管理人である。
神仏は崇めても、神仏には頼らず。
この二つが私の一番好きな座右です。

園芸学科 大林 重三

高齢者にとって共通の趣味を持った仲間の集まりは非常に大きく手先や体を動かすことが多いし、自分で考えたり工夫するという様に、月二回集まって談笑する事が大切に思う。

園芸学科 伊藤 祥彦

世紀の節目、人生の節目となるが、楽しく有意義な日々を送るよう努力したい。家族が揃って無病息災であること、即ち平穩無事であることが、もつとも望ましい。

文芸学科 山路 敬二

人間生まれた時から死ぬまで学習の連続である。興味を伸ばすことも広い意味での学習であり、生涯学習することによって、豊かな実りある人生を楽しむことができる。

第十九期生

園芸学科 中川 春次

一九五〇年春に結婚。苦勞を共に去年は金婚式子供や孫の祝福を受け、新世紀の春を迎え余世を元気一杯楽しく暮らして同窓会会員皆々様の御健勝、御多幸を心よりお祈り致します。

園芸学科 木村 茂治

故郷への峠道この本の作者は湖東町の山脇秀候上人である。五重相伝について臨場感溢れる中から本来の生き方を厳しく教えられている。座右の銘として心に残る書物である。

園芸学科 坪田 源一

新年を迎え、年末土地改良の処分の日が決まり境界の事務手続き等で、六十有余年振りに年始の挨拶を失礼し、親戚皆様にご心配をかけてすみませんでした。

生活学科 奥村 信子

何十年ぶりで箱根駅伝をスタートから復路ゴールまで見た。若者の頑張りに感動し、スポーツ観戦は主人の唯一の趣味。今年からは主人と共通の趣味が出来仲良く楽しみたい。

生活学科 中井 智子

年相応に足腰の痛みを覚え乍も、今日も一日頑張ろうの精神でボランティアに活躍しています。多くの人ととの交流を大切に二十一世紀に向かって身も心も新たに前進します。

生活学科 西田 生子

卒業後、何か社会にお返しできたらと、ボランティア活動に飛び込んだ。V病院、Hセンターでのデーケアに。八幡観光ボランティアガイドにと楽しい日々です。

生活学科 馬場 つた

人は何のためにいきるのか、明日に希望はあるのか？自分の命を放棄し、他人の命をも損ねる。人間は「生きている」ただそれだけで、値打ちがあると思うのです。

生活学科 園田 花子

平成十二年度は、地域の老人クラブ活動で研修会やデイサービスのお手伝い、お楽しみ会の合唱、旅行などに参加させて頂けました。健康を保つ一つだと思っています。

文芸学科 森本 和三

学窓を出て老人クラブの活動、観光ボランティアガイドと地域活動の参加及び興味というべきか生涯学習の一端として俳句、書、水墨画と楽しんでいる昨今です。

文芸学科 大橋 仁郎

卒業後、近江八幡観光ボランティアガイドとして、近江商人訓「三方よし」精神、(自分よし、相手よし、地域よし)で、毎日愉快地古い街並みを歩いております。よろしく。

文芸学科 石部 隆治

新しい年、会員の皆様ご健勝の事とお喜び申し上げます。レイ大で習ったことを少しでも取り入れて活力を生き甲斐のある町づくりに頑張つて参りたいと思います。

文芸学科 中島秀治郎

大正末期に生を受け、人生二十五年一靖国の宮(第一期)、二期、三期は平和の内に夢うつつ、過ぎしを礎、初心に返つて白寿に花咲かすれば？「百の旅ラスト四半期二千元」

文芸学科 目近千栄子

突然やつて来る近親の不幸が昨暮、新年早々と相次ぎ恐怖に怯えながら生命の儚さに呆然としております。私は唯その日に感謝し、自分なりの興味に生きている日々です。

第二十期生

園芸学科 木村 嘉夫

一日の始まりは、おはようのひと言から。何気ないひと言が心豊かにすがすがしい気分させてくれます。このひと言を大切にしていきたいものです。

園芸学科 目近 賢次

私はおかげさまで健康に恵まれて幸せに思っております。たまに暖かい日には樹木の手入れ庭園の草取り等間を見ても趣味のひとつを過ごしておる今日この頃です。

園芸学科 深井 圭三

新聞テレビ等見るもの聞くものが目を覆いたくなる事ばかり。命の尊さ、諸機関の不信任さ、傍若無人な若人。日本の国が崩壊するのではなからうか、悲しむべき事だ。

園芸学科 大林 實雄

若い、月日の経つのは早くだれ一人として月日の経つのは「遅い」という人はいない。自分磨きに懸命に勤め成長と云える程の成長もなく、月日が飛ぶように感ずるこの頃です。

スポーツ学科 中井 静雄

スイミング歴十数年毎日数百メートルをクリヤ、他にテニス、園芸、詩吟等健康管理を实践「身体を鍛えるより体調を維持努力が必要」現在も民生児童委員を継続中です。

生活学科 大西 一

ハートと体で健康管理好きな言葉は努力と根性、笑顔で楽しくボランティア、歴史の勉強と県環境推進員として頭の洗濯、生き甲斐に生涯学習やっています。

スポーツ学科 村井美代子

世紀の幕開けに夢を見ることは汗をかく事。文明の利器に頼り過ぎず、体内からエネルギーを発散させて、自然を大切に、いい汗を流して生活する世紀に変遷して行きましょう。

生活学科 助政知恵子

今日しなければならぬことは今日に、明日でよいことは明日にする。健康で一日一日を大切に過ごしたいと思っています。

第二十一期生

園芸学科 土井伊三雄

退職して六年今生きている幸せを感じ盆栽や園芸を楽しんでおります。地域の活動では一年生から三年生の子供達の野球のコーチしております。これが私の健康法です。

文芸学科 乾 一郎

平均寿命が八十歳になったとしても、健康で楽しく活動が出来なければ意味がない。西欧の諺に「健全な肉体に精神」がある。健康づくりは何にも増して重要である。

園芸学科 岩崎 一雄

レイ大、城跡ウォーキングOB会に昨年より入会し歴史を調べ学びながらの史跡ウォーキングは健康維持の基本、歩くことができ楽しい仲間といつまでも頑張りたい。

文芸学科 中江 とみ

私は夫の死に遭遇し「生命の尊さ」を痛切に感じている。前向きに明るく、心身共に健やかに、介護のお世話にならないように、耐える心を培う努力をしていきたいと思う。

文芸学科 佐田 光代

卒業後初めての第二十一期生「さざなみ会」に参加した。雄大な日本海、美しい雪景色の中、在学時代と変わらぬ交流に花を咲かせた。お互いの健康を念じつつ、またの再会を

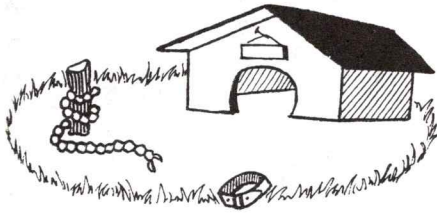
文芸学科 久郷 みね
ボケない五ヶ条紹介します。①友達を作り気持ちを若く持つ。②人の世話をする。③読み書きをする。④よく笑い感謝の気持ちを持つ。⑤趣味楽しみを持ち旅をする。以上

文芸学科 奥居 幸男

私は健康管理を主として、レイ大の二ユースポーツ講座に受講しました。きっかけは、高齢者が人に合わせる軽スポーツを基本に心身の健康増進を図り実践していくことに精進したい。

スポレク学科 田尻 英子

新世紀は豊かな心で、人の心を大切にすることを心がけ、平和な世紀にと生きていきたいと思えます。



中部支部

第三期生

園芸学科 瀬川 治雄

当時は決った校舎は無く大津八幡野洲等転々となりました、一番若かった私も来年は七回目の回り年ですが至極元気でおります。正月の寄せ植えも毎年欠かさず造っています。

陶芸学科 佐生 正一

『三方よし』近江商人の家訓なり売手よし買手よし世間によし。この格言は現代にも充てはまるものなり。社会奉仕の精神を以つて商売をなすべし必ず成功への道となるべし。

生活学科 森 キミ

人の世の無情と、生かされている幸せと、両方をかみしめ乍ら、与えられた命を大切に、毎日を悔なく生きていきたいと念じております。老大を卒業して二十年、早く過ぎた。

第五期生

園芸学科 猪田 正臣

私は毎日必ず、三十分歩く運動を続けることと、趣味を兼ねて、謡曲と仕舞を稽古しています。体調を整えるのに効果があつて、殊に仕舞は足と腰の動きに若さが増します。

生活学科 松本 とみ

二十一世紀を迎え老人は、豊富な知識を得、老ク連の一人として励ましあい生きがいを求め、ボランティア活動を通じて社会の一員としての日々を送りたいと思います。

第七期生

陶芸学科 新海 三郎

平成八年十月町の住民健診で胃ガンを発見され、滋賀医大にて八時間余りの開腹手術で五週間の入院生活で無事退院元の体を取りもどし今では楽しい生活を送っております。

文芸学科 平田 タツ

“卒寿にて迎えし初日に祈る。夢は拙き短歌をいのちある限りと”二十一世紀まで命賜りありがたい事です。体力も弱り唯一短歌のみを夢としての毎日です。

生活学科 奥井 かず

新世紀の幕が開きました。高齢者にとっては、厳しいこの世紀の道ですが、一日一日を大切に手芸又はゲートボールの仲間と共に楽しく歩んで行きたいと願っております。

第六期生

園芸学科 木俣 信一

それなりに出来る事は頑張つて来たつもりでもやはり齢には勝てず、今は只己が気まかせ好きな事でほけない様にと間口広げて奥行きなし、気持だけでも元気な日々感謝。

文芸学科 西崎 穰献

自己中心の民主主義や平和の言葉に甘えて政治・教育・医療・環境寿国の美德が皆消えた。現状では日本は亡くなるだろう。二十一世紀はこころの時代だ。合掌の世にしよう。

園芸学科 山脇 善一

島村先生に教わった藤の接木。当時接いだ物が現在、紅白・紫等、大鉢四・中鉢八程あります。五月になると、大鉢には、百前後の大きな房が下がり、本当に見事です。

第八期生

陶芸学科 徳田 敏郎

土地改良事業担当時代に、住民皆様のご協力に感謝して作った愚老の詞が、十禅師の記念碑に刻まれています。「比都佐野に心ふれあう里人が土改めてみのりゆたかに」

文芸学科 野沢 政次

きれぎれの夢のうちなる遠き人とわが脳生きて言交はしいる。残せるも詮なき兵の鉄帽を小屋に掛けていて時に見てをり。

生活学科 松瀬 よね

皆様お元気ですか、私は達者で励んでいます。昨年野洲文化会館で米寿の御祝をして戴きまして、有難う御座居ました。額に景色を刺繍して、文化祭目指し頑張ります。

文芸学科 田口 敏之

土屋文明の「生活の真実の表現」の要請に応えこの道に入りしが私は「咲くも無心、散るも無心、花は嘆かず今を生きる」の詩を座右の銘とし短歌詠みつづけん。

文芸学科 小西 康三

人ゲノムバイテク薬で無病息災不老長寿の新世紀、夢と希望の光はあれど、技術の進歩に倫理がつかず、悪夢と欲望暗い影、環境医療福祉にと課題数多もまた新世紀。

文芸学科 美園 寛子

傘寿も過ぎ胃全切除の大手術にも負けず今尚生かさるる不思議に命の尊さかみしめております。折角いただいた命なのに時折哀しみの湧き来ることのあるのも不思議です。

第九期生

陶芸学科 小亀 康次

共に学んだ陶芸科級友の老大会誌や新聞の訃報記事を拝見すると次第に淋しくなつて来る今日此頃になりましたが、感謝と奉仕の社訓を肝に銘じ現在も会社で働いております。

陶芸学科 久野金之助

脳梗塞と云う言葉が次々と私の耳に入って来ます身の廻りの知人が大勢斃れて行き愕然として居る昨今です。再起不能とのことで当会員の皆さん方のご健勝を祈る次第です。

生活学科 神山 やを

卒業以来、地域の老人会婦人部、有志と趣味の交流の輪を、はじめてより、もう十年は過ぎ去りました。健康で参加させていただける事を、仲間同志が感謝致しております。

文芸学科 田井中元一

ここ数年世界中様々なことが起きている化学の進歩と普及が自然を破壊し生態を狂わせ人の心まで歪めてしまった。廿一世紀人間は地球のもの地球は人間のものでないことを

文芸学科 奥井 芳郎

いよいよ二十一世紀のカウントアップが開始された。この時に私も喜寿を迎う。節目の年に当り、健康に気をつけ、前を見つめて人生を楽しみたい。「終わりは次の始まり」。

文芸学科 小泉藤次郎

誠に僭越乍ら恩師藤本映湖先生の御遺徳を偲びつつ、未熟なるも省みもせず、弔句を一句捧げ、させて頂きます。「師の句碑や冬蝶静かに翅を閉す」 合掌

第十期生

園芸学科 中井 康夫

レイ大のご縁で同期の仲間が妻君同伴でグラウンドゴルフなどの一泊二日の旅、四季に集い楽しい思い出づくりをと、思案するのも二度の楽しさがある。お互い健康でありたい。

園芸学科 古株榮三郎

私の好きな中国の言葉（子育て）

○親養いて教えざるは親の過ちなり（養うだけでは駄目）
○師導きて厳しからざるは師の怠りなり（厳しさも大事）

園芸学科 坂口 栄三

激動・多様化の時代を体験してきた人生を、生き永らえて
新世紀を迎えた今日、余生を日々大切に感謝し、皆様に親
しまれ、少しでもお役に立てるよう精進する所存です。

園芸学科 園田九二男

冠句ゲートボールを楽しみ、シルバー人材センターで史蹟
発掘作業に従事し、昨年は町の戦時回顧録の編集に参加、
学校で平和の願いを込めて当時の野戦苦難の体験談をした。

生活学科 野沢 はつ

立居振舞がわれながら少し弱ったと思っているが、八十三
歳、まだ気は若く毛糸編物に、ゲートボールに励んでいま
す。この状態が長く続けられることを祈っています。

文芸学科 山本 幸

争いの絶える事なく二十一世紀となりました。恙なく二十
一世紀迎えたり、あの人この友に守られながら歌を習字を
楽しみながらお世話になった返しをせん。

文芸学科 西崎 文枝

上坂冬子「老いの周辺」を読みました。以前に買っておい
たものです。手をかざして人生を見る著者の塑像のような
姿が見えかくれます。近頃になくホツとしています。

文芸学科 松吉 良清

人類の滅亡と地球の消滅
少子化も、さること乍ら男性精子の減少はなぜ、また全世
界に於ける早魃と大洪水にみる異状気象この世の終りか。

第十一期生

園芸学科 前川 義一

体調が悪く妻と二人三脚で暮らしていた処妻がけがをして
日常生活も俣ならぬ昨今です。息子夫婦の努力に感謝して
おります。一日一日を大切に暮らせることを祈っています。

園芸学科 田井中 宏

十人のうち九人までは年をとらないでしおれてしまう。そ
の中の一人だけが、わずかに真の老人に達し得ると言われ
ている。全く美しく老いる事は難しいことだと思う。

園芸学科 塚本 次郎

わが五個荘町レイカディア大学卒業生は第十一期生より同
窓会を発足し、年二回同窓会を開催しています。年々会員
数も増え現在三十名となりました。名前は七夕会です。

園芸学科 武久 四郎

振り返る暇もなく、過ぎ去った二十世紀、気がつけば既に八十歳、余生幾年か。新世紀の幕あけに一言「高福祉に低負担」これにより住みよい高齢社会の実現を望みます。

園芸学科 服部 栄一

おかげで今年傘寿を迎えました。達者です。行政相談員やよろず相談員等勤めまだまだ社会に役立つているつもり、園芸科卒の名に恥じない盆栽作りに精を出しております。

陶芸学科 大西 精三

無限の宇宙の神が創造された、人間に生れさせて頂き、夫々使命を授かって生かされている。人としてその命に気付かせていただき、自分より出来ない使命を誇って果そう。

生活学科 田井中せつ

ボケ予防は手足を動かす事、いつまでも向学心をもつ事、だそうです。ゲートボール、グラウンドゴルフ、ボランテニア、参加できる行事には参加して元気に暮らします。

生活学科 浅原ツタエ

米原校出来た時に入学したレイカ大になって二十周年になり自分も知らぬ間に老いて足や腰痛の感じるこの頃です。知らない人達と友達になり湖北方面をよく知る事が出来た。

生活学科 広嶋 由子

在職中の友との交流を続けて居ります。体をいたわり乍ら健康で暮らさせていることが何よりの喜びです。レイ大の同級生のみなさんと仲良く楽しくさせていただいています。

文芸学科 寺本 寿子

ボランテニア十五年目。残布やB反の提供を受け、仲間とズボンや袋物等を縫製し、その代価を福祉に活用しています。させて頂ける幸せに満ち足り、報恩感謝の日々です。

文芸学科 富江 彦三

縁あつて繋がった夫婦生きて居ればこそ出来る今五十五年間のお礼と、毎日昼食を口に入れてやれる洗濯もしてやれる事を楽しみに十年此の方寸時を喜ぶ日暮しの現在です。

文芸学科 河並 一郎

老大卒業してから続けてきた町の老人の月々の句会が今百二十回を迎える、勿論甲西町の乾憲雄先生御指導のお陰である。二十一世紀の空を仰いで会員の慶び一入。

第十二期生

園芸学科 関川 弘

卒業して十二年、園芸科で習ったことを十分生かして、松の剪定や石楠花の接木等日常に応用しております。また国内外の遺跡巡りも楽しみにしております。

園芸学科 関司 恒雄

晴耕雨読とまではいかずとも畑作業にも精を出し健康の保持と新鮮な自家野菜で家族から喜ばれて居りますが広い畑の管理も大変です。

生活学科 野玉 一子

「どうしたの」と笑う人。「不自由ね」「大へんやね」には返す言葉がない。「足でなく左手で不幸中の幸いやったね」「怪我やから日を数えて治してね」情感が伝わり嬉しかった。

園芸学科 備前 龍三

二〇〇〇年元旦から木刀素振り毎朝五〇回をはじめ、年間一万五千回の目標が達成できお陰様で精神統一と健康の保持につとめています。無理せぬ様に八十路の老いらしく。

生活学科 山川千鶴子

健康 好きなゲートボールで健康を維持する事
しあわせ 二人の娘に毎年旅行につれて行ってくれる事
ふれあい お友達とお話する事、一日一日を大切にする

園芸学科 川原崎幸二

驚天動地の大東亜戦比島に出征「戦傷三目症」した身、健康に恵まれレイ大も修了し「すがやかに二十一世紀明け初むる心豊かに健やかであれ」と書初しました。お元気で。

第十三期生

園芸学科 矢嶋 昇治

四十八名の能登川分会の世話係として、親睦を深めること、生きがいをもって暮らすことを願いながら八年経ちました。思うように進まず申し訳なく思いつつ日が進みます。

園芸学科 小杉 佳正

IT（情報技術）革命は人心・文化・軍事までゆり動かすそこに心、生死があるか、命の重さこそ不遍的なもの生きているすばらしさを忘れてはならぬ生きている事有難う。

園芸学科 布施 義忠

新世紀の春を迎え、健康で幸福な日々を感謝し盆栽とゲートボールを通じて温い交流を深め生きがいとして頑張つてます。思い出は、時に鮮みし忘れじの、老犬ころも遠き昔に

園芸学科 山本 隆男

私は二十一世紀を迎えて、満七十八才になった。盆栽に水をやるのが毎日の日課で今日も元気に生かさせて頂き、植物と共同の生活をし、毎日楽しく語りかけています。

園芸学科 足利 良三

私等高齢者といえども社会的役割を終えたという考えを捨て今日迄の尊い人生経験を元に奉仕の精神を忘れず人の交りを大切に一日で長く健やかに生きたいと願つて居ります。

文芸学科 守 淳子

喜寿と編物手芸教室五十年、老大二十周年と重なる新世紀の今日、温もりの心を、戴いた命を大切にして前向きに歩こう、水平線に沈む日のごとわれも輝きお浄土にゆかん。

第十四期生

園芸学科 岡本 幹雄

健康で喜寿を迎え感謝の日々を送って居ります。石楠花、藤、どうだん等の増殖をして近隣の方に差し上げたり、中部支部の活動にも日野分会の会員と誘い合せ参加しています。

陶芸学科 岡田 弥彦

六年生と三年生の孫がいます。学校から「ただいま」と帰ってくるホッとします。最近「孫」の歌が流行していますが、そのとおりだと有難く思っています。

生活学科 西岡 虎男

私は第十四期、生活学科を卒業後町老人クラブ創造推進員として、励んでおりますが体力の続くかぎり老人クラブ発展の為に立ちたいと願ひ努力しております。

生活学科 河瀬 千工

レイ大二十周年お目出度うございます。今改めて御世話に成った先生やお友達に御礼が言い度いです。楽しかった思い出ばかりです。レイ大の益々の発展をお祈りいたします。

生活学科 澤 きみ子

レイ大の教えを日々の活路とし、俳句、習字の練習を楽しんでます。七十も半ばになりますと体が思う様に動きませんが健康の為に野菜作りに取り組んでいます。

文芸学科 福田耕三朗

不治の大病も医学の進歩で治癒した身体。終章を人間らしく輝いて最高の人生をと心に誓った昨今ですが、ともすると雑念が湧き、解脱の域の遙かに遠い事を悩んで居ります。

文芸学科 西村 泰蔵

日本人は数字の語呂合せが好きである。私も二〇〇一年一月十一日伊勢神宮の参拝、内宮本殿石段下に着くと四十名余の宮司さんの厳肅な参列に拝す、なんと十一時十一分。

文芸学科 若林 春子

レイカディア大学を卒業して早や十年の歳月が過ぎました。短歌を学び結社に籍を置き四季折々の風景や身のまわりにおきたことを詠み心豊かにほげないよう頑張っております。

文芸学科 水谷 志津

どうも機械に対して苦手である。是非今年を買ったまま眠っているワープロに挑戦し、ファックスも自由に利用し、時代に余り取残されない様に努力する積もりでいる。

スポーツ学科 大澤 行雄

ねたきりをつくらないために

寝たきりや痴呆の高齢者を作らない為に老人クラブの三大精神、健康、奉仕、友愛を馳使してゼロに近づけよう。

第十五期生

園芸学科 小西 實

地元の老人クラブ・ゲートボールクラブ・鏡の里保存会の会員として、地域で汗を流し乍ら活動出来る幸せを感じ乍ら暮しています。

園芸学科 桂田 正美

光陰矢の如し、子どものころ時は本当にゆつたりと流れていた。年を重ねるとともに時は駆け足で走り過ぎる。孫も結婚し三世代揃って新世紀を迎え喜びと感謝の日々を送る。

生活学科 山本 慶子

生きる喜びを見失つては、感動も本当の健康もありえない。「生かされていることを感謝する人は、何を見ても感動する。」「感動があるとはげけない」といわれている。

生活学科 桜井 静枝

息子達が年寄りの生きがいと広い花壇を作ってくれました。昨年の秋は植付けに追われましたが早や小さな芽を出し始めました。きれいな花の咲く春が待ち遠しい日々です。

生活学科 北村フサエ

青春時代を、戦後の貧しい時代を経て、今心豊かに、健康で二十一世紀を迎え、趣味（詩吟・ちぎり絵）スポーツに夢中になり、年二回の級会が大変楽しみでもあります。

文芸学科 寺田 幸夫

日野町の出雲川俳句会の会員で毎月の句会に参加したり、シーズンになればゲートボールやグラウンドゴルフに参加し数多くの友だちと楽しく動き回りたいと思っております。

文芸学科 小西 昌子

昨年思いがけず体調をくづし一月半入院しましたが、此の頃は健康づくりに歩いたり、お友達とアートフラワや大正琴と、たのしめる幸せを味っております。

スポーツ学科 菅原 登

生きがいを求めて、「犬も歩けば棒に当たる」ではありませんが、ともかく活動することです。人に頼んでも与えられるものではなく、自分で掴むものだと頑張っております。

スポーツ学科 平井 博

自分の身体に相談しながら「淡海生涯学習インストラクターの会」や「福祉レクリエーションこの指止れ」の会に加わり、自分の力なりに小地域福祉活動をやっております。

第十六期生

園芸学科 深田 恒次

一病息災と云いますがいたわりつつ元気な日常で地域の事や盆栽の手入れ等にと充実した今日此頃です。

陶芸学科 若井 三治

レイ大で二年間学んだ陶芸に同期生方々の熱心さに引かれ、作品造りに励み、出来た作品は他にない一品として自慢し、楽しみ、感謝し、その事が健康の源と思い頑張り続けたい。

陶芸学科 若井 正次

私の健康法。一、出来るだけ不特定多数の人と対話する事。一、何か熱中出来る趣味を持つ事。一、かかりつけの医者を入れて定期検診を受ける事。以上を守って健康です。

陶芸学科 村田 清

今は異国、旧朝鮮釜山府第七小学が母校。懐かしさに引かれ訪れた。当時のままの校舎がある。友の面影が過ぎつぎと映る。今は何処にいるのだろうか消息が知りたい。

生活学科 近藤 美枝

老化現象に屈せず私は、安土町公民館施設ボランティア活動に生き甲斐を感じる。若い人達に混り心の感動にふれ乍ら学ぶ喜びは、私にとって最高の生涯学習である。

生活学科 松本キミ子

老人クラブ地域友愛事業協力者として、微力乍らも努めさせて戴いたが、今年から対象者側となったので、地域の仲間と共に、健康で仲良く支えあつて行ける様願つてます。

生活学科 中西 春子

私は、愛の商品交換に、春は小鳥の歌に励まされ夏は木陰に汗拭い秋は紅葉を眺めつつ冬は小雪舞う中を和顔悦色施を心して、老いゆく身の生き甲斐と致しております。

文芸学科 宮川 濱

町役場事務局から、県のレイカディア大学へ入学のお誘いを受け、夫とも相談し早速入学の手続きを、とって戴き、米原校に通学致しました。(米原町文化産業交流会館)

文芸学科 村田 四郎

私が兼々作ろうと思つて居りました三津屋町誌三津屋往來を今年発刊の運びになりました平成十二年(二〇〇〇年)記念として私生涯の思い出として誠に感慨深い思いです。

スポレク学科 宮下 美恵

何事にも戦し両手の指でも足りない程だ。苦手もあつたけど努力して克服、努力する事の楽しみも味わえた。更に生涯学び続けるであろう。「日暮れて道遠し」私の今の心境です。

スポレク学科 出路 貞子

知れば知るほど、好きになるわが町、五個荘町、観光ボランティアガイドとして地域活動しながら、交流の輪もひろがり健康にもよく感謝の日々を送っております。

文芸学科 大塚 勝治

受講した資料は余生の共とし、俳句を習う機会となり以来友人主宰の会に参加し俳句を続けています。俳句は推敲により空白の時間も埋められ思考の活性に役立っています。

第十七期生

陶芸学科 澤 民夫

私のささやかな健康法、一つめ、日常のありふれた感想を書くこと。二つめ、趣味としての陶芸。三つめ、歩くこと。この三つを日常生活に生かしております。

文芸学科 辻 善孝

新世紀を迎え、一ヶ月前の前世紀が古くみえ何事も捨てられた感じがするが、過ぎ去ったものが懐かしい思がする、過去を大切にして、新しいものに挑戦した老後を送りたい。

生活学科 井上 綾子

私は現在特別老人ホームに看護婦として老人の皆様の健康管理等の仕事に従事しております。自分の年令を考えると皆様のお世話出来る事の喜びを感じ頑張っております。

文芸学科 竹村 泰治

静寂が朝陽の昇るが儘に二十一世紀を迎えました。益々の高齢化社会の到来であります。自分を研ぎ、老人クラブの発展に寄与するよう、健康を守り務めたい。

生活学科 小杉 洋子

豊かな時代に老後を過す事の有難さ。然しこの良き時代もいつまで続く事？人の命を虫けらの様にゲーム感覚で殺す。化学が進む反面人の心が貧しくなる、憂うべき事である。

文芸学科 井上 英子

自然は美しい、その四季の移ろいの中に身を置き静かな思考「句作」の刻を以てる事は何と有難い倅せであろう。自然を大切に生き物の命を大切に潤いと平和の世紀を目指そう。

生活学科 小多 玉乃

レイ大で学んだ好きな手芸を、自分の地元で老人会の婦人部として毎月一回午前中、手芸の好きな人十五名で手作り趣味の会として、楽しい時間を和気藹々持っています。

文芸学科 尾原 薫亮

早や七十三才、歓喜胸に満ち、元気に新春を迎えました。昨年は、四回目の北海道、釧路、根室方面の常例布教に出講致しました。「ノサップ岬 北方領土 波高し」

文芸学科 辻 惣次

「私の人生」戦中勝つまではの合言葉に戦後高度成長期働きに働いて平成に入りバブルの崩壊の中福祉社会年金保障医療充実を守られ七十坂を迎え余生豊かに元気に頑張ろう。

スポレク学科 門坂 千江

日野レク協会のボランティア活動で、習った事と趣味をいかに参加していましたが、三年前腰を痛め完全ではありませんが又いろんな活動で頑張りたいと思っています。

スポレク学科 西川 昭三

一か月の予定をカレンダーに記している。しかし実は二三日先の細かい行動計画が必要なのである。それがなければ精神的に安定しない。記憶に頼れない昨今である。

スポレク学科 甲斐 汎

卒業後平成九年一月安土町教育委員会にご縁があり、大学で学んだ成果を青少年に対し健全育成又高齢者等に対し社会福祉、健康増進等の地域活動に日夜頑張っております。

第十八期生

園芸学科 勝見美知子

「時」の一瞬は無間断に流れて止まないものであるから、この現実的な一瞬がやがて永遠の意味を包含する。レイ大の学生当時の一瞬が私の生涯に残る唯一の「時」であった。

園芸学科 榎 与平

花作りを趣味とし、特に菊の芽パンジーの芽等の育苗し、地域愛好者に配布し、多くの同好者が生れる事を生きがいとし、又趣味とし一日も長く続けて参りたいと思います。

園芸学科 村田 文司

健康維持の為に畑仕事をして自家野菜の出来るのが楽しみです。家族から喜ばれています。

園芸学科 藺 昭三

町老ク連の創造推進員となつて高齢者像の推進に専念している。又、生涯スポーツとしてのゲートボールを愛し一級審判員の資格を取得・愛好会員の啓蒙指導に励んでいる。

園芸学科 大前 欽市

私は内部障害者です。毎月冬期起床六時過ぎ、テレビのチャンネル(十二)体操をして散歩に出発三十分で帰る庭の落葉拾い草取等をして朝食健康維持に努めて居ます。

園芸学科 市居 久二

皆様には、お元気でご活躍のことと、お喜び申しあげます。私どもおかげさまで恙無く消光いたしております。社会変化の時代相互の親睦を深めて行きたいと念じています。

園芸学科 藤野 重昭

第十九期生

園芸学科 澤 元一

お健やかに二十一世紀をお迎への事とお喜び申し上げます。大恐慌に初まった、二十世紀は嵐の後を残して過ぎて行きました。新世紀に夢を託して楽しみながら過ごしましょう。

卒業して、早や二年半、古稀を迎えて、益々元気、有志仲間と、家庭園芸、グラウンドゴルフ、釣、旅行と、趣味を生して、余生を楽しんでいる。結論として、健康が第一。

園芸学科 北川進一郎

生活学科 山根 ふき

私、今一寸した仕事に就いて、多くの人と出会い、教えられたり励まされ乍ら頑張っています。他に呆け防止として書道やパソコンを習い、孫と一緒に人生再生の毎日です。

二十一世紀の迎春、光陰矢の如し、二年間の学習の足跡を振り返り高齢者のパワーを集約し、健康で明るい地域リーダーとして、福祉活動に積極的に動いております。

生活学科 奥居 怜子

生活学科 西村 英子

二十一世紀って色んな事が起りそうで、面白くなりそう。宇宙旅行、人工知能ロボット、ＩＴ革命も、急ピッチで、進んでいく様。健康で長生きして、色んな事、見ていたい。

二十一世紀の幕開けに思う事、病気になるっても、病人にならない様、毎日の生活にメリハリをつけ、積極的に社会とかわれる様、ねがつております。

文芸学科 金山 絹枝

文芸学科 岡田 光子

歌を志してより二十余年。歌を作ることによつて享受し得たことがらを大切にして、今後も自分の人生を見つめつつ、心の琴線に響く歌を作っていければと願つております。

名神高速を通ると、あの尖塔に楽しかった日々を思い出します。卒業後眠っている習字や俳画の道具を出して、もう一度若がえり筆を持つて見ようと思つている此の頃です。

スポーツ学科 奥村 秀正

文芸学科 大野 義忠

ソフトボール現役一塁手で健闘しているが、もう体力、智力ともに限界に達している。それは塁間走が遠くそのセイでヒットもアウトになる。今年も続けたいがムリかなー。

社交ダンス、カラオケ、かな書道、硬筆ペン字にと気合を入れてやっています。何れにしても、他人様から上達を褒められるのは嬉しいもので、心身共に健康でいられます。

文芸学科 大久保忠彦

使い捨て消費は美德の前世紀、資源枯渇と環境汚染せまい地球の規模を知る。昔のお年寄り質素儉約始末を説かれた、我々前世紀の年寄りも、弛んだ心を締め直さねば。

文芸学科 大前源太郎

脳梗塞に罹病して、リハビリ、リハビリで日が暮れた。リハビリ、リハビリ繰り返し、通常の学校なら優等生。

文芸学科 奥村 榮一

レイ大、文芸学科をでて、趣味は旅行に書と絵を加え、俳句、連句も生かじり。雑用に追われ多病息災で寝込む暇がない。新世紀は喜寿と金婚を迎え、心豊かに活したい。

スポーツ学科 金山 准治

私は県ウオーキング協会の副会長をしています。ウォークは素晴らしい事です。一度歩けの醍醐味を味わうともう抜け出せません。皆さんも自分の健康の為に歩いてみませんか。

スポーツ学科 小杉 大雄

最近、頓に物忘れが多くなり、二年間の『レイ大』は、私の老化防止・友づくり・体力づくりに大変役立つたと、心より感謝しております。

第二十期生

園芸学科 細井満佐子

心に残る言葉。日本画家小倉遊亀さんが、好んで書かれたという、「なにも持たぬという人でも、天地の恵はいただいている」天地の恵、多くの出逢いに、感謝の日々です。

園芸学科 奥田 良三

農協ではこの四月から高齢者の自立支援ルーム「くつろぎの間」を「介護ローン」で介護保険を補完する事業を実施します。農協役員として、高齢者対策に後押をしたい。

園芸学科 溝井 秀雄

レイカディアのお陰で、自宅の庭は勿論他の庭先の緑が気にかかる様になり、最近健康のため腹より声を出す江洲音頭に精を出し人生を頼しんでおります。

園芸学科 岡 四郎

卒業後も同期の仲間と密接な交流を図り親睦を深めています。これからも現状維持を目指すには自らの健康管理が肝要と毎日一定の徒歩を欠かさないようにして居ります。

園芸学科 田井中才一

私たち楡の会は昨年念願の屋久島、種子島に行った。素晴らしい自然環境に出合いました。レイ大で学んだ樹木・花・野菜作り等。自然と共に健康で活動したいと願う。

園芸学科 隅田 二郎

今年も「花緑公園ガーデナーズ」の一員として地域社会とのふれあいを高め、又「シルバー人材センター」を通じて能登川町の皆様との交流を深めたいと思います。

園芸学科 中村 正和

詩吟を習って〇〇年、挫折の時、落ちこんでやめようと思った時、友の励ましで何とか続けられた。友の有難さ、続けることのむつかしさが身に沁むてきたこの頃です。

生活学科 辰巳 恭子

レイカディア大学で、学ぶ事の大切さ、又、楽しさを知りました。土作りから学んだ、野菜作りは、楽しさも一入です。健康にも最高だと自負しています。

生活学科 齋藤吉太郎

六十なかば。日々健康で活動できる事がうれしい。小さくても目標のある暮し、適度な運動(体も心も)、そして何よりも、心通う仲間とのふれあいが私の健康の秘訣です。

生活学科 西岡 康吉

常に新しいものを、求めていくところに、若さがある。人情の機微を知ることが、人生でいちばん大事なことである。

生活学科 村田 芳雄

新世紀、希望と不安の交錯、日本の将来に一抹の危惧を感じます。思い出多き七十三年の星霜、残り人生を元気で地域への奉仕、楽しい生活を念じ、ハッピーエンドとしたい。

文芸学科 中堀 為男

レイカ大学を一昨年卒業、昨年は古希を迎えた。人生八十年代に向い、謡曲とゲートボールを通じて一日一日を大切に、そして健康でありたいと念願しています。

文芸学科 京極 温子

老境に入ると友人が貴重な存在になる。いろんな背景からできた友人会がいくつもあるのは楽しいことである。私の変身願望が叶えられた二年間。培われた絆に乾杯。

文芸学科 薄田 善次

新世紀の幕開け、輝しき年にめぐり合えた嬉びは一入であります。全世界の平和を願う者として、高齢者の我々は交わりを大切に思いやりのある世の中を残したいものです。

文芸学科 中村 新三

最近の少年犯罪を考える時被害者と加害者の人権についてはバランスがとれていないように思われ又親の育て方についての責任は余りいわれないことが不思議に思われます。

文芸学科 田井中美智子

地域のお年寄りを対象にした「いきいきサロン」の代表者として地域の独自性を出した集いにしたいと、試行錯誤のくり返しです。どなたか知恵をお貸し下さいませ。

文芸学科 寺川 勝隆

敗戦、混迷、復興を経て新世紀を迎えた。生きてるだろうかと思つた古い記憶が甦り感無量だ。百年紀、千年紀同時の千載一遇の此の幸せを心に、悔いのない人生を送りたい。

スポレク学科 田井中達三

齢七十を迎えた。杉田玄白は七十歳の時「養生七不可」を表し、その中に「昨日の非は恨み悔ゆるべからず、明日の是は慮り念うべからず」と説いている。正に然りです。

第二十一期生

園芸学科 糠 信男

この度、同窓会に入れていただきました。歳をとるにつれ多くの人と交わり、切磋琢磨することが肝要だと教わってきました。先輩諸兄姉のよきご指導をお願いいたします。

園芸学科 中江甲子生

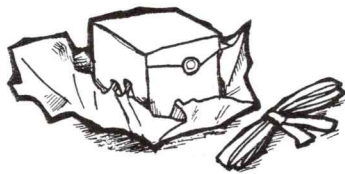
喜寿を迎えて余生幾何、習つた剪定、水墨画、腹話術の三つにこだわって、晴は鋏、雨は筆、イベントには人形と。庭園、施設へボランティアで楽しくやっていきたい。

園芸学科 辻 正三

このたび同窓会の仲間に入れていただきました。いつも「どう生きるか」と、問いかげながら悔いのない生活に徹したい。

スポレク学科 上林いち子

二十一世紀の幕開けとともに、レイ大で学んだことを地域社会に少しでも貢献させていただきたいと念じています。命ある限り、健やかにくいのない人生を送りたいと思ふ。



湖東支部

第十一期生

園芸学科 磯貝 澄雄

手作り紙芝居グループ「虹」とハーモニカバンド「ハピネス」に所属して仲間と共に夫々研修とボランティア活動に励んでいる。これが心身の健康を保つ秘訣と思っている。

第七期生

文芸学科(故) 寺村 ヨシ

本会発足二十年を今年迎えました。そして私は七期生として早十三年を迎えようとしています。俳句誌「花藻」に入会、俳句を生き甲斐として毎月作って楽しんでいきます。

園芸学科 澤田 建一

在学中に学んだ盆栽を枯らさず守っており、その時入手した苗木も大分大きくなり、これからも生涯の趣味としていきます。「今日は昨日に勝る」を座右の銘にして頑張ります。

第九期生

園芸学科 小川福太郎

傘寿も漸く半ばに差しかかり友もめつきり減り、孤独の波がひしひしと押し寄せて来た。取り柄とて何一つなき身なれどせめて名所旧跡を尋ねて見聞を広めたいと思う。

園芸学科 寺村 眞蔵

十二年一月転び右股関節骨折、何時までも若いと思っていたのが間違いセラミック入り歩行可。何と言っても健康第一・お互い転ばぬ様に・不幸ありて真の幸知り・感謝の日々

園芸学科 西田 吉男

日時は早く過ぎて、二十年前県老人大学園芸科に入学当時三十名の生徒が辻先生に初歩から学んだあの時を、卒業後「みどり会」を結成したが今日学友も少なく残念に思う。

園芸学科 福原 範彦

まさに沈もうとする太陽でも空一面を照らし出すように、強い力を持つている。だから老年ということを変に意識する必要はない。自信を持つてお互いにレイカの道を!!

園芸学科 藤野 節子

書道俳画塾を続けて三十余年余暇に踊りを十三年模造紙二枚一面の書画に踊りを交えて各地ボランティア慰問を楽しんでいます。喜んで頂ける事が私の唯一の生き甲斐です。

園芸学科 藤野秀太郎

平素ご無沙汰勝で申し訳ございません。お陰様で元気です。八十路を前に心身共に健やかで、余生を楽しく悔いのない人生を生きたい。今後共皆様よろしくお願ひします。

園芸学科 西堀 嘉一

第十二期生

園芸学科 枝村 和次

世のニューズ見直す時よ新世紀
報道関係者に一言申し上げたい公報とは自由無制限である
が無制限なるが故に国民の益に成る事為に成る事を望む。

卒業以来十年の歳月が過ぎ、尚今同期の友との交流が続き
老大に入学して良かったと思えます。互いに高齢者で残り
少ない人生を大切に何時迄も心腹の友でありたい。

生活学科 北川 孝

園芸学科 清水 章三

同窓会の皆様元気ですか。私達老十数名毎月一回集つて老
大卒の方を先生に健康の話し歌を歌い季節の盆景を楽しみ
新世紀にふさわしい老の生き方をぼけない様楽しんでいます。

単位老人クラブで、地区委員二年、会長、副会長、会長と
五年過ぎました。現在は多賀町老ク連で創造推進員をし
ています。これも大学を出た者の社会奉仕と心得ています。

生活学科 福島 豊子

園芸学科 田中 温

二〇〇一年 老大を偲びて学友の初電話
一月 雑詠 あ頃の友を重ねて読む賀状
筆まめに変わらぬ友情寒見舞

新世紀高齢者はどう生きるべきか。老人介護・老人医療・
年金制度・情報技術など目まぐるしく変わる国の政策。老
いても落ち着けない。十年前の学舎での悠々が懐かしい。

文芸学科 池田 浅子

園芸学科 中村 健蔵

私は老大を卒業させて頂いて本当に幸せでした。老大での
教訓を心の糧として少しでも地域の皆様と交流の輪を広げ
明るく心豊かな老後の幸せを計りたいと願っております。

私達は県下四十三市町村にあるシルバー人材センターに入
会しレイカディア大学で学んだ知識と技能や経験を生かし地
域社会に貢献しつつ健康と生き甲斐と感謝の日々を送ろう。

文芸学科 宮尾 計

陶芸学科 辰巳佐一郎

米原校文芸学科卒業して早十余年良い友達に出会えて大変
嬉しく卒業後も年三、四回集まり話に花を咲かせています。
健康に留意して余生を明るく過ごしたいと念じています。

自分達のこと、そして地域のこと、住み良い町づくりのた
め老卒業生は協力し合って、すこやかな社会建設に協力
すべきだ。小さな奉仕、ボランティアに参加しよう。

文芸学科 寺本 信一

三六五日と言うが何故にこれ程短きか、あれから九年が昨日の如く思われる今でも同窓会を続けて居ります。短歌わが戦友を叱咤せし昔今は我が身の處するすべしらず

文芸学科 寺本 光江

老大に行つて良かった。学びて良かったとつくづく思う今日この頃です。

第十三期生

園芸学科 磯島弥一郎

二十一世紀の新春を迎え、大正に生を享け、昭和の激動に耐え、平成に生きる私、この幸せに感謝し『私の歩んだ道』と題し新世紀を記念に自分史を遺したいと決めました。

園芸学科 川口甚一郎

若い時から山歩きが好きでよく岩場に咲く山草や野草を採取して石組鉢を作り植えたり山野造型を作ったが、今は仲間と共に水墨画やヒシの実人形を作つて楽しい日々を送つている。

園芸学科 北澤 重市

レイ大の学びを終えて五年間にわたり公民館長を勤め、地域住民の方々と生涯学習を推進し、社交ダンス・園芸など趣味のサークル活動を通じて心豊かに老後を送っています。

園芸学科 木村 義雄

一病息災で元気に、老人会活動に、ボランティア活動に、ゲートボールにと日々過ごしております。趣味の盆栽サツキ樹齡四十五年を超え『書道』も人生の友として続けたい。

園芸学科 草野一二三

元気で頑張っています。盆栽の魅力は忘れることができません。毎年多賀町老壮大学の園芸、盆栽教室の講師をしています。同窓会の皆様方のご協力の程お願い致します。

園芸学科 辻 忠一

私はシベリアの抑留経験者です。最近平和の礎（シベリア強制抑留者が語り継ぐ労苦）と題する本を入手し、当時の苦勞を思い浮かべて現在の平和な生活に感謝しています。

スポレク学科 北川 弥祐

セブンステップ、森の水車、三百六十五歩のマーチ、そして、およげたいやきくん。昨年秋の学区市民運動会の曲目です。高齢者の健康保持にと頑張っております。

スポレク学科 廣田やゑの

老大卒業して十年顧みればその時の友達今でも月一回出会つて復習会、習った物は形として残っていませんが手を取り肩を擦して踊る楽しさ一日を大切に感謝で暮らしています。

スポレク学科 藤井 尚一

卒業後も毎月一回は集まろうと申し合わせ、早九年目を迎えた。その間一度も休まず稽古に、散策に又旅行にと、現在男女各五名が毎回楽しいひとときを過ごしている。

文芸学科 清水 はる

数え年八十歳、健やかに二十一世紀の新年を迎えました。授かったこの健康を、少しでも地域活動に役立たせ、生き甲斐のある人生でありたいと願っている昨今です。

十四期生

園芸学科 岡部 安三

私は健康で毎日を元気に暮らしている事が何程幸であるか。心臓病で入院した時健康程大切な事はないと思います。身障者ですが感謝と希望を持って元気に暮らしております。

文芸学科 鈴木 昭雄

趣味は俳画、短歌、碁みな未熟。現在七十四歳、今パソコンを勉強中。難しいね。ホームページ、インターネット等無限の深さを知る。前向き姿勢と時代の流れを大事に思う。

園芸学科 西埜 長昌

水環境の保全を図り、美しいびわ湖を次の世代へ引き継ぐ為に彦根市環境保全指導員として、河川の水質環境調査等の実践と合わせて啓発活動を実施している今日この頃です。

第十五期生

園芸学科 片山柳治郎

健康体の保持ポケ防止となればの思いで十年来続けてゲートボールを地域の仲間と楽しく元気にやっております。

生活学科 小林 成子

平成五年生活科を卒業習年より社協ボランティアの活動を始めて八年を迎えました。一人から現在五人で豊郷病院のパストラール入通所者の方々を手芸指導をしております。

園芸学科 曾根 理

木彫教室に学んで三年、木片、板、樹木片などを素材にして、装飾小物造りから壁掛け、置物、中には衝立などと趣味と実用を兼ねた創作活動を楽しんでおります。

文芸学科 近藤寅太郎

私の唯一の趣味は短歌である。老成で手ほどきを受けてから現在まで七年余り、駄作ばかりだけれど千五百首を超えた。今も恩師小西久二郎先生の指導を受け歌を作っている。

園芸学科 林 新逸

どこの玄関にも鉢植えが置かれ、年々カラフルになり優しい気持ちです。ドライフラワーも色合いがそのまま残せる様になり花は環境と感性にマッチ。老いて園芸益々楽しい。

生活学科 鈴木 君江

請うなかれ、求むるなかれ、汝、何の不足かある、若し不足ありと思わば、これ汝の不信にあらずや。私はその言葉を心して歩んでいこうと思っております。

生活学科 辻 みち子

奇しき御縁により幾多の人々との出会いがもて、年を重ねると共に、生かされて生きているという報恩感謝の念の横溢した日々を、健康に恵まれて過ごしております。

生活学科 藤 一重

思いつきテレビで肌のシミが消える？簡単美肌水の作り方の放送を見た。早速薬局へ走る「ブームで売り切れました」と。いくつになっても美しくありたい女心も人並みか。

生活学科 村西 この

九十二歳になっても老人と呼ばれたくない。まだ心身共に張り合いがあり、明日に希望を持っている。山登りにも楽しみ、又愚痴を言わない。と或る人の言葉。見習いたい。

文芸学科 川並 稔男

我が村に地域福祉の会を興して三年になる。対象八十歳以上、老人いきいきサロンひまわり会と称して月二回実施中。最近介護保健対策として内容の充実が期待されてきた。

文芸学科 柴崎 英

好きな詩の中に「一粒の美しい露のように、光を受けて一杯輝こう、そしてその時が来たら、静かに消えていこう」今日一日を力一杯生き爽やかに散れるを願うこの頃です。

文芸学科 高木 徳本

「私の死亡記事」というショッキングな名の本があった。角界著名の人が、棺の蓋をする前に、自分の人生を自己評価している。試みに私も書いてみようと思った。

文芸学科 野村 静野

痴呆性の同僚が日に平均して二回は来訪され都度同じ話題を反復される。笑顔で聞いて肩や手を撫でていると、体温のぬくもりを感じ帰路に着かれる後ろ姿を見送っている。

スポレク学科 小林 龍男

スポレク学科で履修した軽スポーツを、地域老人クラブに取り入れて、彦根市内のスポレクOBと力を合わせて、高齢者の健康作りに努め、老人クラブの皆さんに喜ばれている。

スポレク学科 山田佐太郎

豊かな現在の生活、これ以上何も望まない。程々に衣食住が足りていればよい。一緒にいると心が安らぐ人がいて、喜びや悲しみを分かち合える友がいれば、こんな幸せはない。

第十六期生

園芸学科 橋本 武浩

二年間の学習で、盆栽の手入れ法については極めて未熟なままの現状であるが、蒔いた種の発芽した時の感動や、早春に蕾が芽吹く時の美しさを味わいながら過ごしたい。

生活学科 木崎寿賀子

有意義な学習、人との交流、楽しい思い出を感謝していません。現在は特養でのボランティアを生き甲斐に、趣味は写真クラブに参加しています。二十一世紀も頑張りたいです。

生活学科 山崎 ひさ

下手がいいのよ、下手の方が味が出るのよ、の言葉に引かれて、今絵手紙に挑戦しています。卒業以来毛筆絵筆に縁のない私の楽しみとそして生き甲斐でしょうか。

文芸学科 高橋賀英子

小西先生のご指導を得て短歌の学習を今も続けています。「嫁とふたり日曜版のクイズ解く雪しまきくる昼をこもりて」新世紀に入りて健康である日々を感謝しています。

文芸学科 西村 博

二十一世紀を元気に迎えられたことを感謝している。これからは一日一日を大切に、ゆとりを持って自分らしく生き、少しでも地域に貢献できればと思っています。

スポレク学科 藤田由三郎

昨年より彦根ハピネスハーモニカバンドに加わり、練習と老人施設等のボランティア演奏等に熱中、今年八十歳になったが気持ちは青年気取りで毎日が楽しく、ルンルン気分。

スポレク学科 池田太嘉男

彦根社会保険センターに勤務して五年になります。色々な人達との出会いも出来楽しくやっております。民生委員も今年で九年目、私でもお役に立てたらと頑張っております。

第十七期生

園芸学科 北沢彰一郎

卒業して早五年。健康維持のため週三回のウォーキングに精を出している。また地域の園芸クラブに入り先輩と共に神社の樹木の剪定にも参加できることを幸せに思っている。

園芸学科 宮尾曾二郎

私達仲間では、みんな温かい心で、明るく若々しい気持ちです。健康第一に、佳き年であるように願い、後継者の人達に伝達しながら、頑張っていきたいと思っています。

園芸学科 森野 久章

自分の限界を決めず、常に何かに挑戦する意欲と行動は、健康と充実感が味わえます。始めたことは継続し、その成果や目標達成は大きな励みとなり、老齢を忘れていきます。

陶芸学科 石部 甚三

第十八期生

園芸学科 出雲 喬

朝日奈隆さんは、九十二歳で百五十回目の「第九」を振った。「一日でも長く生き、一回でも多く」と願い、目指す「芸は七十歳から」とも語る「人生の達人」に学びたい。

正月用寄せ植え作りや、玄関や庭を草花で飾ったり、園芸学科で学んだことを活かしています。名所旧跡巡りをしてデジカメで写真を撮るのも楽しみの一つです。

文芸学科 幸 敏晴

園芸学科 左近上貞夫

雑感。あぶく経済がはじけた世紀末、不景気による守りの姿勢から脱却の方向感覚を失っている日本経済が新世紀初頭に、果たしてどのような景気特効薬があるか最大関心事。

レイ大を卒業して早四年、歳月の流れが一段と速く感ずる今頃。健康維持の為、進んで何事にも参加し充実した日々を送り年二回の学友との集まりを楽しむにする者である。

文芸学科 藤野 利夫

園芸学科 原田 一彦

衿正す元旦、夢膨らむ新世紀、そして一言。たまるのは雪とストレス、たまらないのは感激と貯金。でも変わらないのはお正月と家族の笑顔何と言つても健康第一無理は禁物。

字・老人クラブ活動「年齢相応の健康づくり」の一環として、グラウンドゴルフを月二回練習しています。概してゲートボールをやつてこられた後期高齢者のお方はお上手です。

スポレク学科 北村 きぬ

陶芸学科 奥野千津子

レイ大スポレク科を卒業して早五ヶ年の歳月が過ぎ、地域の方達と毎月五回レクダンスで和を以て楽しい一時を過ごしております。レイ大で習った喜びを感謝しております。

陶友をおもう
病ふかく陶芸の道も休むまま
同期の展示に目を見張るのみ

スポレク学科 吉川 登

陶芸学科 奥野 春男

「花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根、根は見えませんが。実は、見えていない所に、我々は支えられている。」と賀状を頂いた。今世紀に復活したい心である。

偶感 一首
あつき血の たぎる若さの失せければ
実の無きままに今日も過ぎゆく

生活学科 春田 弘子

一つのボランティアと趣味の手芸にいそしんでおります。おだやかに過ごせる日々感謝。

文芸学科 上田八重子

昨年は体調を崩し落ち込みましたが新世紀の幕上げと共にほぼ通常に戻りました。三月末にはドイツへお茶とお花の親善旅行に参加する予定で夢を膨らませています。

文芸学科 木村 弘子

甲良町には老人短歌クラブがあり部員が五十五名です。毎月一回一首を出し、レイカ大の小西先生に添削を受け楽しく詠んでいます。こんな大勢の部員に誇りを感じています。

スポレク学科 福原 清

地域社会の各役職に選出され活動中。趣味を楽しみ、通信講座で勉強。七人家族の健康を御先祖様に感謝。いつ迄も進取の気性を忘れず、健康管理に留意していきたい。

スポレク学科 矢田しづ江

膝が痛いこんなはずじゃなかったのに。床に入って我ながら情けなくなる今日この頃。大切な体を酷使した罰か。近來では残る人生ゆっくりと自分の趣味に生きたい心境です。

スポレク学科 若松 桂子

心と体の健康保持に①毎月金亀会、楽々会でのフオークダンスでいい汗をかく②好きな史蹟巡りをする③腹八分目でバランスよい食事④睡眠⑤趣味の会を楽しむ等々。

スポレク学科 馬場みさを

リズムに合わせて体を動かし、心澆刺良い汗を流すダンス。レイ大で楽しかった思い出を、地域の皆様の健康に役立てるよう、何時も考え、元気で感謝の生活を続けております。

第十九期生

園芸学科 上田 晴彦

縁あって正宗伝統の法名をいただいた。今まで法名は亡くなってからと聞いていたが、仏弟子として生あるうちに加えていただき感無量。再人生の新しいスタートとしたい。

園芸学科 荻野良太郎

「ボケない為の五ヶ条」①仲間がいて気持ちの若い人②人の世話をして感謝する人③書物をよく読みよく書く人④よく笑い感動を忘れない人⑤趣味の楽しみを持ち旅の好きな人

園芸学科 奥川 静雄

定期検診で偶然見つかった胸腺腫の除去手術を昨年2月受け、現在は以前の生活に完全に戻った。私達は身体の定期的なチェックが如何に大切であるか痛感させられた。

園芸学科 児玉 文男

妻の父をホームで介護中、それでも友人夫妻と年二、三回旅行し、私もゴルフ等楽しみ、妻も勝手に趣味を楽しみ、小さな事にクヨクヨせず柔かな気で人生を楽しんでいます。

園芸学科 宿谷 暹

座右の銘『和顔愛語』明るい顔が周囲を明るくし、暗い顔が周囲を暗くする。お互いに死ぬまでにせめて良い顔になり、やさしい顔になり、人に好かれる顔になりたい。

園芸学科 西村 彦

サラリーマン生活を終え五年後の今も思いは競争せず、気張らず、気楽に趣味を探しながら、健康第一、一病息災ならず三病息災位の気持ちで体をいたわりつつ頑張ります。

生活学科 野口 吉一

新世紀とレイカディア発足二十周年を迎えおめでとうございます。二〇〇一年、一は事のはじまり初心にかえり人生の後半を出発したいと思います。多くの人との出会いを大切に。

生活学科 藤居 和子

小便を、大便を、一人で出来、靴下が一人ではける夫、妻であれば幸な二人です。欲を言わず、不思議な縁で結ばれた我々有意義な老後を感謝して暮らそうではありませんか。

文芸学科 上野 清蔵

レイカディア大学同窓会の皆様お元気ですか。私相変わらず先祖の田畑を守り農業を続けているのが現状です。「友逝きし但會一處ときくからにや六字稱えて日々を送るる」

文芸学科 寺田 源三

高齢化社会に拍車の掛かっている今日、惰性で日々を送っている人が多いのではなからうか。生涯学習に挑んではどうでしょう。心身を鍛え、友情を育もう。

文芸学科 林 貞三

郷土誌編集の末席を汚しすでに数ヶ年が経った。仲間は六人で、昨年よりは週一回の会合をしている。指導の先輩は資料をもとに事実をありのままに伝えることと教えられた。

文芸学科 藤居 美津

文芸科卒業後地域で引き続き書道を学び、せめて人並みにと励みつつ、体調維持のため、ゲートボールに老の脳の痴呆予防にと心掛け、友愛の講習にも参加いたしております。

文芸学科 三浦喜代子

愛知川俳句会では、句会四百回を記念して句集を発刊しました。各自毛筆で認め、そのまま編纂され趣の変わった句集となりました。老大卒業生も五人となり心強い限りです。

スポレク学科 北川 慶子

新世紀の幕が開けました。後戻りできないひと世の足跡を思い、小さくてもキラリと光る希望の燈を見つめ、老人パークで、上り坂下り坂に立ち向かって行きたいと思えます。

スポレク学科 西堀 栄一

「流石コケ生ぜず」当字では寝たきりゼロ、痴呆ゼロを指して八十歳以上の高齢者を集め小学唱歌、ナツメロを合唱したり、輪投げ、魚釣りゲームをして楽しんでいきます。

スポレク学科 野村 悦子

今私の健康は、毎朝コップ一杯の水を飲む事と食事は腹八分目と云ったところです。それに先輩の惜しみない御奉仕の姿に此々にも健康の秘訣があるのではとの昨今です。

スポレク学科 疋谷 絹枝

人は単に長命を喜ぶのではなく長寿を全うする事の幸を考え健康造りとして地域でレクダンスを取り入れいい汗かいています。新世紀を健康で迎えられた事に感謝します。

スポレク学科 前川 渡

皆様、御元気で新世紀をお迎えになり御慶び申します。健康に留意し、世の為、人の為、家庭円満の為に、老人の役割を果たしましょう。元朝や世紀の変わり気も新た。

スポレク学科 山本 浩

二十一世紀は福祉の時代といわれ十二年間の民生児童委員の経験を活かし、福祉ボランティアとして少子高齢社会に対応できる地域福祉活動に余生を捧げたいと思えます。

第二十期生

園芸学科 大菅 一二

イヤホン耳に野道をウォーキングしています。今朝は、田園の向こうに冠雪の伊吹、紅葉の荒神の山々が、初冬の朝日に輝いていました。健康が一番。歩け歩けの毎日です。

園芸学科 北村昭左衛門

「おじいちゃんつて大卒」孫息子に何気なく聞かれた。「レイカディア大卒だよ」と答えてしまう。そうだ、孫の期待にも応え健康に留意し生涯学習と奉仕活動に勤めたい。

園芸学科 田中 昭一

年四回のゴルフやレイカ同期会、週三回の将棋又畑、植木いじり、釣り等々若干の実益と趣味に日々を送っています。本年はグラウンドゴルフ、碁に挑戦を予定しています。

園芸学科 東田昭一郎

人間は自分一人、勝手に生きることが出来ない。しかし『任運騰騰』運命に身を委ねつつも、その中で自己を最高に活かす努力が必要である。年を重ねたこれからも。

園芸学科 村西 康次

古希をすぎるとぼつぼつと周辺から友が去つて逝く。幸いレイ大で一挙に二十五人の新友ができた。二十期園芸学科は二〇と樹をもじり「楡の会」とし友好を大切にしている。

陶芸学科 塚本 由一

私とレイカディア大学との出会いは又とない良き日々でありました。学習の経験をさせて頂き素晴らしい社会生活を再認識しました。良い仲間作りをし少しでも社会のお役に：

生活学科 北川太津夫

座右の銘 何かあなたは、しなければ、ならないから生かされている。高いようで低いのが教養。人間は高い所（高席）ほど危険が伴う。足を踏み外す危険が多い。

生活学科 宮田 栄子

毎月ビハーラしがよりアロフエンテ彦根・JA東びわこ管内の老健施設訪問各地区の陽たまりサロンのボランティア、学校給食の臨職、農の匠として地域活動をしています。

生活学科 村西 州子

在宅老人サロン活動として毎月一回公民館で手作りの会食、ゲーム、歌等趣向を凝らして楽しんで頂いているボランティアは自分の生き甲斐と健康の為と思ひ頑張っている。

文芸学科 日下 和子

或る講師のお話に「人生。生きている間は、余生でなく、与生と受け止める」事を教わりました。あ！成る程と気持ち、此の与えられた命を一生懸命生きたいものです。

文芸学科 小島 弘子

平成十一年に卒業後も引き続き短歌を習っております。久々に会いたるレイ大同窓の人らとひと日和める良き日集いたる人らと宴に先立ちて逝きし広田氏に黙祷なせり

文芸学科 小玉 徳承

若者ともよき老い求めんとわが故郷の「文化論」学ぶ。湖にそそぐ川音のさりげなく聞きつつ学ぶ故郷の史。今、県立大学で久方ぶりで「近江文化論」を聴講中です。

文芸学科 宮下 勉

何事もなかりしように朝迎うわれより若き友の通夜明け針に糸通す視力が根気がが妻に勝りて我が役目となる。錨マーク海軍帽の老い二人戦友ならんか菊花展に居る

文芸学科 安澤 慶治

新しい年二十一世紀を迎え、今世紀に少しでも健康で長生き出来る様しかも生き甲斐のある人生を送る為に、生涯スポーツとしてグラウンドゴルフに取り組み始めた今日此の頃です。

スポレク学科 富江 敬子

いつまでも元気でいたい。そんな思いでウォーキングに励んでいます。その努力のお陰でコレステロール値もぐっと改善されたので、今後も楽しく続けます。

スポレク学科 山田 孝子

卒業後、年六回程の出会いで益々絆が深まり、スポレクの仲間の出会いに感謝して居ります。詩吟、詩舞を習い発表会での軽度の緊張が健康の秘訣かと感謝の毎日です。

スポレク学科 若松 實

二十一世紀の幕開けも厭な事件が続き、経済不況環境汚染など不安が一杯です。すさんだ青少年の心に灯火をつけ、正しく導くのは経験豊かな高齢者が真剣に頑張らねば。

スポレク学科 藤野 常子

二十周年記念私二十期生、平成十二年十一月三日～六日「ねんりんピック2000」大阪にウォークラリーに県代表と参加出来た事をこれからの生活の励みとしてまいります。

第二十一期生

園芸学科 大森 玲子

親の難しさも知らぬ人が多い、自己中心的な人達が結婚して親になる。我慢も辛抱もない親の犠牲になる子ども、あまりにも親になつてはいけない人が親になり過ぎている。

園芸学科 小川 勇

在学中は政治、経済、福祉、環境、人権など幅広い講義でよい勉強が出来ました。心から諸先生に感謝申し上げます。今後は先輩諸氏のご指導をお願いします。

園芸学科 沢田 喜安

二師三兄五友と云うが、歳を取るにつれ友は多い方が楽しい。レイ大の素晴らしき学友と同窓会の出会いは格別である。友と励まし合い、一怒一老でなく、美しく老いたい。

園芸学科 辻 甚市

毎日健康に気を付けて、二年間勉強した事を四季折々地域活動（老人会盆栽クラブや集落での行事等）の為に、少しでも役に立ち、楽しい日々を送りたいと考えています。

園芸学科 辻 三光

二年間のレイ大生活も「もう卒業なの」と言われる程、私自身もあっけなく過ぎてしまいました。これからはOBによる園芸研修を始め、好きな釣りキチ生活に励む積もりです。

園芸学科 西山 正夫

当大学のお陰で陶芸技術の修得と素晴らしい同級生や先輩に恵まれて今まで味わうことが出来なかった心の豊かさ。これからの生涯に大きな自信を持ち陶芸で楽しんでいる。

生活学科 荒見 恵美

身体と精神のあちこちに芽生える成長（若い？）の兆しを心地よく受け止めて、家庭や地域社会の中で生き活きとした高齢者でありたいと願っています。

文芸学科 辰巳 静子

雪解けの土の間から露の臺が覗いている。冬眠の生物達はその出番をじつと待っているのだ。春夏秋冬の移ろいは私の心を和ませてくれる。自然を愛し心豊かに過ごしたい。

生活学科 寺倉 保男

人生の締めくくりは農村で、飢餓の人達がおられるのに大量の輸入食料に依存した我が国の「飽食」状態は！「安全でおいしい食べ物」は日本の大地から」の声に応えよう。

文芸学科 外村 四郎

私の日頃の所感の一端を、短歌に託しましたので披露します。「様々に、在り経来て喜寿を迎えたり。残る世をいかに、我が生くべきか」

生活学科 陌間万幾代

美しく老いたい。まずは心と身の健康を守り、自分の趣味を生かしレイカディアで習った事を教訓に、デイサービスのボランティア活動に寝たきり老人の風呂入れをしています。

文芸学科 野瀬 昭三

二十一世紀の高齢社会において、地域で社会貢献することが求められています。そのためには、健康第一に、体生き生き・心も生き生き、いつも笑顔の毎日でありたい。

生活学科 山本 梶子

レイ大在学の二年間は、私にとつては多くの友情に育まれた長い人生の中で貴重な体験をすることが出来習得したことを地域社会に還元できればと思っております。

文芸学科 大林 淑子

「心に望礙無し」と佛教では言われていますが、六十有余年の生活の中で、心のこだわりをサラリと流して、良い生涯であったと言えるように生きたいと思えます。

文芸学科 金子 良一

卒業後、数カ月しか経っていない。在学中の出来事が遠い日の事に思われる。俳句の宿題等で随分悩んだ筈なのに、人の記憶は曖昧だが、習った事は大切に育てていきたい。

スポレク学科 木村 傳平

昨秋、卒業後支部先輩多数の方々の歓迎会を開催いただき感謝、感激。二十一期同窓生としての親睦と共に、地域、支部での活動にも参加し、生き甲斐としていきたい。

健康にも恵まれて、お役に立つならと町自治会運営に携わる一方、孫との出会いや趣味のスポーツ・旅行などを少しでも長く楽しめるよう、体力の維持に努めています。

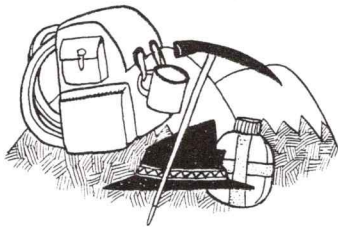
スポレク学科 児島 幸次

新世紀と共に超高齢社会が間もなく来ます。我々は地域おこしや情報交流と交換の場を広げながら、地域で持てる経験を生かし、役立つ奉仕活動を積極的に進めていきます。

スポレク学科 中村 晃温

卒業してすでに半年経過します。今では在学中の同期の皆さんとの月一回の交流が待ち遠しくなりました。この素晴らしい出会いを、何時までも大切にしたいと思います。

スポレク学科 安澤美佐子



湖北支部

第一期生

生活学科 中森志げの
明治四十年生まれの第一期生ですが、同期生が少なくなるうち、お陰で寝込み中で、何等お役に立つことが出来ませんでした。同窓の皆様の活躍を切にお願い致します。

第二期生

園芸学科 北村 勘七
老大二期生で卒業後今年には米寿を迎えました。定年退職後は神社の神職として奉仕の喜びの内に、二十年の歳月が流れました。この頃は誠の道に生涯学習と感謝の生活です。

第六期生

園芸学科 秋野 昇
ポストカプセルの賀状をいただき
茨城県にいる旧友から昭和六十年に投函された新世紀を祝う賀状に感激、今年旧友八十六歳私は八十九歳で元気です。

陶芸学科 北沢 辰夫

晩に拝す太陽今生きる喜び感動が走る。歳末となると何通か知人の喪中の報に接する。在りし日を偲び無情を痛感する。私も一病息災余生を深謝輝く世紀を祈念しつつ…

文芸学科 広部庄太郎

私は九十五歳まで死んではならないと云う夢と意欲を持つている。この生存目標は夢の目標で、夢こそ人間を楽しませ生き甲斐を感じさせるものである。妻の背中に手を合わす。

文芸学科 山階 惠正

学者の統計を見ると、宇宙の生物の数から割り出して人間に生まるる事は、四十兆分の一でしか生れられない。この尊い生命を八十一年も与えられ唯々感謝の生活あるのみ。

文芸学科 藤井 峰子

貴賤貧富を問わず死は逃れられない分からの幸せと。誠意と愛情を以て人と交わり母の背を見てプレゼント人生相手の笑顔が無情の幸。此年迄も生かされ感謝念佛する。

第九期生

文芸学科 押谷 志津

日々、我が子や孫は、とても私を大事にしてくれ、有難い余生を送っております。これ神仏、先祖のお陰様と、感謝致しております。昨日を憶うて今日を識り感謝の日々を

園芸学科 真野 秀男

正月から心臓病で入院、二十日程で退院できたが、気掛かりだった盆栽も、窓辺の寒木瓜が見事な満開で迎えてくれた。保温と灌水に努めてくれた家族に感謝している。

文芸学科 片桐正太郎

私の好きな言葉。らしく等身大期待される人間像の詩いた種が悪かった。楽な気持ちで話せる相手がほしい。今からは遅いなら、もう少し頑張ろう。

第七期生

生活学科 広部 富子

春や春老ゆれば互いの杖となり これは最近の句です。老人大学に夫婦で大津まで通ったのが御縁で、ハワイや、シンガポールの旅行に行けたこと。草川先生ありがとう。

第十一期生

園芸学科 藤居 治

「朝の来ない夜はない」 吉川英治 辛いと思つた時逆境にある時此の言葉で頑張る。「希望は人を成功に導く信仰である」 ヘレンケラー

生活学科 西島スミエ

人は歳月を終えたから老いるのではない。理想を失つたとき老いるのである。年を忘れ同志の皆様とボランティア活動に、生かされる喜びを大切に、がんばっています。

園芸学科 松本 芳雄

好むと好まざるとに拘らず混迷の現代を悔いなく生きることに正に至難の業・倫理に悖ること無きや・を人生の指針として清濁併せ呑む度量を堅持したい。

園芸学科 小林 末雄

新世紀まで生きたい：十年來の願望が叶えられ感無量、今私は生かされていることに感謝、健康である限り、微力乍ら社会奉仕活動に励み、有意義な余生を送りたいと。

園芸学科 田辺 一

昨年十月に、百七十年前に書かれた村の某家の覚え書きを現代語に直して、小冊子を作った。この冊子が、我が村の現代版覚え書き作成の糸口になればと願っている。

園芸学科 大比叡留次

日本の心は、過ぎゆく年と共に消えゆく、新世紀のスタートは、心の問題を国民運動として展開しなければ、心は戻らない、未来を託す若者は救われない、日本は危ない。

陶芸学科 大浜寛一郎

動きが遅くその上すぐ息切れする。出来ることは腰をおろしての草むしり、楽な仕事ではないが綺麗になると気持ちよいいので。そして作陶、小品でも仕上げると楽しいから。

生活学科 前田 恒子

一九二二年十一月生まれの私小学校の時先生が「大きくなったら何になる」に「女飛行士になりたい」と答えた。夢に終わり二十一世紀宇宙への始まり今度は宇宙旅行に希望を。

生活学科 藤森 篤子

暗い世相の中、私に一番の感動、感激、勇気を与えてもらったのは、あのパラリンピックだった。全ての可能性を發揮して頑張り抜いてメダルまで勝ち取られた姿、有難う。

生活学科 北川 きぬ

米寿祝いを同窓の皆様から頂きまして有難うございます。皆様の幸を喜び、家族の健康を我が身の幸と念じて私も生き甲斐に俳句を楽しく作って居ります。今日一日を大切に。

生活学科 佃 清子

八十代を目前に私の好奇心は一向に衰えず挑戦しようとするもう一人の私が頑張りすぎないでこの年では無理よとブレーキを掛けてくれる。心豊かに今を生きたいと思う。

文芸学科 後藤キク子

心身共に健康で、社会安全と、ふれ合いを大切に何時までも時代にあつた老人で生きたいと願っています。今日一日、生かされている喜びを感謝しています。

文芸学科 辻 昭二

少年の凶悪犯罪の多いこの頃、我が家にもこの年齢に近い孫が居る。この中で私の役割は何なのか。空気のような存在？それで居てくれないと困る。そんな爺でありたい。

文芸学科 廣部 正和

戦後無から建て直し経済大国にしたと思う我々世代の者は、大きな負債を遺し人間が安心して暮らす事の出来ない宇宙にした事を反省しつつ、死ぬ迄現役で社会に貢献しよう。

文芸学科 田中 茂

健康に恵まれ、県の環境学習地域リーダー、近江町二十一世紀を拓く住民参加のまちづくり委員、滋賀自然観察指導員などして豊かな自然環境を守るために努めています。

文芸学科 横田 定雄

命を大切にしよう。自分の命を絶つ、人の命を平気で絶つ。この命はもらい受けた命である。完全とはいかなくても十分生かし切ることが今の時代徳に特に大事ある。

文芸学科 山仲 三夫

長生きさして貰いました。今日もおいしく食事が出来て良かったです。足腰が思う様に動いてくれませんので困ります。今日もテレビのもりをして居ます。当年九十歳。

文芸学科 小森 勝子

- ・孫達の 年夫々の 賀状来る
- ・健康を 賜ひ感謝の 初日記
- ・野佛に 風花舞ひて 里しじま

文芸学科 笹原 光子

お正月の句作 福寿草咲いて筆硯目出度かり
一しづく するや朝日の福寿草
福寿草 見て静かなる 命かな

スポレク学科 名内 くに

一生の内而今が青春時代とはりきってスポレク科卒業早十年余りスポーツを通じてゲートボールに余念なく友情、心のふれ合い、余生楽しく感謝の日々を過ごしております。

スポレク学科 堀田 肇

八十歳を迎えて、ミャンマー、インドのインパール等の戦跡慰霊を終えて、現在では寺院責役を始めとして地域活動に専念している今日です。

第十二期生

園芸学科 飯田 隆

二十一世紀の黎明を迎えて時代変遷の早いのに驚くばかり。IT時代携帯電話にパソコン。先ず健康に感謝。一期一会を大切に時代に順応し新時代老いてまだまだ頑張るぞ。

園芸学科 北村 憲一

十年日誌を付け始め、九年分の欄が埋められ、最後の欄の記帳を始めた今。さて来年は五年日誌、三年かと今から思案中。もう一回十年日誌に挑戦するか！当年八十歳。

園芸学科 川崎重兵衛

「明るい笑顔にやさしい言葉、自分の意見を通さずに、ゆ
ずる心に従う心、苦勞は私が致します。こんな家庭に不幸
なし」不可能とは思っても私が挑戦している一言です。

生活学科 (故) 宮本ヒサヲ

今突然の病になり年も年ながら考える事の多い日々です。
老年となつて最も思うことの一つに食べ物です。カルシウ
ムを多く食べることに、これが何よりです。

生活学科 原 まちゑ

お陰様で「まあまあ健康」で楽しく感謝の日々を過ごして
います。新世紀を迎え益々、積極的に前向きに明るく、目
的を持って、生き生きと元気で、好かれる人でありたい。

生活学科 中居 すみ

押絵を通じて卒後十年間交友し立派な作品が出来ました。
南院さん有難う。これこそ老大での出逢いのお陰です。高
齢になつても、いつまでも楽しみが増えました。

文芸学科 伊藤 博成

教育勅語。父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ博
愛衆ニ及ホシ学ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓発シ進テ公益
ヲ広メ国憲ヲ重シ国法ニ従ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉ス

スポレク学科 小川 義一

二十一世紀が開幕し、IT(情報技術)時代となり、昨年
傘寿を迎えパソコンを購入した。インターネットでメール
の交換が夢。現在猛勉強中。講師は小学五年生の孫。

スポレク学科 上橋 静代

気は若いが体の老化が進み赤信号です。そこで夕食の準備を
引き受け趣味の生け花を習い旅に出る等充実感に燃えていま
す。老いて一歩踏み出し老化を「老花」に変えたい心境です。

スポレク学科 西堀百合子

昔は無病息災といわれましたが、今は一病息災だそうです。
今では後者の方で、家族のみんなに支えられ、一人の孫の
お陰で生かされています。孫と毎日語り合いながら。

スポレク学科 小山 巖

面倒と機械止めずに作業して大怪我なりて自己持ち致し
こまやかに身体を使うは老化防止と健康の因
私の心に常に留めおく事項としています。

スポレク学科 大塚 信行

私も七十代半ばに達したがまだ元氣。学びたいことが沢山
あり地域の各種生涯学習講座に積極的に参加し、余暇には
読書、残りの人生を有意義に過ごしたいと思つている。

第十三期生

園芸学科 山口 正典

此の頃、朝、目を覚まして、異常がないと分かると、ホツとする毎日です。幕が明けたばかりの二十一世紀が平和である事を、ただひたすら願っております。

園芸学科 西川 修

健やかに老る 二十世紀の八十パーセントを生き激動の昭和を乗り越え、二十一世紀を迎え、さてあと何年生きられるか。心身とも健やかに老りたい。

生活学科 百々 久子

古希を迎え健康づくりには運動、栄養、休養をと取り組みボケない為に先ずは新聞、読書、仲間作りとして会話を楽しみ、くよくよせず、ストレスをためずにして居りましたが、年には勝てず。

生活学科 吉田まさる

同じ字の主婦で作っている 味菜クラブの一員として毎年町内の独居老人や、父子家庭に配付されるおせち料理を福協より依頼され作り続けて、今年で九年目になります。

生活学科 豊田 愛子

「知足者常富」。この言葉が好きである。適度な欲望は向上心となり、生活も満たされる。不相応な欲望は、常に心が貧しく、満足という感謝を得ることが出来ない。

生活学科 田部 梢

二十世紀から二十一世紀にかけて、主人八十歳にして家の改築に取りかかり、完成間近になっています。二〇〇一年に新しい家に入ることが出来自分も喜寿を迎えました。

生活学科 鈴木 明美

年末実家の弟が他界しました。日頃は親しい付き合いで身内との別れる淋しさは又格別です。これも年齢のせいでしょうか。常に健康に心掛け生かされている喜びを頂きたいものです。

生活学科 北澤みつる

滋賀県レイカディア大学生十三期生として当時十九名でしたが一人去られ十八名となりその年の名にふさわしく十三の会と名付け年毎に一回順番でクラス会をしております。

文芸学科 朝日 貞

・老ひし身も軽く装い初鏡 ・まな裏を友の笑顔や月冴ゆる・水すみてハリヨの住める里ひそと ・寒の月玻璃戸くぐりて暫し佇つ ・朝まだき月のかかれる大冬木

文芸学科 河路 寛

最近の生き甲斐は国宝維持保存協賛会の一員として十二年目を迎えます。全国からのお詣りの方々との出会いを大切に健康第一を心得て後暫く勤めたいと念じて頑張っています。

文芸学科 村上 善富

いつの間にかやうら八十歳を過ぎております。老後の人生は、唯「一向専念無量寿仏」の日暮しでありたいと念じております。

文芸学科 山内 一好

「新世紀に余生をつなぐうれしさを、友と喜び話のはずむ」漢書に「人生は朝露の如し」とありますが、互いに励まし合い卒後早九年、日々感謝して過ごしています。

文芸学科 磯崎 道子

長い上り坂が終わってやっと快い下り坂にはいったのだから、一日一日ゆったり味わいながら楽しんで生きていこう。「いつでも今が一番幸せ」と思いながら。

文芸学科 藤橋 稔

レイ大生としての二年間は楽しい事ばかりで新しい体験や趣味を更に深め充実した毎日でした。卒業後学友達と楽しい交友ができ闘病中ですが日々感謝に暮らしています。

スポレク学科 青山 敏雄

私の健康法①地域活動に参加②野外活動、年間五十日のウォーキング、月一〜二回のゴルフ、グラウンドゴルフ③旅行、年間十日余り、歴史と文学の趣味仲間に参加、④適量の酒

スポレク学科 田部 芳造

昨年は、家屋改築を実施、心配と不安、不眠等でストレスとなり心配したが、この為か高脂血症が好転し、コレステロール、中性脂肪値が正常値となり有難いことでした。

スポレク学科 藤井 正一

自分の執心に明け暮れて、小刻みな予定に追われている事が生き甲斐と納得していたが、最近八十歳を目前にしいつしか花鳥風月に身体が添う様に変化してきた小生の昨今です。

スポレク学科 中川志げ子

云いたい人には言わしておく。嫌なことはすぐ忘れる。お役ご免でストレス解消。のんびり暮らして体調良好。でもこれでは呆けるかな。精々お洒落をして元気に生きよう。

第十四期生

園芸学科 中西 時夫

卒業して八年習った松梅隆々生き友もできもう一度入学して勉強したい気持ちです。今は父祖からの山を育て題材として短歌を習い古文書を学び我が家の歴史を繙いています。

園芸学科 土田 秋夫

世界一の国の財政赤字、そのつけは総て国民の負担に、吾々の日常生活にひしひしと押し寄せて来る。これからは孫、子のためにも耐える心をと申す此の頃である。

園芸学科 辻 清治

輝かしい二十一世紀を迎えて元気で暮らしています。日曜日に町内の老人の方々と輪投げや玉突きなどほけ防止に務めて喜ばれています。私はグラウンドゴルフを週二回健康のために：

園芸学科 宮下 義雄

来年四月で満八十歳になります。これを機に農協、農業委員会他の公私の役職を辞任し、二十三歳の若さで沖縄決戦で散った牛島部隊戦友の墓参りにもう一度行ってみたい。

生活学科 松村 敏子

「お元気ですか」の問いかけに「はいおかげさまで」こう云える幸せをかみしめて：十年來の和紙ちぎり絵とその友達の輪をいつまでも大切に願っているこの頃です。

生活学科 西村てる子

身を削り人に倣さんすりこぎのその味知れる人ぞ尊し、昔永平寺を参拝した時、目にしたうた心に響きました。現在町のボランティア活動に参加して生き生き過こして居ります。

生活学科 西堀 薫子

私が目標にしている文です。人として生きる以上、恩を恩で返すのは当然の事。仇を恩で返すことは難しいけど、それが出来る人間になれるように努力だけは惜しまない。

生活学科 久米 崇子

住めば都で毎日が楽しく幸せを感じて居ります。それはお世辞を云わない自分の言葉には責任をもつをモットーにして暮らしてきたのが良かったのではないかと思つて居ります。

文芸学科 松本 君代

あと暫くの人生なのに、いつまでも元気でいられるような心が抜けきれない毎日です。「仏法には、明日と申す事あるまじく候」蓮如上人 一日一日を感謝しています。

文芸学科 辻 その

空晴れて練習なしの運動会老いてもはしやぎ出番を待てり球打ちて冴ゆる響きと手ごたえはホールインワンと……畑を堀夫つまと二人で苺苗つまようやく植えて夕日おろがむ

文芸学科 間所 守

戦前、戦中、戦後様々な思い出を残して我々の二十世紀は遂に終わった。そして奇しくも新世紀を共に傘寿を迎えることが出来た。「何はともプラス思考で八十の春」年頭句

文芸学科 間所 喜代

僕の親は僕が看る妻はこれからやりたいことをやればいいと定年後単身帰郷し母を看られている紳士あり。奥様も応える如く最近本を出された。この夫婦に拍手を送る。

文芸学科 雨森 多鶴

第十五期生

園芸学科 一柳忠太郎

悠久の歴史の中二〇〇一年という新世紀を平和で迎えられた事感謝せずにはいられない。人間しか話せない言葉を大事に、やさしく傷つける事生きたいと願っています。

朝、夜は明ける。日は東に昇る。雨、天から。水、低きに流れる。父母がある。親となり、子を慈しむ。当たり前。天地自明の理。人、すべからく大道を歩む事を願うのみ。

文芸学科 武田 久雄

園芸学科 川崎 傳蔵

私の健康法は「しめじの酢漬け」を常食としている事であろうか。勿論自家特製これを食べる様になってから体が軽くなつた様だ。又元来の高血圧症の改善も見られた事だ。

「立派な人偉い人も良いが、謙虚な人になることです」この言葉を座右の銘として、日々報恩感謝の気持ちで一日一日を大切に過ごしており、本当に有難いことです。

文芸学科 木村 諄子

園芸学科 松本 睦美

私の人生での節目となつたレイカディア大学、それは短歌との出会いがあつたからです。よき師に恵まれその道を一途に歩んでいます。いつか歌集出版をと夢見ています。

いよいよ新世紀に突入。現役引退後十年。古稀の意義あるとし、今年は氏子総代（筆頭）など地域活動に、気持ちを引き締め健康に留意し、感謝の日々を送りたいと思います。

文芸学科 室 邦夫

園芸学科 弓削 隆

芭蕉翁に倣いていえばいかにも僭越ですが、このところ折々に伊吹を眺めての冬籠もりを楽しんでいます。次いで私の好きな翁の一句。「よく見れば薺花咲く垣ねかな」

今年は七十七歳喜寿を迎え喜の年です。母も子も元気です。百を五つも 越え生く母と 喜び合うてる 儂や喜寿
平成十三年正月

スポレク学科 西田 清納

園芸学科 服部日出男

好きで習い始めた習字で「鉄道唱歌集」「近江万葉集」「皇室の御歌集」を製本することが出来ました。今の境遇を感謝し良い足跡を残せる様に日暮ししたいと思います。

「五省」一、至誠にもとるなかりしか。一、言行に恥ずるなかりしか。一、気力に欠くるなかりしか。一、努力にうらみなかりしか。一、不精にわたるなかりしか。

生活学科 高山かをる

長浜市とドイツアングスブルグが姉妹提携をして四十周年を迎え、日本の伝統文化を紹介する親善使節団に参加させて戴けた事は私の生涯忘れぬよき思い出となりました。

生活学科 西川チキ工

レイカディア大学のますますのご発展をお祈り致します。趣味は読書で、健康管理には、午前中は町内を四十分位散歩して、足腰が弱くならぬ様に頑張っています。

生活学科 森 久子

卒業して早七年目を迎え、在学中はとも元気でした。今は体力も衰えましたが、家族に迷惑を掛けないように、色々と健康管理には尽くしています。幸せな余生を送りたいです。

生活学科 古野 芳子

私達夫婦の先ず第一の目標は二年後の金婚式を無事迎えた事です。お互いに一病息災を願って地域活動・趣味にと皆さんに迷惑を掛けずに余生を送りたいのが私の願望です。

生活学科 藤居三重子

辛巳の色紙、木目込、ちりめん細工と今年も賑やかに飾ることが出来ました。仲間十三人の家も勿論の事です。レイ大で梅本先生に教えて頂いたおかげと感謝しています。

生活学科 土田 貞子

一冊の写真ブックを開いて見た。入学式、講義、運動会、旅行、卒業記念後は、観桜会やクラス会等、多くの人にお出合いさせて頂き、感謝している今日この頃です。

文芸学科 久保田 稔

「私の健康管理」①食生活を楽しむ。②禁煙と規則正しい生活。③余暇や趣味を楽しむ。④頭や手足を使う。⑤人ととの交わりを大切にする。以上を座右の銘とし実践する。

文芸学科 箕浦二三子

気苦労から解放された第四の人生レイ大時代、出会いの喜びと充実が一番輝いた宝物。手ほどき受けた俳句と書が趣味程度乍ら、新世紀第五の人生の杖として峠までのみちづれ

文芸学科 杉山 幹三

新世紀を迎え私等の生きてきた激動の時代は遠い昔となりました。戦争を体験し貧しい時代を一生懸命生き抜き今豊かな時代に文明にもついていけず喜寿の歳を迎えました。

文芸学科 角田 はる

両指が資本と言いつつ美容師の息子が凝らし肩もみくるる職退きし夫とわれとは趣味違い錠一つずつ持ち出てゆく二十余年和紙をちぎりし人差し指いたく曲りて痛みの激し

文芸学科 北野 勇作

本年喜寿を迎えて、微力乍ら湖北支部の機関誌こほくの編集委員として、地元山東町の町づくり第六部（老対）サブリーダー及びボランティアガイドとして活躍しております。

スポーツ学科 尾木 輝雄

健康のお陰で私は町の社会教育委員長として各地の交流会や、社会教育の推進に励んでいます。又県立長浜ドームの健康体操教室にも出掛けニユースポーツを楽しんでいます。

スポーツ学科 川合喜久子

時の流れに節目はないけれど、新世紀を迎え初詣をすませて、心身共に清々しい。今年も元気でボランティア、スポーツ、趣味に頑張って心豊かに暮らしたい。先ず健康。

スポーツ学科 粟津 貞子

動乱の激しかった二十世紀を健康で不自由なく生活させて戴けた事を喜び感謝して居ります。残りの日々を人との触れ合いを大切に一つでも人の役に立てたらと願います。

第十六期生

園芸学科 松村 和雄

謡曲を始めて二十年近い。同好の会を鶯吟社と云い、月に一回の例会がある。詞章は幽玄にて難解な所もあるが、古に学び、謡う時の緊張感が良い。生涯続けていきたい。

園芸学科 宮崎 良夫

傘寿を過ぎ二十一世紀は始まった。過去百年世界日本また私にとって如何なる時代を過ごしたかを反省し、今世紀は融和に励み世界に劣らぬ私として確かめ、外されない様に。

園芸学科 池田 進

レイカディア大学米原高、園芸学科を卒業させていただきすでに五年。今年は地区老ク会長として「会員六十数名」老骨に鞭打ち、精一杯努力させてもらっています。

園芸学科 眞壁 清

二十一世紀幕開けの元旦を迎え家族一同健康で特に夫婦揃ってこの喜びを分かち合える事感激に堪えません。今後は今迄交流を願ってきた人々の絆を大切に一層交流を深めます。

生活学科 岩本 玉子

健康には自信のあった私ですが年齢を重ねる毎に足腰が弱ってきて家族からは「無理するな」とブレーキをかけられながらも細々と「ボランティア」を続けております。

生活学科 筑田 和子

新世紀の元旦を健やかに迎えられた事を喜んでおります。積もりて消ゆる雪をば友として東風を待ちつつ梅は膨らむ。皆様のご多幸をお祈り致します。

生活学科 大村 敏子

音楽音痴の私が大正琴に出逢つて五年、二年前に名取りのお免状を頂きました。古希を迎え物覚えも悪く指の動きも鈍いけれど上の階段を昇るべく目下挑戦中です。

文芸学科 田中 君恵

七十路を歩み始めて早幾年か振り返り見れば、私の足跡り恐ろしく、残りの人生如何に夢見て毎日の生活をすればと考え、ジョギングに感謝し一日の終わる今日此の頃です。

生活学科 山本佐代子

町の趣味講座に通つてもう十年近く、詩吟、民謡、古流と大変楽しく、又、家では端切れを集めて押し絵を楽しんでいます。年老いてもいつまでも趣味を楽しみたいです。

スポレク学科 中西 弘子

私の一生には、まだまだ余白が残っております。二十一世紀に生きる感謝をし、しっかりと前に向かって人生の余白を埋めていきたいと思っております。

生活学科 久米 綾子

野花咲き新緑の映る頃には、大空の下で、田畑耕せる喜び。冬籠もりは日向ぼっこで毛糸編み、寄り来る孫は情け深き人にと願う幸せ。

スポレク学科 松井 好枝

元気な夫婦暮らしを喜び、県退職女教師会長、町赤十字奉仕団委員長、行政相談委員、レクダンスや生命の貯蓄体操指導等、笑顔でふれあい感謝の日々喜寿を迎えた私です。

生活学科 塚村ソトエ

町老ク連婦人部友愛活動の一環として、坂田青成苑のガラス拭き、又雑巾縫いをさせて頂き、又年末寝たきりの方の訪問にと、毛糸で可愛い犬の講習を受け一石二鳥の一日でした。

スポレク学科 篠田 敏枝

卒業以来、スポレク科のボランティアに参加し、地域においては、三つの公民館を拠点に高齢者の健康作り、レクリエーションダンスを共にし、楽しく頑張つて居ります。

生活学科 岩島 ふみ

レイ大を無事卒業出来た事。思えば皆様方や亡き主人の応援があつての事と深く喜んでいます。今は地域の老人との交流もあつて夢も実もある。絵手紙文通をしています。

スポレク学科 平居千代子

アルバムをめくるたび、高遠沖縄研修体育祭が走馬燈のように早や数年が過ぎ去り、同級の月一回の定例会現在迄続いています。地区の行事等参加、楽しく生活しています。

スポレク学科 岩根 知子

二十一世紀が始まった。元日は年賀状が待ち遠しい。最近では自作の絵、版画等楽しめる賀状が少なくなった。ともあれ「元旦は楽し」気分一新して一日一日を大切に過ごしたい。

スポレク学科 廣田安太郎

二十世紀よさようなら。翻って鮮明な思い出は若き日ポートの練習で汗を流した、浜大津より膳所沖は埋め立てにより、大津のメインストリートに激変、正に滄海桑回です。

スポレク学科 鈴木 栄子

この頃私は、自分の心をライバルにして暮らしています。ひっこみ・弱気・ねたみ・根気等々、マイナス心に勝つことと、自分を見つめて行動するよう常に心掛けています。

第十七期生

園芸学科 大橋 栄

父逝きてからは老母のまず額・手を当てて見つ厨にと立つ介護せし母はベットに眠りいて、駅の明りで夕餉すましぬ介護受く身に骨折の重なりて賀状の書けぬ吾を氣遣う

園芸学科 大林 忠治

NHK屋久島二十年のプロジェクトXはS三十五年頃より伐採裸山にするを不可と、若者二人が故郷守る会を苦勞して発展させて伐採禁止。今世界遺産に登録。県に空港は不要。

園芸学科(故) 小川柳太郎

肺癌の治療後、肺の機能が弱くなり、在宅酸素療法と外出時は酸素ボンベを共に酸素を補い吸入しながらの生活です。他人事ではなかつた癌、年老いて特効薬なし。

園芸学科 川井 一雄

レイ大を卒業して四年が過ぎ去りました。此れと言つた事は出来ませんが、当大学で学んだ正月用寄せ植えを福祉センター等へ出品して、皆様の憩いの場所となりますように。

園芸学科 川村 勝

床に伏してから二年、いつも会報を読ませて頂き、元気で第三の人生を勉強させて頂いた頃を思い出し、健康で身体を動かせた事に、今しみじみ感謝の日々を送っております。

生活学科 藤川恵美子

二十一世紀の年の始めに当たり、健康第一に出来る限り奉仕活動に参加し、地域の交流を深めるために、暖かい心で一声運動に協力して少しでもお役に立ちたいと思っています。

生活学科 石野 綾子

遠くに暮らしている私にとって始めての曾孫。かわいいコートの中でこつそりと抱いてもらって、じつとみんなを眺めている。どうか健やかに幸福多からん事を祈ります。

生活学科 日比美智子

二十一世紀を目前にして、ワープロよりパソコンにバトンタッチ、時間があればパソコンに遊んでもらっております。趣味やボランティアもしながら。只今、六十六歳。

生活学科 藤田つゑ子

元気で新世紀を迎えられた事に感謝すると共に、今年も好きな大正琴や趣味で楽しく過ごしたい。年毎に衰える心身を励まし、前向きな考え方で生きられるように願っている。

生活学科 眞壁 きぬ

大正昭和平成と移り行く二〇〇一年迎え高齢者社会とか世界一長寿国とか言っています。これも恵まれた尊い命です。一にも二にも健康第一です。自分の体は自分で守りましょう。

生活学科 山岡美和子

新世紀を迎え、新たな気持ちで一步を踏み出しました。子ども達や高齢者、多くの人々とふれ合い、共に学び支え合いながら、温かい心の交流を深めたいと願っています。

生活学科 室 慶子

体の声を聞きながら楽しく走れたと語った高橋尚子さん。古希をも過ぎた身は、常に悲鳴にも似た声を聞き洩らさずいたわりなだめつつゆつくり完走したいと願っています。

文芸学科 藤井美代子

マネキンの服を脱がせて吾着むと心うきうき旅用意
百選の寒九の水をもらい汲む 箒目乱れぬ庭や寒牡丹
朝寒や美容院まだ訓辞中 OB会満面の笑み花宴

生活学科 西川 初枝

お目めもこつち向いてお話して「ボク、ママにあいたくて生まれたんだ」三歳の坊やと母の会話、心和む昼下がり。三歳女を捨て餓死させた親、地球上であつてはならない。

文芸学科 三輪 省一

気はながく、心はまるく、腹はたてず、口つつしめば、いのちながかれ。机辺にある〈養生訓〉の言葉である。一病息災の此の頃、あせることなく、歩み続けたい。

生活学科 林 よしゑ

主人憲雄昨年九月短期間の病で永眠致しました。皆様には大変お世話になり有難うございました。亡夫は健康を確信して居りましたが、一病息災が長生きの秘訣だと思えます。

文芸学科 太中 濱子

一月五日、十一日、十五日デイサービスボランティア雪が降る中にもたくさんの方が集まって下さってスゴロクや歌を歌って一日を楽しく過ごさせて頂きました。

文芸学科 横井子ヨノ

今、書と詩吟のクラブに毎週出ております。無心に字に取り組んだり、大きな声で吟じる時、年令を忘れていきます。健康と仲良しでありたいと願っています。

スポレク学科 田中 千代

悲しみも喜びも常に苦勞と共にあった私の七十二年、今新世紀の初めに立ちしみじみ幸を味わい、貴重なこれからの生命をしっかりと地に足をつけて全うしたいと思います。

スポレク学科 西川 寛子

主人を亡くして、しばらくは火が消えたようでしたが、ようやく元気が戻ってきた所です。私の青春は、楽しいレクダンスをして、最高のパパに見せてあげることです。

スポレク学科 古沢富士栄

年令を重ねる毎に色々直面し私事夫が十三年一月六日に永眠し涙の日々を送って居ります。皆様に支えられながら前向きに日々努力したいと、ひたすら願って居ります。

スポレク学科 藤居 繁夫

卒業以来早や四年、毎月の交流会と年一回の親睦旅行と、いつまでも消ゆることなく継続けるこの友情、IT時代に次ぐ宇宙時代までも手を携えて生きん。

スポレク学科 廣部 修三

豪快に生きられる人も幸せ、ささやかに生きる人の楽しみもあつてよし、それぞれ幸せな人生ではないか。今を感謝しながら長くも短くも、二十一世紀を見つめたい。

第十八期生 園芸学科 佐野 昌一

人為的に地震防止は出来ないが被害を最小限に止める策はあるはず、行政住民共に協力し、総智を集め再急務最重点事項として行動すべき時と思います。―震災展を見て―

園芸学科 清水 武志

「人生は長さではない。深さであり広さである」との教えがあるが、前世紀七十年の人生を、反省し、今世紀、余命有る限り、深さと広さを求めて、歩んで行きたい。

園芸学科 川邊 美門

人間は前頭葉を發展させて地球生物の頂点に立った。同時にそれは自己破滅の矛盾をも抱え込んでいる。新世紀はこの矛盾から脱却できるのか。そんな愚考しきりのこの頃だ。

園芸学科 野瀬 育雄

卒業後は、地区内の神社境内の樹木の剪定や、年末には石台を作り集会所に持参している。今後も、幽玄の世界を表現できる作品を目指して、努力する決意でいます。

陶芸学科 田中 亮次

私はレイ大で学んだ「生かされて在る命」を座右銘に、陶芸が障害者のリハビリになればと病院でのボランティアに参加している。後々続けたいと思っている。

生活学科 大澤 治子

前世紀の話。三歳の妹を背に十歳の私の手を引き、ソ連軍の機銃掃射を避け、ソ満国境より辛苦の末故郷へたどり着いた母。今介護度③の痴呆で何を思う。

生活学科 田辺 和栄

毎年十二月になると、松江の名物津田カブの漬け物が我が家に届く。ボランティア活動で一緒だった友人からの贈り物で、十数年今でも続いている友情に感謝して頂いている。

生活学科 樋口えつ香

レイ大に入学させて頂いたお陰で多くの友達に恵まれて、今手芸を通して充実した日々を送って居ります。出来上がった作品は廻りの方々に喜んで頂き感謝して居ります。

生活学科 河上 京子

卒業以来三年有余、お陰様で元気な日々です。月に一度、当時のクラスメートの有志で手芸の橋本先生を囲む集いを持ち、ご指導を受け乍ら楽しく旧交を温めています。

生活学科 草野 治子

戦後を境に物の豊かさのみ急ぎ、心の豊かさを等閑にし、昔の言葉も通じない事実が今の世となったと思います。今より皆で心の豊かさを大切にして明るいい世になりますように。

文芸学科 八島 龍子

レイ大の二年は果つもおいらくの青春のごと懐かしかりき座禅草訪ねし人の靴の跡あまた重なりわれもその上に岩絵具もて画かれし巳高寺の牡丹紅「お市」を語る

文芸学科 松井 茂雄

夫婦二人きりの生活は、気楽で快適であるが、迫り来る老いを前にして不安は隠しきれない。今では極めて健康である。この健康を維持する為に、運動・趣味に忙しい。

文芸学科 吉持 操

「花のなき狭庭の午後に陽の射せば紅梅の蕾ふくらみ初むる」時代は変わりましても歌を詠む楽しみがあるかと思ひ、拙なき短歌の勉強を続けていきたいと思ひます。

文芸学科 辻 しずゑ

言葉つて難しい。先日お見合いの返事「この話いいです」一瞬OKかと思った。NOである。又友達が「頭が痛く困っている」と言う。私「頭の悪いのは辛いネ」大失言である。

文芸学科 中瀬 冬子

レイカディア大学に入学させて頂き文芸学科にて短歌、書道を教えて頂き、卒業後の今も月一度皆様と短歌の学習会を持ち何よりの生きがいといつ迄も続く事を願っています。

文芸学科 中島 トキ

突然の病氣入院平成九年九月卒業式も出られず悲しい思い出。現在は体調も良く庭に草花を植え季節に咲く花を育てる楽しさを味わい、今日一日生きる幸せに感謝して居ります。

文芸学科 蒲生 芳子

「真心込めてご案内」私が所属する長浜観光ボランティアガイド協会のモットーです。真心を込めるには知恵を働かせお客様の気持ちを汲む。健康で活動できる事に感謝。

文芸学科 堤 利尚

長浜別院に奉職して三年になります。浄土真宗とはどんな教えかと尋ねたら、「歎異抄」には「本願を信じて念仏すれば必ず仏になる」と、教えられています。

文芸学科 梅本 祐正

定年退職後、二つの目標を立てた。その一つはC宗の教師資格取得を二年で、その二は日本百名山完登を五年半で、その三は短歌書道をふまえて明るく楽しく生きたいと。

文芸学科 堤 幸子

- ・露深し書の講座に友誘い横山ぬければからりと晴天
- ・友愛に老人介護の講座受く老人のわれ推進難し
- ・病弱の体になるも忙しく趣味に生きたし続くか今日も

文芸学科 斎田美悠紀

長い間働きの世界で趣味も持たず寂しい自分であったが、レイカ大学文芸科に入り六十五で始めて六種類の書を習い協会に入り初段の免許を頂き新しき年を迎える楽しき日

文芸学科 小谷 敏夫

卒業後も継続して短歌を学ぶ「さざれ石会」の一員として毎月一回、小西先生のご指導を頂き、又、年二回の親睦会にも参加して懇親を深め向学心の高揚に努めております。

文芸学科 堀江 敏子

最近読んだ本の中で感銘したのは、椎名誠の「岳物語」という私小説である。岳は息子の名前。父親と息子の関係の原点を見た思いである。教育過剰の親は一読されたら。

文芸学科 柴田 弥蔵

何を望まむ

この上に何を望まむ妻を辺に子夫婦つどひ孫膝におき連れ添ひて長しと思ひ短しと思ふ日もあり四十いくとせ

スポレク学科 篠田 茂

卒業後、「楽々会」を結成、月一回、地域を変えダンスの練習、体が覚えていて、間違つてもすぐ思い出す。互いの健康確認と一汗かいた後の語らいを唯一の楽しみをしている。

スポレク学科 菖蒲池季子

白内障の手術を受けまして視界は明るくなり何でもよく見えて有難いと思います。老人になり若い人から疎まれる様になったが何でも挑戦する勇気がわいてきた様です。

スポレク学科 草川 澄子

二〇〇一年に実行したいこと

「報恩感謝」思いやりの心で、健康に気を付けて、明るく過ごすように常に心掛けます。

第十九期生

園芸学科 大塚 陽一

ゲートボールを健康管理の中心においている。適度な運動量、練習の継続効果、頭脳の刺激、仲間作りなど、若さを保ち気力を高めるには、これに勝るものはなし。

スポレク学科 平井 利江

独身となつて三十七年子供達も私も健やかに今日まで生かされて感謝しています。老年になりスポレクの皆さんに、生き甲斐と幸を頂いて、明るい笑顔で新世紀を迎えました。

園芸学科 大家 永次

生涯感動・生涯青春。戦争中に感じた事は未だに明らかに思い出される。考えた事は忘れるけれど、感じた事は生涯忘れない。五感を活かし、青春を持ち続けたいもの。

スポレク学科 岩崎ふさ子

先輩を始め地域の皆さんとレクダンスを続けています。難しいダンスには苦勞しますが、みんな笑顔でとても楽しく、さわやかな汗を流しています。

生活学科 鎌田ムツ子

『水資源』①洗濯はなるべく液体石鹼を使う。②汚れた食器、フライパン、鍋等は一度紙や布などで拭き後洗う。③米のとき汁は流さず植木や野菜にやると液肥になります。

スポレク学科 若林義太郎

昨年の後半は体調を崩し健康の大切さを痛感した。本年はお陰様にて喜寿を迎え、心新たに年令を考え、一日一日を大切に健康管理に努め、生き甲斐の有る日々を送りたい。

生活学科 三浦 文子

昭和五十五年の歌会始にはからずしも佳作にとつて頂きまして唯一の趣味として続けております。ボケ防止のために下手乍ら今後も作つていきたいと思つております。

生活学科 高山なみ江

世は正に科学万能時代、小中学生に「電脳中毒症」が出る程に革命進化の世の中、だが私は野仏を拝み木仏を頼る愚な仕業と笑うも良し、見る人の心に任せて生きる。

文芸学科 高田 正之

今年は二十一世紀幕開けの年であり、いよいよIT時代の到来宇宙への旅も近いことであろう。楽しみである。私は孤立することなく健康的な生活を送れるよう努力したい。

文芸学科 吉田 吉己

レイカディア大学で学んだ「書道」を趣味として、卒業後引き続き勉強しております。今後目標を持って、人生の生き甲斐として続けていきたいと思っています。

スポレク学科 川部 寛子

レイカディア大学に入学して以来、もう四年が過ぎました。地域活動、一求会の例会、いろいろと趣味にも忙しくて、年を取る暇もないくらい毎日が充実しています。

スポレク学科 北川 皓三

昨年十二月から、近江町老ク連の創造推進員をやっております。趣味の社交ダンス、それに孫二人の塾やプールの送迎に結構忙しい毎日です。

スポレク学科 川井喜久子

体力は年々落ちていきますが、地域の方々との出会いにより輪が広がり、心の持ち方で毎日が楽しく、笑いを振りまいております。一生の内が一番楽しい時期だと喜んでます。

スポレク学科 川村 静子

ヘルパー二級の修得を終え、老人介護にお手伝いできることを希み、自分の老いもじつと見つめ友に余生を楽しく望みを持って生きてゆくことを目指します。

スポレク学科 北澤 重雄

我々の少年期には無かった悲しい事象が多発している事心が痛みます。親が子を、子が親を、又無差別殺人と尊い命が失われています。二十一世紀は無くなる事を祈りたい。

スポレク学科 中川 政雄

レイカディア、スポレク学科に学び、健康作り、仲間作り、グループの中で個人を高め時代にふさわしい生活の仕方生きがい創造することなど生かしたいと思っています。

第二十期生

園芸学科 橋本 保子

大事な大事な旦那さん、畑に行くのもいっしょ、ゲートボールにもいっしょ、町のシルバー体操にもいっしょ、今後は達者な間に、思い出になる旅をと思っています。

園芸学科 藤田甚兵衛

レイ大在学中に地域振興策として、近江歴史回廊大学の開設を知り、第二回生として戦国の道の募集に応募し入学を許され昨年十月に入学し今年九月無事卒業しました。

園芸学科 藤居 義男

土を愛し、土に親しみを持って、堆肥作りに励んでいる。完熟堆肥を施せば土は蘇る。「土は生きている」ことを知り、土と共に生きる心掛けて有機栽培を目指しています。

園芸学科 髙田 忠則

山林整備プロジェクトの会員に加えて戴き、草刈り、薪作り、落ち葉掻き、伐採、キノコ植菌用原木作りと気持ちの良い汗を流して頑張つて居ります。緑豊かな里山に蘇らせるために。

園芸学科 藤居 長治

新世紀

新世紀夢は大きく火星ドームの野菜づくりを見て死なん

園芸学科 安食 昭雄

最近読んだ本の中で「如薪尽火滅」という文章に出逢った。「生涯現役」という言葉も大好きだ。先の文章のように完全燃焼したい：これは我々の共通の希いだが果たして？

生活学科 西脇 義雄

レイカディア大で学んだ意欲をいつまでも失わずに、心の灯として自らの目標を定めてチャレンジし続けて悔いのない意義ある人生を歩み続けたい。学ぶことは生きること。

園芸学科 江竜 昭

新世紀こそ「タガ」の外れた日本が本当に立ち直ることを願ながら、余生は楽しく人に迷惑をかけないで出来れば人様のお役に立つ様生きればいいなあと思うこの頃です。

生活学科 武田勢津子

日赤奉仕もみじの中に宮内庁。時を超えダイヤの如き豆を干す。落ち葉踏む愚痴は畑の隅に埋め。落ち葉踏む北風厳し舞となり。時を超え報恩講話とかぶら汁。

園芸学科 木部 五郎

人は優しさと思いやりでお互いに支え合つてこそ生きるのです。人を思いやる配慮人として当然の勤めであり、田舎では困った時はより絆が強力になるのが隣人愛なのです。

生活学科 山本 春男

今に生き続ける近江商人の家訓「三方よし」、この六十余年に頂いたもののお返しをする行動が、生き甲斐であり、ボランティアだ。と言ひ聞かせています。

生活学科 戸之洞貞夫

現在、長浜市の高齢者健康福祉計画策定委員及び、公報委員として活動の傍ら、自らの意思と考えを充実させるべく、目下、地域福祉ボランティアに精を出しています。

生活学科 倉谷 喜美

初暦 茶の間に掛けて十二月。 新しき世紀の門出日記
買う。 うるわしき 年賀のたよる 和み読む。
ばら色に 空をそめつつ 初日の出

生活学科 三家多賀成

二十一世紀が地球環境破壊の不当競争と世界制覇論理を克服し世界人類から目に見えぬ微生物までの共生を凶れるかは紀序と摂理を含む自由と自然な自制的実現に懸るでしょう。

生活学科 島田美代枝

カプセル郵便が届いた。十五年前に二十一世紀を幻に見ながら書いたものだ。今改めて生かされて来た恩を感じている。以後は「我も人も幸せ」を願って生きたいものだ。

文芸学科 吉田 芳子

最後の勉強にとレイ大に入学。ここで始めて短歌に出合いました事は幸であったと思います。今、歌を作る楽しみと苦勞の中で過ごしています。勉強はまだまだ続きそうです。

文芸学科 澤渡 和子

私はレイ大で意欲的に前向きに考えていくことを学びました。二年間に学習したことを生かし、今後は地域の人達と共に充実した日々を過ごしていきたいと思っております。

文芸学科 山路きく江

思いがけなくも先輩レイ大卒業生の大澤さんが、誘って下さり、文芸学科に入学のお話を頂き二年間無事に学ばして頂き感謝しております。現在OB会で短歌書道学習中。

文芸学科 伊藤 うの

八幡宮に二十一世紀安らかれと祈る拍手しじまに響く
生かさるる命いとしみ巳年明く二十一世紀割れ喜寿の年
生き甲斐に習ひし手作り紙芝居勇みて行かむ山峡の村

文芸学科 北村 和子

亡夫の友の受賞の宴席に代わり座し脳裏を霞むる夫の笑顔は仰ぎ見れば冬の満月皓々とわが行く道を照らし給うや
陽の差せる露天風呂に寛げば七十年の遠く偲ぶる

文芸学科 三輪 幸江

せず字のばして胸張って、チョッピリおしゃれもしてね！
なんて言ってるのです。前向きに二十一世紀への一步を踏み出したく思います。

文芸学科 石本喜久代

私にとって六十歳代は七十歳以後の準備期間。今まで続けてきた音訳ボランティアと草木染め。地域でのボランティアも。その為には健康に気を付ける事と思っている。

文芸学科 溝口 清栄

同窓会の皆さん今日はお元氣ですか。レイ大を卒業して一年と四ヶ月早過ぎました。健康に留意して長生きしよう。短歌初春の二千一年生きぬかんいつまで生くん輝きいかん。

スポレク学科 島村 淑子

私の好きな言葉・健康・感謝・私の宝物です。健康に恵まれ周囲の皆さんに支えていただき一日一日を感謝して、ボケないよう楽しい毎日を過ごすよう心掛けたいものです。

スポレク学科 村上 祥子

二十世紀最後の年にねんりんぴつく滋賀県代表として出場させて頂き良い思い出となり、健康であると共に他府県の方と交流が出来た事を喜びつつ元氣に暮らしています。

スポレク学科 新木 久江

最近の私、健康に恵まれ趣味の民謡書道と忙しい中、町グラウンドゴルフの仲間に入り、慣れない乍らも奮闘又スポレク先輩と共に毎週ダンスを地域の人と楽しく過ごしております。

スポレク学科 鐘居 忠男

新世紀と共に二十周年を迎えた意義ある年に当たって、仲間作りや健康維持に為のダンスやグラウンドゴルフ等を通じ更に人間関係を深め、生き甲斐のある人生を送りたい。

スポレク学科 橋本 高明

私の村の乃伎多神社、千八百年祭に奉納の冠句の部で、人の位を頂きました。ご披露させて頂きます。みんななみ 一茶が詠んだ おらが春 共に笑つてネ。

第二十一期生 園芸学科 堀江 高夫

環境破壊・少年犯罪・教育改革・身近な事では市町村合併等、二十一世紀の課題は多い。老いにめげず子や孫のために、レイカディア大で習得した知識や技能を生かしたい。

園芸学科 澤 友嗣

昨年の暮れ、町シルバー人材一行と廃管撤去の為雪の靈仙へ。背の鈴音頼りに険悪な道なき道を登り膝ヶ滝に着き直ちに作業開始。健康故にこの仕事・感謝して汗を拭く。

園芸学科 澤 文雄

昨年第二十一期生としてレイ大を卒業して四ヶ月が過ぎる。皆さんとの楽しかった活動の思い出がまだ暖かく胸に残っている。再会を待ち各位のご自愛を祈っております。

園芸学科 吉村 文人

欲しいものがすぐ求められる時代、パソコン、インターネットとは何もかも新しい言葉です。少しずつですが今の社会についていける様勉強していきたいものです。

園芸学科 松井 捨一

学級学校の崩壊、エネルギー源の枯渇。野放途に日を経て来た日本人、地球人の末がそこに。教育改革、生活・産業の革命の道はもう今（世紀千年紀）から…と。

園芸学科 堤 賢三

第二の職の傍ら、野菜、草花づくり、庭木いじりを楽しんでます。緑は私の身も心も癒してくれます。今後も健康法の一つとして、楽しみながら続けたいと思います。

園芸学科 前川 一男

一日一万歩を目標に歩き、足腰を鍛える。趣味を活かして友人知人に喜んでもらえる事を考え、小さな満足感を得る。これが健康の源と信じ、続けていきたいと思えます。

園芸学科 三輪 信雄

二十一世紀の幕開けを健康で迎えられた事に感謝し、独居老人の配食ボランティアやシルバー人材センターに登録し、高齢者が高齢者を支える一助にでもなればと思う昨今です。

陶芸学科 斉藤 芳明

「熟して老いず」をモットーに、神照公民館で「土と知恵と心と和を練る仲間作りを推進中。ガラクタ（我楽多）作りを一緒にしましょうヨ！ 随時入会可・初心者歓迎。

園芸学科 西村 新三

二十一世紀に入り、私も高齢者の仲間入りをした。新世紀を欲深く、目と耳で確かめ考え行動して充実した熟年を。その為まず健康を自己管理で、そして天寿を PPKで。

生活学科 武藤 滋子

「孫や子に美しい地球を残してやりたい。」今年も私の切なる願を年頭目標として、特に環境問題に関心をもち、一步一步みなながら学び、実行に移したい。

園芸学科 宮崎 俊治

レイ大では多くの知識を得、同世代の心豊かに付き合える友の多くできたことが何よりも得難い誇りとなりました。今後生涯学習を目指して充実した日々を送りたいものです。

生活学科 武藤 実

六十九歳はまだまだ漬垂れ小僧 高齢社会では私はまだ幼年期。八十・九十歳の先輩の元氣からエールをもらって頑張らねばと奮起した二十一世紀の幕開けでした。

生活学科 清水 敏男

『人間はソロバン勘定を超えたところでこそ輝く』と佐々木次期東大大学長の言。そんな折、町内福祉員就任の要請があり何か間に合うことがあればと受けることにしました。

文芸学科 高橋 輝子

私は今、地域の伝承文化サークルで方言や石仏の研究仲間と共に勉強しています。また俳句教室では五七五に振り回され乍ら老化防止に少しでも役立てればと思っている。

文芸学科 前田 勝良

卒業して早や四ヶ月、お陰様で割合元気に妻の仕事の手伝い、老人会のボランティアでの米原駅の清掃、西区公民館の当直等忙しい日々を楽しく過ごさせて頂いています。

文芸学科 北村 宗吾

穏やかな一年を願う
いつものように変わりなく時間が流れていくことが、実はいちばん幸せなことだと思う。

文芸学科 高田 チツ

残り少ない今を、生かされている幸せを感謝し、四季折々を俳句に、グラウンドゴルフで運動と親睦の和を！いつも社会に向け心豊かに充実した一日一日を過ごしたい。

スポレク学科 日比 文夫

「馬を水辺に連れて行くことは出来ても、水を飲ませることは出来ない」相手の意思に添わないことを自分がいいと感じて強引に他人に押しつけてはならない。心したい。

スポレク学科 向山 郁子

世紀の節目の年に、シルバーの身で体験、感動を得た二年間、今振り返り幸せを感謝しています。
最近では地域活動で身近な友と楽しく交流を深めています。

スポレク学科 大橋 充子

卒業ホヤホヤ、まだ感動さめやらぬ、私の人生で最高の贅沢をさせて貰った二年間を無駄にする事なく、色あせぬ様一日一日を大切に、充実した日々を送りたい。

スポレク学科 山岡 宏史

携帯電話や電子メールの普及によって生活様式は大きく様変わりしつつある。しかし、昔ながらのコミュニケーション手段も温かい人間社会を築く上で大事だと思っている。

スポレク学科 岸本 四郎

新世紀を迎えた記念すべきこの年、健康な日々の暮らしに感謝し、今後続くであろう若人達への架け橋となれるよう、魅力ある地域づくりに努めていきたいと思っています。

高島支部

文芸学科 采野 平重

昭和五十九年九月当時の老人大学校長であった知事の武村正義さんから授与された卒業証書が書斎の額に納められている。あの頃を思い現在を思つて感慨又一入であります。

第一期生

生活学科 白崎 喜久

農一筋に今も猶野菜作りに専念しています。青空市を發足し十八年を迎えました。買って売り手のコミュニケーションを喜びとして感謝一杯です。「新世紀迎え出行く事始め」

第七期生

陶芸学科 駒井 徳左門

- ◎初灯明親鸞聖人にひれ伏しぬ
- ◎初詣でまず在所の二社三寺
- ◎銀杏ちる生きる甲斐あり報恩講

第三期生

生活学科 井口 千枝

母は老人大学卒業を誇りにグループ活動、教室に参加していましたが十一年の師走植物人間の状態で寝たきりになり寂しい米寿の新春を家族と共に自宅で迎えました。(代筆長男)

第九期生

園芸学科 澤 實

満八十歳をこえ、体はかなり弱つてきて、大学で学んだ園芸も殆どできない。自転車で区内の友人宅に遊びに行くのが楽しみ。戦友、大学の仲間を懐かしく思い出します。

第四期生

文芸学科 森 三郎

一日一度軽く汗をかく事の実行、血液の流れを容易にする為だ。冬は除雪と家屋内外の清掃、何としても「一日一汗」に努力している。酒は夜一合五勺と決めている。

生活学科 上原 ゆり

老大卒業して十余年経ちました。環境、社会も大きく変わりました。老人クラブ活動で、後世に残す作業や、手芸、高齢者の集い等に出掛けて心身共に頑張っています。

第五期生

生活学科 阪田 ひで

高島町の文化協会に属し、俳句、コーラス部に入会して現在に至って居ります。今後も継続していきたく思つて居ります。

文芸学科 熊谷 正三

歳月は流水の如く私達九期生卒業以来十余年の歳月が過ぎ、又開校以来二十周年記念誌發行誠に意義深く会員の消息も掌握でき在学当時を偲びつつ各位の健康を祈念す。

第十期生

園芸学科 遠藤 滋

園芸学科で実習した、実生の「しゃくなげ」に、二年前から、美しい花が咲き出した。木は小さいが、活力がある。若木に教えられつつ、日頃の手入れに、気力がわく。

生活学科 梅村 イソ

人の心の高振りは 滅びに先だち 謙遜は榮譽に先だつ
びわの海 静けき波に ひをあびて 春を待群 鴨鳴渡る
生き来し 百歳越えて 友の父 目出度迎う二〇〇一年

文芸学科 辻 盈三

今回「高島町生涯学習まちづくりサポーター」の募集があり応募いたしました。冠句の同好者が多数おられますので、選者宗道として地域の発展に努力したいと思っております。

文芸学科 饗庭 健治

レイカディア大学卒業以来十年間ボランティアとして、いろんなことを気持ちよくさせてもらっています。今後も身体が続く限り行いたいです。

第十一期生

園芸学科 大江 利雄

町制三十周年記念に新旭町誌を編集することになり町内を調べ歩いた。郷土の歴史についての無知に驚いた。公民館の郷土史教室を担当して十年、喜びの声に励まされている。

生活学科 杉浦 薫

卒業以来十年を数える八十路の年を迎え足腰不自由にて!! 顧みますれば思い出の夢を以て通学した老大でした。今は地域で書道や手芸和裁を生き甲斐として老いています。

第十二期生 園芸学科 田原 重雄

高島町老人クラブ、ゲートボール連盟、囲碁部会、カラオケ同好会などの会長、役員、寺の総代などボランティア活動に毎日努力しております。幸い健康です。

陶芸学科 横田三千太郎

高島町には江戸時代音羽窯があり、私が陶芸を希望したのもそんな先入観があったからです。公民館の陶芸同人の手で「音羽焼再興」の夢が果たせることを念願しています。

生活学科 弘部 ふみ

何処かにこんな事が書いてありました。「人生に定年はない。老後も余生もない。美しく尊く生きる。老いる」これを目標に前向きに毎日を悔いなく過ごしたいと思っております。

生活学科 山崎 渡世

高齢になり、特に健康で日々を元気で過ごせねばと、食事に気を付けることはもとより、晴天の日は半時間の散歩をし、少々の野菜作りと花の世話を楽しみに行っています。

生活学科 横江 かよ

独り暮らし十年、突然目眩が止まらず、軽い脳梗塞と診断、入院する必要もなく、ヘルパーさんにお世話になり、知人と会話のお陰で独居を楽しく普通の生活に戻り有難し。

生活学科 松下 芳子

在校時の申にはじまった千支の色紙作りも、梅本先生ご指導のもといつしか十年、あと午、未で十二支の一巡となる。二年後の完成を一つの目標に十四期生の絆を深めている。

第十三期生

園芸学科 岡田 順治

毎週火木土曜日はお呼びがあつてゲートボール、月二回コースの練習他に陶芸、盆栽クラブと励んでいる。心身をコントロールして内面の充実に心掛けています。

生活学科 栗原 文子

退教会の菊花クラブに入会し、春の挿し芽から始まり、毎日の水やり、施肥と、文化の日を目標に頑張っていますが、人前に出す作品の難しさを感じる昨今です。

文芸学科 中西 重三

湖西地区に入学希望者が多い様です。しかし通学の往復時間が随分掛かるので今の処思案中の人ばかりと聞いている。安曇川文化芸術会館に分校を開校されたいと思います。

文芸学科 角井 操

小さい頃から遠い道のりを通学していたので、自分の足だけには自信を持っていた。ところが最近になってその足が不安になりだした。今その補強が最大の課題になっている。

第十四期生

園芸学科 多胡 利美(丹泉)

初春や山容正す茜武奈(丹泉)
武奈岳は湖西の最高峰です。今年七回目の記念登山をする予定です。朝な夕なに眺めて暮らしてきた高嶺であります。

文芸学科 小林 鈴子

常に前向き姿勢でありたいと希いながらも年を重ねるに従い消極的になりがちである。老大で学んだ短歌を今も詠み続けているがなお道遠きである。

園芸学科 川島 義一

高齢化社会の一人として寝たきりにならぬ事を先ず考え、カラオケクラブで熱唱、社協ボランティア活動に参加、盆栽を楽しみ、三十分余り歩き、自分なりの老後を実践しています。

文芸学科 清水 豊

風船がわが家の近くに不時着していた。若狭の小二の少女のメッセージが付いて……。少女と老夫婦の文通が始まった。もう今年には六年生になる。実の孫のように可愛い。

文芸学科 栗原 俊雄

最近は入退院の繰り返しで生活で体力減退が著しいので、暖かくなったら先ずウォーキングで足を鍛え、体力の回復を期します。

文芸学科 足立 捨松

老大の設立意義を十分理解し入学資質の向上に努めて参りましたが卒後脳内出血で倒れ入院即手術後左半身麻痺その失望や落胆から逃れようと草花を育て野菜作りに励んでいる。

スポレク学科 志連政五郎

レク愛好者グループの世話や地域団体の活動のため、超多忙の毎日。七年前のガン手術の後、心身が一段と強健になった感じで、家内と共にボランティア活動に熱中している。

スポレク学科 志連紀恵子

町内の福祉施設・介護施設で福祉レクの世話をしたり、地域諸団体の活動に連日飛び回っています。レイ大建学の精神を忘れず、ボランティア活動に明け暮れる昨今です。

第十五期生

園芸学科 万木 伸

六月に脳梗塞で倒れ、入院生活の後、現在自宅療養中です。言語障害と右半身麻痺の為、日常生活もままならぬ状態です。早く完治し皆様方とお出合いしたく念じています。

生活学科 林 美榮

老後を幅広く、色々なことに挑戦しながら、多くの人達とのふれ合いを大切に、明日はわが身かとの思いを吹き飛ばし、元気でこころを祈りつつ、生き生きと生きていきたい。

文芸学科 角野 豊市

昨今は小中学生の犯罪が多くなっています。歳を重ねますと幼少の頃の父母の教えが心の中に蘇って懐かしくなりました。そのような心を幼少の頃から育てることです。

文芸学科 田中 寛

レイ大卒業以来地区の老人クラブのお世話の仲間入りをしています。その中で趣味のクラブを作り、頑張る皆さんの笑顔が何よりの糧になります。

第十六期生

園芸学科 伊東 伝蔵

十五周年記念誌発刊の年に卒業、学習の地域還元を念頭に僅かの地域案内や奉仕作業で五年が過ぎた。指導できる技能はないが健康であれば出来ることで返したいと思う。

生活学科 田中 俊栄

卒業後もう数年経ちました。美しい校舎で、立派な先生方の講義を学ばせて頂きました。有難うございました。今、私の心の財産、拠り所として生活しています。

文芸学科 川元 繁雄

「人は三つの趣味を持つのがよい」と言われている。頭を使う趣味、声を出す趣味、仲間と一緒にあって全身を動かす趣味。一つでも二つでも、出来れば三つ共持ちたい。

文芸学科 上野エミ子

① 転ばず ② 愚痴らず ③ 風邪ひかず 避ける事の出来ない老いならば、逃げ出さずに、その老と仲良く、二十一世紀を、生命のある限り生き抜きたいと思っています。

文芸学科 岸上 道雄

吾が余生訓

① バランスのとれた食事と適度の運動を。② 趣味を楽しみ、出でて交わりを大切に。③ 自助努力で前向きに。

文芸学科 前田 愛子

二十一世紀早々、株価低迷、医療機関の不祥事、疑心暗鬼に陥る。先ずは「健康第一」 便利なIT機器も無用、「シンプurlライフ」で行こう。

第十七期生

園芸学科 山本 弘一

十七歳が代表する少年犯罪、指導者を自認する政官界の腐敗等、百年河清を待つべきか、小さな抵抗でもせめて私周辺だけでも、健康で明るく新世紀に向かって努力を。

文芸学科 青谷 昭三

俳句 歎喜 さりげなく受ける告知や雪が舞う
詠む心灯となりて春を待つ 極限を越えて歎喜の風薫る
癒えて背伸びしてみる秋の空 授かりし命夢あり新世紀

文芸学科 白井つ由子

第二の人生は、趣味に生きようと、書道、詩吟、冠句、大正琴、俳句もかじっています。世代間交流も出来、趣味は、心の友、杖となりて世の一隅で楽しく過ごしています。

文芸学科 萬木 敏和

人間に思いやりあり水温む
人間を忘れてゐたり日向ぼこ
白息を両手に掛けて生きている

スポレク学科 谷本正次郎

二人目の曾孫にも恵まれ、家内と二人のんびり暮らしている。年末に家内が左手親指をつめ一週間余入院不自由さを体験。家内の有り難さをしみじみと感じた年末年始であった。

第十八期生

園芸学科 水谷 良成

盆栽が趣味。園芸学科で学んだ基礎知識、技術を生かし、四季折々の変化、日々の成長を楽しみながら、愛好者との交友を深めつつ、生き甲斐のある余生を送りたいと願う。

文芸学科 伊香 善一

新しい二十一世紀を迎えるにあたり、傘寿と命永えて「一病息災」で、感謝しながら有意義な日々を、老人らしく過ごさせて頂きたいと念じています。

文芸学科 萬木 敏子

孫へ！。二十一世紀はあなた達の時代。世界中が仲良しになり、地球に住める動物も植物も、鳥達もみんな楽しく暮らせるように、私達も一日でも長生きをして応援したい。

第十九期生

園芸学科 北村 政雄

私共は計り知れない多くの方々の支えに依って、生きて来ました。恵与される人生を大切に、私なりに、どうしてお礼返しが出来るか、模索しながら、精進を誓う日々です。

園芸学科 水谷 賢一

年間を通じて青々として育つ松が、木の中で一番好きである。剪定後、「ハウゲツ」書があれば「オルトラン」粉剤を枝の長さの直径に地面に散布すると効果がある。

園芸学科 伊藤 宏

町老人クラブ連合会の運営の手伝いをして、多くの人々とお付き合いの中で楽しく過ごしています。魅力ある老人クラブ作りに少しでも役立ちたいと努めています。

文芸学科 八田キヨミ

大学の二年間はとても有意義でした。今も「二水会」として月一回の交流をしています。尚、地域ではコーラス、読書などクラブを通じてチャレンジし、充実しています。

文芸学科 新海 弘之

会社で習得したパソコンで友人とのメールや家族の写真の交換などのほか、自分の絵画を利用してオリジナルの絵葉書を作成したり、楽しみながらボケ防止をしています。

第二十期生

園芸学科 安原 修一

大学で教わったことを生かし乍ら、自宅の庭木の剪定や、野菜作りをして楽しんでおります。日々健康で過ごせることが何よりの喜びです。

生活学科 梅川あき子

二十一世紀おめでとうございます。レイ大の皆さんにお出合出来るのも健康第一と、私は三大成人病予防と、食生活の見直し、腹から声を出す詩吟コーラスと頑張っています。

生活学科 川島 一枝

ボランティア活動によって得たものは、先輩からは老後の生き方、障害者からは持てる力のすばらしさと命の大切さ、子ども達からは感性の鋭さと若いエネルギーでした。

生活学科 山形ひさ江

いよいよ高齢者の仲間入り、地域とのふれ合いを大切にとボランティア活動に一段と関心を寄せ、閉じ籠もりじやなく情報を求めて外に目を向けていこうと思っています。

文芸学科 池田 邦治

町の短歌会、童謡クラブ、混声合唱団、冠句クラブ等で活動。昨年十一月の町のグラウンドゴルフ大会で優勝。あわてず！あせらず！あきらめず！心身健康で頑張っている。

文芸学科 大江 ち江

過去現在を通じ私の唯一の自慢は健康であること。疾病で医師の診断を受けた事がない。私の健康法はとにかく骨身惜しまず働くことだと心得ている。短歌作りを頭の体操に。

文芸学科 進士 良治

私は今、地域活動の老人クラブの役員、シルバー人材センターの臨時職員として毎日を忙しく動いております。又書道、俳句を趣味と生きていることが生き甲斐になっています。

第二十一期生

園芸学科 増尾 和博

人生の大半を、二十世紀で無事過ごせたことは、出逢った多くの人達の援助によるものと感謝している。二十一世紀は健康に留意し、社会活動に積極的に参加していきたい。

生活学科 土井 修

災難はいつどんな時に降りかかってくるか分からない。病気を治したり病状を軽くしてくれるはずの病院で、誤った治療によって死亡したり、最近の医療事故の多さは異常だ。

文芸学科 熊地三治郎

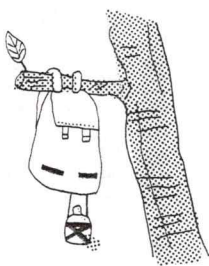
世紀始めの記念号御同慶に堪えません。二十一期卒生として始めて寄稿致します。今後共よろしくお願い致します。これから会員として会活動又地域活動を勉強する心算です。

文芸学科 垣貫 勝

私達第二十一期生は卒業後、さざなみ会の名称をもって今後共絆を更に深める為年に二回の旅行を計画し、第一回目を一月十七日から一泊で若狭路を巡る旅で楽しみました。

文芸学科 古谷美代子

父母の年を越え生かされて新世紀を迎えた。何より健康が宝だ。バランスの良い食事と適宜な運動と脳の活性化で医療や介護の利用を最小にとどめ社会に小さな貢献としたい。



編集後記

今回の会報の発刊については、昨年度から新世紀と共に二十周年を迎えての記念特集号として、例年と違ったニーズにて意欲的に対応した結果、各関係部署からの予期以上の応募を頂いて、記念号に相応しい内容の充実した会報が発刊出来た事に深い感銘を受けました。

特に毎年のごとく公私ご多忙の中を、稲葉学校長始め大学関連の諸先生方からは記念特集の祝辞と併せて大学との共生と共に同窓会の今後の事業運営について助言と高齢者の健康づくりの色々のご教示を紙面に飾らして頂き感激しております。

本部執行部役員の寄稿を始め、各部長による事業活動の報告と併せて各支部長の支部だよりの披露があり、夫々が同窓会活動の活性化と仲間意識の高揚を課題として取り組んでおり今後のご支援を頂く指針になれば大いに喜ばしく思います。

なお、多くの会員の皆様から頂いた「私のひとこと」の所感は、限られた枠内に各人の生きがいと処世についての記述を、編集作業の合間に拝読して、大変に感銘を受けました。皆様の寄稿によってその趣意をお互いの老後の指針として啓蒙して、残された余生の参考にする事が出来れば誠に喜ばしいものと考えます。

終りに、今回の会報に親しく寄稿を頂き紙面の充実に寄与された、大学の富田課長、山元、西村の諸先生方がこの度現職を離任される事になり、大変にお世話になりました、今後のご健闘とご多幸をお祈り申し上げます。

なお、今回の会報の発刊については、各支部長始め担当に関われた皆様のご努力に深甚なる敬意を表しますと共に、僅か三行の枠内

に集約された同窓の皆様への処世訓を余生の大切な心の糧としてこの会報が金字塔になれば大変に喜ばしいことと思えます。

今回も会員の皆様から心温まるご芳情を頂いて、伝統に相応しい記念誌をお手許にお届け出来ました、編集部員の心意気を感じてご高覧頂ければ幸いかと存じます。

会報 第十八号 編集委員

広報部長 岩井典弘 (守山・野洲支部)

広報部員 高田亮子 (大津支部)

々 宇野愛子 (湖南支部)

々 城宏衛 (甲賀支部)

々 岩崎進 (近江八幡支部)

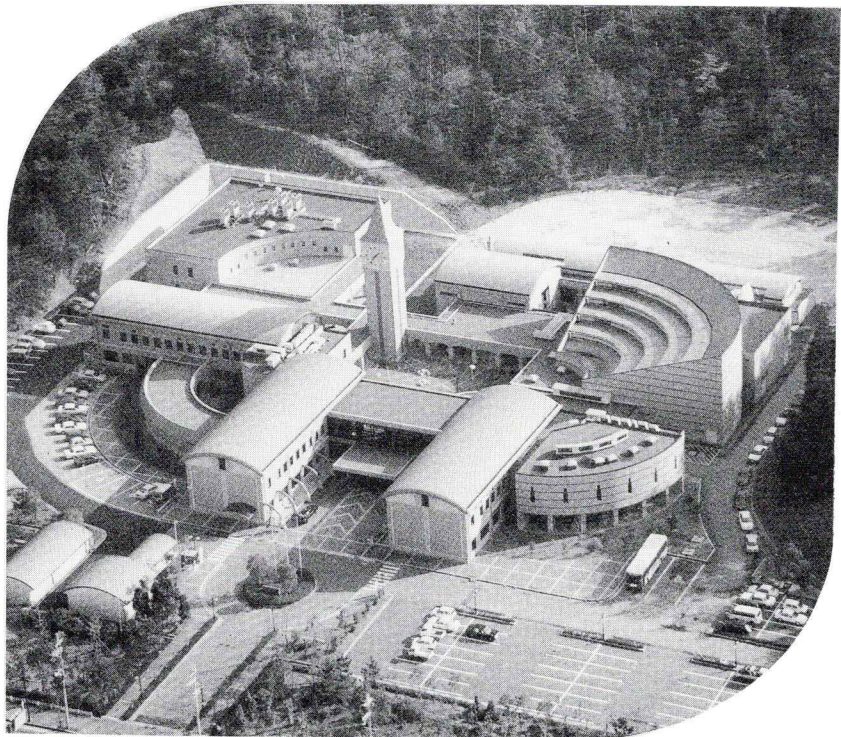
々 菌昭三 (中部支部)

々 高橋賀英子 (湖東支部)

々 松本芳雄 (湖北支部)

々 伊藤宏 (高島支部)

滋賀県立 長寿社会福祉センター (レイカディアセンター)



滋賀県レイカディア大学同窓会
二十周年記念
会報 18号

発行 平成 13 年 5 月 (西暦2001年)
編集 滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
〒525-0072
草津市笠山7丁目8-138
(滋賀県レイカディア大学本部)
印刷 アートルームエダカ
近江八幡市馬淵町1641-16

